

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト

この文献リストは1991年までに刊行された文献を対象としたが、技術・製品面での文献補充のため、必要に応じて1992年に刊行された文献の一部を含む。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.001 (北海道1)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
北海道001	西月ヶ岡遺跡 (観室市西浜町)	観室市教育委員会『観室市西月ヶ岡遺跡発掘調査報告書』(1983) PP. 1-80 東京教育大学『北海道観室の先史遺跡』(1966)	縄文文化期	炭化材(住居址内)、 洗鉢(台付き) ☆洗鉢=広葉樹散孔材。 棒状品、加工材。 ☆棒状品=ヤチダモ	N=10 トドマツ(6)、エノマツ(1)、ホノキ(1)、アサダ(1)、イチイ(1)。
北海道002	西達布9遺跡 (富良野市西達布)	富良野市教育委員会『西達布9遺跡』(1991) PP. 1-84 富良野市文化財調査報告書第7輯	縄文時代晩期	炭化材(土器内側)	N=12 シナキ属(4)、トネリコ属(3)、コナラ属(2)、 クムシ(1)、広葉樹散孔材(2)。
北海道003	樽戸集約水上水道遺跡 (月形町)	北海道開拓記念館『樽戸集約水上水道遺跡の調査』(1990) PP. 1-96 北海道開拓記念館研究報告第10号	明治時代後期 (19c)	舟形木箱、矛、	——
北海道004	上之国勝山館跡 (樺山郡上ノ国町)	上ノ国町教育委員会『史跡上之国勝山館跡Ⅴ-昭和58年度発掘調査整備事業要報-』(1984) PP. 1-122 上ノ国町教育委員会『史跡上之国勝山館跡Ⅵ-昭和59年度発掘調査整備事業要報-』(1985) PP. 1-261 上ノ国町教育委員会『史跡上之国勝山館跡Ⅶ-昭和62年度発掘調査整備事業要報-』(1988) PP. 1-70 上ノ国町教育委員会『史跡上之国勝山館跡Ⅷ-昭和63年度発掘調査整備事業要報-』(1989) PP. 1-66 上ノ国町教育委員会『史跡上之国勝山館跡Ⅸ-平成元年度発掘調査整備事業要報-』(1990) PP. 1-41	戦国時代-江戸時代 (16c)	箸、漆器柄、板、煮串?、構造部材(建築材)、 杖、櫛、井戸枠(板・分割材) 刀子柄 箸、運南下駄、折敷、漆器柄 棺材(板・角材)、露那下駄、箸、折敷、 曲好物底版、篋、 把手、篋、蓋、箸、	——
北海道005	津軽陣屋跡 (寿都町寿都町)	寿都町教育委員会『寿都町文化財調査報告書Ⅱ』(1980) PP. 207-233	江戸時代	井筒(籠)、洗き物(籠)、曲好物、構造部材、 杖(木・竹)、竹釘	——
北海道006	大曲C遺跡 (札幌市広島町)	北海道教育委員会『北海道鑑賞自動車道(北広島-札幌南)埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書-広島町大曲B・C遺跡』(1978) PP. 1-48	時期不明	炭化材(炭焼き窯跡内)	N=24 コナラ属(14)、カエデ属(8)、カバノキ属・ハンノキ属(1)
北海道007	開成4遺跡 (北見市開成)	北見市教育委員会『開成4遺跡-道庁地帯総合土地改良事業北見川南地区内埋蔵文化財緊急発掘調査報告書-』(1982) PP. 1-200	後北式期	炭化材(落ち込み内)	N=35 コナラ属(29)、ハンノキ属(2)、ニレ属(2)、 シナキ属(2)。
北海道008	伊奈七子3号穴群遺跡 (標津町標津町)	標津町教育委員会『伊奈七子3号穴群遺跡-平成元年度一般国道335号標津町忠類歩道新設工事に伴う発掘調査報告書-』(1990) PP. 1-97	縄文時代中期	炭化材(住居址内)	N=66 トネリコ属(26)、ニレ属(4)、コナラ属(6)、 クムシ属(3)、ヤナギ属(4)、ハンノキ属(4)、 シナキ属(1)、ササ属(1)、広葉樹散孔材(1)、 広葉樹散孔材(15)、針葉樹(1)。
北海道009	柏木川11遺跡 (恵庭市北柏木)	恵庭市教育委員会『柏木川11遺跡発掘調査報告書』(1990) PP. 1-169 北海道恵庭市発掘調査報告書	縄文文化期前期	炭化材(住居址内)	N=309 トネリコ属(213)、クムシ属(41)、ハンノキ属(14)、 コナラ属(6)、クリ属(2)、ヤナギ属・ニレ属・シナキ属(1)、イネ科の茎(5)、ササ属(3)、 広葉樹散孔材(7)、不明(15)。
北海道010	中島松5遺跡 (恵庭市北柏木)	恵庭市教育委員会『中島松5遺跡B地点・中島松7遺跡C地点』(1990) PP. 1-169 北海道恵庭市発掘調査報告書	縄文時代中期 縄文時代前期	炭化材(住居址内) 炭化材(住居址内)	N=3 トネリコ属(3)、 N=49 トネリコ属(31)、コナラ属(8)、 ハンノキ属(7)、ニレ属(2)、 広葉樹散孔材(1)
北海道011	御嶽山遺跡 (静内郡静内町)	静内町教育委員会『北海道静内町字目名御嶽山遺跡発掘報告書』(1959) 河野広道・藤本美夫『御嶽山墳墓群について』『考古学雑誌』第46巻4号(1961) PP. 15-33	縄文時代晩期	漆器	——
北海道012	沼の端遺跡 (苫小牧市沼の端)	苫小牧市教育委員会『苫小牧市沼の端丸木舟発掘調査概要報告書』(1966) PP. 1-21	江戸時代 ☆アヌ文化 (17c?)	丸木舟、櫂、棹。	——
北海道013	バルマイ物送り場跡 (川上郡標本町)	銅路川流域史研究会『バルマイ物送り場』『銅路川流域の遺跡』(1973) PP. 14-21	江戸-明治時代 ☆アヌ文化 19-20c?	構造部材、板材、他。	——
北海道014	江別太遺跡 (江別市東野幌)	北海道先史学協会『江別太遺跡』(1979) PP. 1-147	縄文時代 (恵山式-後北式期)	木器、丸木弓?、削り物(洗鉢・皿・舟形)、 工具腰柄、寛形石器直柄、棒状品、櫂、 器把手、箸、杖、板状、加工材、構造部材。	N=250 ヤナギ属(106)、トネリコ属(76)、ニレ属(19)、 キハダ属(12)、ハンノキ属(7)、モミ属・カエデ属(5)、 クムシ属(4)、クリ属(3)、シナキ属・コナラ属(2)、 トウヒ属、カバノキ属・カツラ属・ハリギリ属(1)、 不明(5)。 容器=ニレ属、 柄=カエデ属。
北海道015	広瀬遺跡 (常呂郡常呂町)	常呂川流域史研究会『広瀬遺跡』(1981) PP. 1-25 常呂川流域史研究会研究報告1	縄文文化期以降?	削り物(舟形容器・洗鉢?)、 器物?、 製皮製品。 炭化材(住居址内)	容器=ヤチダモ(1)、 イタヤカエデ(1)、 イタヤカエデ?(1)。 ヤチダモ=多 イタヤカエデ=少
北海道016	ライトコロ川口遺跡 (常呂郡常呂町)	東京大学文学部『ライトコロ川口遺跡-北海道常呂川下流域における集落址の調査-』(1980) PP. 1-183	縄文文化期	炭化材(8号壜穴)	N=11 コナラ属(11)。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.002 (北海道2)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
北海道 017	東興路遺跡 (網走市東興路)	沢四郎・宇田川祥『北海道東興路遺跡の竪穴発掘報告』『考古学雑誌』第55巻第1号(1969) PP. 40-51 網走市教育委員会『東興路遺跡竪穴群第2号竪穴発掘略報』(1969)	縄紋文化期以降	篋状品、曲げ物、イナウ? 洗鉢(合付き)。	イナウ? = ヤナギ。
北海道 018	トビニタイ遺跡 (羅臼町)	東京大学文学部『オホーツク海岸・知床半島の遺跡(下)』(1964)	オホーツク文化期 末	削り物(洗鉢・皿・匙)、銚先?。	—————
北海道 019	柏木B遺跡 (恵庭市柏木)	柏木B遺跡発掘調査会『北海道恵庭市柏木B遺跡発掘調査報告書』(1981) PP. 1-407	縄紋時代後期末	漆器。	—————
北海道 020	西捨便遺跡 (亀田市西捨便町)	函館圏開発事業団『西捨便-函館圏流通センター建設用地内遺跡調査報告書-』(1974) PP. 1-469	縄紋時代中期	炭化材(住居址内)。	N=22 ヤチダモ?・ナラ類(7)、クリ(5)、イタヤ類(3)
北海道 021	美々4遺跡 (千歳市美々)	北海道教育委員会『美沢川流域の遺跡群Ⅲ-新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1979)	縄紋時代後期	漆器(洗鉢?・椀?・箸・鍋)、弓(丸木・削り)、削り物(量?)、棒状品(弓?・屋い斬?)、構造部材。	N=29 ヤナギ(12)、カバノキ(6)、カエデ(4)、トネリコ・ナラ(3)、カツラ?(1)。 弓=ヤナギ、棒状品(弓?)=ヤナギ、棒状品(屋い斬?)=カバノキ、構造部材=ナラ・トネリコ・カエデ。
北海道 022	浜山遺跡 (上磯郡上磯町)	上磯町教育委員会『浜山-北海道南部における縄文時代晩期遺跡の調査-』(1983) PP. 1-199	縄紋時代晩期	炭化材(住居址内等)。	N=45 コナラ属(39)、カエデ属(5)、ハンノキ属(1)。
北海道 023	美苗岩陸送り堀跡 (千歳市美苗)	千歳市教育委員会『千歳市美苗における埋蔵文化財分布調査』(1984) PP. 1-52 千歳市文化財調査報告書Ⅹ	近代	藍材、組、倒入れ、篋、箸、楔、イナウ?。	—————
北海道 024	紅葉山33号遺跡 (石狩郡石狩町)	石狩町教育委員会『紅葉山33号遺跡-紅葉山砂丘における縄紋時代前半期の墓地発掘の記録-』(1984) PP1-334	縄紋時代	削り弓(漆)。	—————
北海道 025	松法川北岸遺跡 (目梨郡羅臼町)	羅臼町教育委員会『松法川北岸遺跡』(1984) PP. 1-104 羅臼町文化財報告8	オホーツク文化期	削り物(洗鉢・椀・皿・舟形品・杓)、把手、蓋、匙、他。	—————
北海道 026	広郷8遺跡 (北見市広郷)	北見市『広郷8遺跡(Ⅱ)-道庁地帯総合土地改良事業北見南部地区内埋蔵文化財緊急発掘調査概要報告書-』(1985) PP1-191	旧石器時代末	炭化材(包含層内)。	N=5 カラマツ属(3)、コナラ属(1)、トネリコ属(1)。
北海道 027	居辺遺跡 (河東郡上士幌町)	上士幌町教育委員会『居辺遺跡-一般道々居辺-本別線道路特設一種工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書-』(1985) PP. 1-320	縄紋時代中期?	炭化材(包含層内)。	N=12 コナラ属(5)、ハシドイ属(2)、トウヒ属・ヤナギ科・イヌエンジュ属・カエデ属・ニトコ属(1)。
北海道 028	清川K-4遺跡 (紋別郡遠軽町)	遠軽町『清川K-4遺跡発掘調査報告書-清川地区(道庁地帯総合土地改良事業)に伴う事前調査報告書-』(1985) PP. 1-43	時期不明	炭化材。	N=72 コナラ類(15)、ハルニレ?ハリギリ?(33)、散孔材(8)、広葉樹(11)、針葉樹(1)、竹笹類(1)
北海道 029	サクシュコトニ川遺跡 (札幌市北区)	北海道大学『サクシュコトニ川遺跡-北海道大学構内で発掘された西暦9世紀代の原始的農耕集落本文編1-』(1986) PP. 1-271 北海道大学『サクシュコトニ川遺跡-北海道大学構内で発掘された西暦9世紀代の原始的農耕集落本文編2-』(1986) PP. 1-329	縄紋文化期 (9c)	テシ構造材(割杭・丸木杭・横木)。 ヤス状品、屋い斬?、篋、棒状品、不明品。 加工材・他	N=160 トネリコ属(125)、ヤナギ属(22)、ニレ属(10)、モミ属(2)、ハシドイ属(1)。 ☆割杭=トネリコ属(ヤチダモ)全111点。 アジサイ属(7)、カエデ属(3)、イチイ・トネリコ属(2)。 N=579 ヤナギ属(173)、トネリコ属(160)、ニレ属(41)、イチイ(39)、ハコヤナギ属(37)、トウヒ属(32)、モミ属(24)、コナラ属(23)、カエデ属(15)、ハンノキ属(11)、オニグルミ(6)、カバノキ属(5)、イヌエンジュ属(4)、カツラ・モクレン属(2)、エノキ属・キハダ属・ハリギリ・シナノキ属・ミズキ属(1)。 炭化材 トネリコ属、ヤナギ属、ニレ属、オニグルミ、カエデ属、クワ属、ニトコ属、ハンノキ属、カバノキ属、キハダ属、イヌエンジュ属、コナラ属、サクラ属、キハダ、カツラ、エノキ属、ニシキギ属、ハコヤナギ属、モクレン属、モミ属、アジサイ属、アサダ属、ニガキ属、イチイ、トウヒ属、ミズキ属、ツル性植物(ヤマブドウ)。
北海道 030	陸遺跡 (帯広市西8南12)	帯広市教育委員会『帯広・陸遺跡2』(1986) PP. 1-150 帯広市埋蔵文化財調査報告書第5編	縄紋時代晩期	炭化材(土壌内)。	イヌエンジュ。
北海道 031	K135遺跡 (札幌市北区)	札幌市教育委員会『K135遺跡-4丁目地点・5丁目地点-』(1987) PP. 1-597 札幌市文化財調査報告書ⅩⅩⅩ	縄紋時代	炭化材・木片。	N=33 トネリコ属(7)、クルミ属(5)、トドマツ(3)、クリ属・コナラ属・ヤナギ属(2)、ハリギリ属・ハンノキ属・カエデ属・ニレ属(1)、広葉樹散孔材(6)、広葉樹散孔材(2)。
北海道 032	香川6遺跡 (苫前郡苫前町)	苫前町教育委員会『香川6遺跡-香川三線遺跡-線文化の集落跡-河川改修及び橋梁架設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1988) PP. 1-302 苫前町文化財調査報告書第2編	縄紋文化期	炭化材(住居址内)。	N=35 ヤナギ属(21)、トネリコ属(9)、モミ属(4)、ハンノキ属(1)。
北海道 033	K482483遺跡 (札幌市北区)	札幌市教育委員会『K482遺跡・K483遺跡』(1988) PP. 1-121 札幌市文化財調査報告書ⅩⅩⅩⅩⅩⅩ	アイヌ文化期 (18c?)	テシ(池施設)杭、丸木舟、マロツク斬、刀子鞘、不明品。	N=178 トネリコ属(99)、コナラ属(75)、ニレ属(2)、ヤナギ属(1)、カバノキ属(1)。
北海道 034	無頭川遺跡 (富良野市桂木町)	富良野市教育委員会『無頭川遺跡』(1988) PP. 1-362 富良野市文化財調査報告書第4編	縄紋時代後期-晩期	炭化材(土壌内)。	N=3 ニレ属(2)、カエデ属(1)、ヤナギ属?(1)。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.003 (北海道3)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
北海道 035	初田牛20遺跡 (幌室市初田牛)	幌室市教育委員会『初田牛20遺跡発掘調査報告書』(1989) PP. 1-68	縄文時代後期	漆器。	——
北海道 036	イルエカシ遺跡 (早取町二風谷)	早取町遺跡調査会『イルエカシ遺跡—一般国道237号早取町番々区 切り替え工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』(1989) PP. 1-299	アイヌ文化期	炭化材(建物址内)。	N=25 コナラ属(12)、ヤナギ属?(4)、トネリコ属(2) 、モミ属・シナキ属・カエデ属・クリ?・カワラ・ニレ 属・ハンノキ属(1)。
北海道 037	八千代A遺跡 (帯広市八千代)	帯広市教育委員会『帯広・八千代A遺跡(本文版)』(1990) PP. 1-100 帯広市埋蔵文化財調査報告第8期	縄文時代早期	炭化材(住居址内)。	N=32 トネリコ属(16)、ニレ属(6)、コナラ属(5)、ハ ンノキ属(2)、トウヒ属・カエデ属・オニグルミ(1)
北海道 038	美利河1遺跡 (釧路市今金町)	北海道埋蔵文化財センター『今金町美利河1遺跡—美利河ダム建設事業 に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』(1984) PP. 1-355 北海道埋蔵文化財センター調査報告第23集	旧石器時代	炭化材(包含層内)。	N=32 マツ属(14)、トウヒ属(10)、カラマツ属(8)。 ↓ 五葉松類 エゾマツ・アケエノマツ グイマツ
北海道 039	エオイチヤン跡 (沙流郡早取町)	北海道埋蔵文化財センター『美保川流域の遺跡群Ⅲ—新千歳空港建設用 地内埋蔵文化財調査報告書—』(1986) PP. 29-60 北海道埋蔵文化財センター調査報告 第26集	アイヌ文化期 (17c?)	櫛形構成材。	N=9 コナラ属(7)、イヌエノコ(1)。
北海道 040	ポロモイチヤン跡 (沙流郡早取町)	北海道埋蔵文化財センター『美保川流域の遺跡群Ⅲ—新千歳空港建設用 地内埋蔵文化財調査報告書—』(1986) PP. 61-98 北海道埋蔵文化財センター調査報告 第26集	アイヌ文化期 (17c?)	炭化材(建築材)。	N=27 ヤチダモ?(21)、ヤマハンノキ?・ヤナギ属(2)、 広葉樹不明(2)。
北海道 041	野々沢C遺跡 (岩見沢市宝水町)	北海道埋蔵文化財センター『岩見沢市野々沢C遺跡—北海道道庁自動車 道岩見沢地区埋蔵文化財発掘調査報告書—』(1986) PP. 1- 59 84 北海道埋蔵文化財センター調査報告第28集	明治時代	木造施設(管材・継ぎ手材)。	——
北海道 042	新道4遺跡 (上磯郡本古内町)	北海道埋蔵文化財センター『本古内町地川2・新道4遺跡—津軽海峡線 (北海道方)建設工事埋蔵文化財発掘調査報告書(4)—』(1987) PP. 45-604 北海道埋蔵文化財センター調査報告第43集 北海道埋蔵文化財センター『本古内町新道4遺跡—津軽海峡線(北海道 方)建設工事埋蔵文化財発掘調査報告書(4)—』(1988) PP. 1-667 北海道埋蔵文化財センター調査報告第52集	縄文時代後期	石斧柄?(未製品)、砥目板。 炭化材(住居址内)。	斧柄? = ミズナラ 板 = マツ、クリ。 N=370 トネリコ属(235)、イチイ属(43)、シナキ属 (10)、ニレ属(8)、クリ属(7)、カエデ属(6)、 クワ属(5)、カワラ属・カラムシ属(3)、ヤナギ属(2) 、広葉樹散孔材(38)、広葉樹環孔材(5)、不明(5)
北海道 043	美々13遺跡 (千歳市美々)	北海道埋蔵文化財センター『新千歳空港用地内埋蔵文化財発掘調査報告 書—第2分冊—美保川流域の遺跡群X1—』(1987) PP. 137-164 北海道埋蔵文化財センター調査報告第44集	縄文時代晩期	分割材、加工材。	——
北海道 044	石川1遺跡 (函館市石川町)	北海道埋蔵文化財センター『函館市石川1遺跡—一般国道5号函館新道 道路改良工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—』(1988) PP. 1-320 北海道埋蔵文化財センター調査報告第45集	旧石器時代 縄文時代中期	炭化材(包含層内・焼土付近)。 炭化材(住居址内)。	N=13 マツ属(12)、トウヒ属(1)。 N=93 クリ(89)、広葉樹散孔材(4)。
北海道 045	結2遺跡 (函館市結2町)	北海道埋蔵文化財センター『函館市結2遺跡—一般国道5号函館新道 道路改良工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—』(1988) PP. 1-252 北海道埋蔵文化財センター調査報告第46集	縄文時代中期	炭化材(住居址内)。	N=176 クリ(136)、トネリコ属(14)、カバノキ属 (2)、広葉樹散孔材(17)、広葉樹環孔材(3)、 不明(4)。
北海道 046	忍路5遺跡 (小樽市忍路)	北海道埋蔵文化財センター『小樽市忍路5遺跡—北後志東部地区広域 営農団地農道整備事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—』(1988) PP. 1-20 北海道埋蔵文化財センター調査報告第46集 北海道埋蔵文化財センター『小樽市忍路5遺跡—北後志 東部地区広域営農団地農道整備事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書— 第4分冊—』(1987) PP. 1-319 北海道埋蔵文化財セン ター調査報告第53集	縄文時代後期	浮子、ヤス状品、手割棒、楔、斧柄、不明漆 柄、火燧臼、火燧片、櫛形、割り物(皿・浅 鉢、片口付舟形品)、漆器(鉢・椀・掘具・ 筒)、丸木弓、彫刻品、構造部材(柱・梁・ 板・垂木)、板、割材、加工材、杭、加工材 、他。	N=226 ハイヌガヤ(104)、ヤチダモ?(39)、ナラ (27)、ハルニレ(15)、セン=ハリギリ(14)、 トドマツ?(12)、イタヤ?・トチノキ(3)、カバ ノキ属・シナキ属(2)、スギ・クルミ属・ハンノキ属・ エゾマツ?・クリ(1)。 ☆割り物(白木)=ヤチダモ・セン、割り物(漆器)=トチノキ、 丸木弓=ハイヌガヤ? 構造部材=ナラ・ヤチダモ・セン・トド マツ、
北海道 047	忍路5遺跡 (小樽市忍路)	北海道埋蔵文化財センター『小樽市忍路5遺跡—北後志東部地区広域 営農団地農道整備事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書— 第5分冊—』(1987) PP. 1-61 北海道埋蔵文化財セン ター調査報告第53集	明治時代以降?	はなき類(製塩具?)、桶板、舟形品、加 工材、板材、棒状品、構造部材、杭。 [自然木]N=421 ヤナギ属(42)、ヤチダモ(29)、 ハルニレ(21)、ミズナラ(13)、オニグルミ(8)、他。	[製品]N=6 エゾマツ・クリ・ヤナギ・ミズナラ(1)、不明1 [板・割材]N=46 ヤチダモ(13)、ミズナラ(8)、トドマ ツ(4)、ハリギリ(2)、他(19)。 [加工材・炭化材]N=76 ヤナギ属(13)、ハンノキ(11) 、ヤチダモ・ケヤキ(5)、ハルニレ(4)、他
北海道 048	東広里遺跡 (深川市音江町)	北海道埋蔵文化財センター『深川市東広里遺跡—昔工業築工事用地内埋 蔵文化財発掘調査報告書—』(1989) PP. 1-104 北海道埋蔵文化財センター調査報告第57集	縄文文化期	炭化材(住居址内)	N=56 トネリコ属(56)。 ↓ ヤチダモ?
北海道 049	美々8遺跡 (千歳市美々)	北海道埋蔵文化財センター『美保川流域の遺跡群XIII—新千歳空港建設 用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—』(1990) PP. 1-464 北海道埋蔵文化財センター調査報告第62集 北海道埋蔵文化財センター『美保川流域の遺跡群XIV—新千歳空港建設 用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—』(1991) PP. 1-464 北海道埋蔵文化財センター調査報告第69集	アイヌ文化期—近 代 アイヌ文化期 (18c)	鍬(風呂部)、杭、炭化材。 彫刻品・飾り板、木屐、ヤス状、マレコ台、 籠いすり、覆き付部材、籠、横籠、籠き棒、籠 状品、漆器柄、割器見手、籠、割り物皿、 箱物、箸、火燧臼、火燧片、構造部材、板材 、加工材、削りかす。	[加工木]N=444 コナラ属(73)、スギ属(62)、ハンノキ属(35)、ヤナギ属 (29)、アツギ属(26)、ハリギリ(22)、モミ属・カエ デ属・トネリコ属(20)、カワラ(18)、モクレン属(11)、他 [自然木]N=458 ハンノキ属(159)、コナラ属(90)、トネリコ属(38)、 ヤナギ属(24)、ハリギリ(23)、カエデ属(19)、カワ ラ(17)、ハコヤナギ(9)、ウルシ属・シシハミ(7)、他。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.004 (北海道4)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
北海道050 古吉館跡 (函館市志保町)	函館市教育委員会『史跡志保館跡一昭和58-60年度発掘整備事業に伴う発掘調査報告書-』(1986) PP.1-110	中世 (15-16c)	井戸枠(板・欄干・柱)、箸、桶、曲げ物(板・円形板)、板。	井戸枠=ヒバ? (肉眼観察)
北海道051 五枝館跡 (函館市五枝町)	函館市教育委員会『特別史跡五枝館跡一館跡奉行所跡発掘調査報告書-』(1990) PP.1-122	江戸時代末-明治時代初期 19c	木製めし、木樋、欄干、井筒(桶)。	—————
北海道052 育吉遺跡 (奥尻郡奥尻町)	奥尻町教育委員会『奥尻島育吉遺跡一図版編-』(1979) PP.1-240	縄文文化期	湧水溜の遺構構成材(桝板)	N=26 ヒノキアスナロ(14)、ヤマグリ(12)
北海道053 大沢キリシタン処刑 鑑定地 (松前町大沢)	松前町史に製しむ会『大沢キリシタン処刑鑑定地発掘調査報告書』(1988) PP.1-30	江戸-明治時代 (17-19c)	清車(井戸内)、井戸枠。	—————
北海道054 古時炭塚跡 (亀田郡七飯町)	七飯町教育委員会『古時炭塚跡-七飯町下における白炭塚の発掘調査-』(1990) PP.1-24	明治-大正時代 (20c)	木炭(炭塚案内)	N=17 サカラ属?(5)、コナラ属(4)、トチノキ?(3)、 ハンノキ属・カエデ属(2)、広葉樹散孔材(1)。
北海道055 戸切地陣屋跡 (上磯郡上磯町)	上磯町教育委員会『史跡松前藩戸切地陣屋跡-昭和57年度発掘調査概要報告書-』(1983) PP.1-27 上磯町教育委員会『史跡松前藩戸切地陣屋跡-昭和59年度発掘調査概要報告書-』(1985) PP.1-70	江戸時代後期 (19c)	箸、漆器碗、柱材。 柱材	—————
北海道056 開陽丸海浜遺跡 (柳山郡江差町)	江差町教育委員会『開陽丸-海浜遺跡の調査報告1-』(1982) PP.1-419	明治時代	船材(清車・桶・不明品)、付け札、横櫓、他。	—————
北海道057 創屋沢遺跡 (小樽市蘭島)	小樽市教育委員会『蘭島創屋沢遺跡-蘭島川水系河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1991) PP.1-823 小樽市埋蔵文化財調査報告書第2編	縄文時代-縄文時代	炭化材(土壌内)	コナラ属(多)、サカラ属・カエデ属(中)、トウヒ属・ハコヤナギ属・ヤナギ属・クミミ属・ハンノキ属・クリ属・ニレ属・クワ属・カザラ属・モクレン属・イヌエンジュ属・キハダ属・ニガキ属・タラシキ属・ミズキ属・トネリコ属・変性植物・サザン(有)。
北海道058 創屋沢2遺跡 (小樽市蘭島)	小樽市教育委員会『蘭島遺跡C地点-創屋沢2遺跡(概観)-蘭島川水系河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-概要報告書-』(1991)PP.29-71 小樽市埋蔵文化財調査報告書第4編	縄文時代-近代	棒状品、梁材?、桶板、不明品。	—————
北海道059 チブタシナイ遺跡 (小樽市蘭島)	小樽市教育委員会『蘭島遺跡-チブタシナイ遺跡-蘭島川水系河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1988) PP.33-91 小樽市教育委員会『蘭島遺跡-チブタシナイ遺跡-蘭島川水系河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1989) PP.35-90	近世-近代?	連南下駄、桶板、有孔円形板、削りかす、角材、板材、柱、丸木材。	—————
北海道060 蘭島遺跡 (小樽市蘭島)	小樽市教育委員会『蘭島遺跡-蘭島川水系河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1989) PP.1-252 小樽市埋蔵文化財調査報告書第1編	縄文文化期 (8-9c)	炭化材(貯遺構内)	N=20 クリ(20)。
北海道061 沢町遺跡 (余市郡余市町)	余市町教育委員会『沢町遺跡-余市二期地区道宮地帯総合土地改良事業余市町第1号幹線農道町道沢町美園線舗装改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1989) PP.1-307	縄文時代後期	漆器(陶輪)。	—————
北海道062 フゴッペ貝塚 (余市郡余市町)	北海道埋蔵文化財センター『余市町フゴッペ貝塚-北後志東部地区広域宮庭(貝塚)発掘調査事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1991)PP.1-724 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第72集	縄文時代前期末-中期初頃	炭化材(住居内)	N=78 クワ属(53)、シナノキ属(20)、ニレ属(3)、 カエデ属・クミミ属(1)。
北海道063 カリソバ2遺跡 (恵庭市黄金町)	恵庭市教育委員会『北海道恵庭市カリソバ2遺跡発掘調査報告書』(1987) PP.1-199	縄文時代?	炭化材(土壌内)	N=3 クミミ属・シシギ属・イネ科(1)。
北海道064 ウサクマイ遺跡 (千歳市磯部)	ウサクマイ遺跡発掘調査団『北海道千歳市ウサクマイ遺跡-N地点発掘報告書-』(1982) PP.1-102	近世アイヌ文化期	刀子柄、箱。	N=2 カワラ(2)。
北海道065 柏原16遺跡 (苫小牧市柏原)	苫小牧市教育委員会『苫小牧東部工業地帯の遺跡群IV-厚真町厚真13遺跡-苫小牧市磯部川20・21遺跡-柏原16・19遺跡発掘調査報告書-』(1992) PP.213-340	縄文時代	炭化材(墓室内)	N=35 コナラ属(35)。
北海道066 エサノツップ3遺跡 (砂浜町砂浜町)	門別町教育委員会『エサノツップ2遺跡・エサノツップ3遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書-縄文時代中期の集落跡-』(1989) PP.1-374	縄文時代中期	炭化材(住居内)。	N=19 ハンノキ属(6)、トネリコ属・ニレ属(3)、ヤナギ属(2)、カエデ属・センノキ属(1)、 広葉樹散孔材(3)。
北海道067 後藤遺跡 (江別市元江別)	後藤遺跡「古墳群の発掘について-江別遺跡調査報告第一報-」『歴史往来』第8号(1932)PP.37-45 高古堂	縄文文化期	筒(漆器)。	—————
北海道068 N-19遺跡 (札幌市西区発来)	河野広道『発来村の遺跡発掘記』高倉新一郎『発来村発掘の遺物に就いて』『歴史往来』第10号(1933)PP.164-175高古堂	近世アイヌ文化期	漆器碗、杖?。	—————
北海道069 音江環状列石遺跡 (深川市音江町)	東京大学『音江-北海道環状列石の研究-』(1964) 東京大学出版会	縄文時代後期	漆器(弓・容器片)。	—————

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.005 (北海道5)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
北海道 070	ウエナイ2遺跡 (枝幸郡枝幸町) 枝幸町教育委員会『ウエナイ2遺跡-枝幸ハイパス建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1983) PP. 1-56	縄文文化期	炭化材(住居址内)。 ☆ モミ属 トウヒ属	N=126 モミ属(63)、トウヒ属(31)、ニレ属(14)、ヤナギ属(7)、トネリコ属(4)、カエデ属(2)、不明(5)。
北海道 071	ホロナイ3遺跡 (枝幸郡枝幸町) 枝幸町教育委員会『ホロナイ3遺跡-枝幸ハイパス建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1980) PP. 1-137	縄文文化期	炭化材(住居址内)	N=149 トドマツ類(129)、ヤナギ類(14)、ハルニレ類(4)、シナノキ類(2)。
北海道 072	ピラ刃丘遺跡 (斜里郡斜里町) 斜里町教育委員会『ピラ刃丘遺跡-第Ⅲ地点発掘調査報告-』(1976) PP. 1-86	オホーツク文化期 (トピニタイ)	不明品(半割)。	—
北海道 073	ウナベツ川遺跡 (斜里郡斜里町) 斜里町教育委員会『ウナベツ川遺跡-北海道斜里郡斜里町朱円ウナベツ川遺跡発掘調査報告書-』(1977) PP. 1-129	縄文時代中期-後期 縄文文化期	炭化材・自然木。	コナラ属、ヤナギ属・ハンノキ属・ニレ属・ハシドイ属・カエデ属。 ハンノキ属
北海道 074	TK67遺跡 (常呂郡常呂町) 常呂町教育委員会『TK67遺跡-北海道管地帯総合土地改良に伴う発掘調査報告書-』(1988) PP. 1-127	縄文時代 縄文文化期	炭化材(住居址内) 炭化材(住居址内)	N=2 モミ属(2)。 N=27 コナラ属(21)、トネリコ属(2)、ヤナギ属・クリ類似種・ナナカマド属・カエデ属(1)。
北海道 075	布伏内送り堀跡 (阿寒郡阿寒町) 富永慶「布伏内アイヌの物送り堀(イワクテ)」『北海道阿寒町の文化財-先史文化篇第一輯-』阿寒町教育委員会(1963) PP. 71-76	アイヌ文化期	刀鞘、イナウ、桶、漆器(碗・皿・釜)。	—
北海道 076	下仁々志別遺跡 (阿寒郡阿寒町) 阿寒町教育委員会『北海道阿寒町下仁々志別遺跡』(1983) PP. 1-41	アイヌ文化期	漆器碗。	—
北海道 077	貝塚町1丁目遺跡 (網走市貝塚町) 網走市立歴史博物館『網走市貝塚町1丁目遺跡調査報告-第4次調査-』(1974) PP. 1-38	縄文時代中期	建築材(柱・桁・垂木)。	—
北海道 078	北斗遺跡 (網走市北斗) 網走市教育委員会『網走市北斗遺跡Ⅱ-史跡北斗遺跡保存整備事業に伴う発掘調査報告書-』(1992) PP. 1-100	縄文文化期	横鉋、加工材。	—
北海道 079	横内遺跡 (小樽市横内町) 名取武光・松下直「横内遺跡」『北方文化研究報告』第19輯(1964) PP. 111-167 北海道大学北方文化研究室	アイヌ文化期	漆器碗。	—
北海道 080	飯茂尻遺跡 (根室市和田村) 児玉作左衛門・大嶋利夫「飯茂尻遺跡の発掘について-飯茂尻式押型文遺跡-」『北方文化研究報告』第11輯(1956) PP. 1-97 北海道大学北方文化研究室	アイヌ文化期 (19c)	漆器、箱材。	—
北海道 081	飯茂尻市街遺跡 (根室市和田) 児玉作左衛門・大嶋利夫「飯茂尻遺跡の発掘について-飯茂尻式押型文遺跡-」『北方文化研究報告』第11輯(1956) PP. 1-97 北海道大学北方文化研究室	アイヌ文化期 (19c)	漆器、刀(鞘・身)。	—
北海道 082	緑ヶ岡6遺跡 (網走市緑ヶ岡) 沢四郎「網走市緑ヶ岡STV遺跡発掘調査報告-第一次調査・第二次調査-」『網走市立歴史博物館紀要』第1輯(1972) PP. 1-48	縄文文化期	漆器碗、建築材。	—
北海道 083	エンルム遺跡 (室蘭市絵新) 室蘭市教育委員会『室蘭絵新遺跡発掘調査概要報告』(1971)	アイヌ文化期	漆器(盆状)	—
北海道 084	志美遺跡 (石狩郡石狩町) 石狩町教育委員会『志美遺跡群-石狩湾新港地域開発区域埋蔵文化財発掘調査報告-』(1979)	縄文時代晩期	漆器(数い具・容器片・輪軸・弓)	—
北海道 085	札苺遺跡 (上磯郡木古内町) 木古内町教育委員会『札苺遺跡-北海道上磯郡木古内町札苺の国産炭福緊急発掘調査報告-』(1974) 北海道開拓記念館『札苺-北海道上磯郡木古内町に於ける縄文晩期の調査』(1976)	アイヌ文化期 縄文時代晩期	漆器杯、折敷(漆器)。 漆器片。	—
北海道 086	上川遺跡 (松前郡松前町) 『考古学ジャーナル』133号(1977) ニューサイエンス社	縄文時代晩期	漆桶、漆器片。	—
北海道 087	白尻3遺跡 (茅渚郡茅渚町) 北海道先史学協会『江別太遺跡』(1979) PP. 1-147	アイヌ文化期	漆器箱。	—
北海道 088	天内山遺跡 (余市郡余市町) 余市町教育委員会『天内山-縄文・アイヌ文化の遺跡-』(1971) PP. 1-109	縄文文化期	箱(漆器)	—
北海道 089	大兵中遺跡 (余市郡余市町) 松下直「北海道余市町大兵中遺跡の遺物-特に一括出土した青磁について-」『北海道考古学』第9輯(1973) PP. 125-134	縄文文化期	漆器(椀?)	—
北海道 090	朱円塚土庫遺跡 (斜里郡斜里町) 河野広道『河野広道ノート考古編1』(1981)北海道出版企画センター	縄文時代晩期	漆器。	—
北海道 091	アヨロ遺跡 (白老郡白老町) 白老町教育委員会『アヨロ-恵山文化の星-』(1980) PP. 1-228	縄文時代	漆弓。	—

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.006 (北海道6)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
北海道 092	美沢1遺跡 (苫小牧市美沢)	北海道教育委員会『美沢川流域の遺跡群Ⅰ-新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1977) PP1-	縄紋時代後期	板状品、漆器。	————
北海道 093	美沢2遺跡 (苫小牧市美沢)	北海道教育委員会『美沢川流域の遺跡群Ⅱ-新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1978) PP1-391	縄紋時代後期	漆器片、漆器、不明品。	————
北海道 094	ウサクマイA遺跡 (千歳市蘭越)	ウサクマイ遺跡調査会『烏羅舞』(1975)	縄紋文化期	刀柄、箱。	————
北海道 095	ウサクマイB遺跡 (千歳市蘭越)	千歳市教育委員会『ウサクマイ遺跡群と周辺における考古調査』(1979) 千歳市教育委員会『ウサクマイ遺跡-B地点発掘調査報告-』(1974)	アイヌ文化期 縄紋文化期	漆器(筒・箱)。 漆器(筒・鉢)。	————
北海道 096	社台1遺跡場跡 (白老郡白老町)	北海道埋蔵文化財センター『社台1・鹿杖浜4・千歳4・富岸遺跡』(1981) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第1集	縄紋時代晩期	漆器片。	————
北海道 097	柏木東遺跡 (恵庭市柏木)	後藤謙一・曾根辰武保『胆振圏千歳郡恵庭村の遺跡について』『考古学雑誌』(1934) PP.15-38	縄紋文化期	刀柄、箱。	————
北海道 098	勝山館遺跡 (樺山郡上ノ国町)	上ノ国町教育委員会『上ノ国勝山館跡Ⅱ-昭和55年度発掘調査整備事業概報-』(1981)	縄紋文化期	漆器。	————
北海道 099	瀬田内チャシ跡遺跡 (瀬棚郡瀬棚町)	瀬棚町教育委員会『瀬田内チャシ跡遺跡発掘調査報告書』(1980)	アイヌ文化期	漆器(筒・他)。	————
北海道 100	桜阜第二遺跡 (常呂郡常呂町)	東京大学文学部『常呂』(1972) PP.1-567	縄紋文化期	炭化材(住居址内)。	N=? ヤチダモ、ミスナラ、カシリ、ハンノキ、エゾマツ。
北海道 101	栄浦第二遺跡 (常呂郡常呂町)	東京大学文学部『常呂』(1972) PP.1-567	縄紋文化期	炭化材(住居址内)。	N=? アサダ、ハムニレ。
北海道 102	ワツカ遺跡 (常呂郡常呂町)	東京大学文学部『常呂』(1972) PP.1-567	縄紋文化期	炭化材(住居址内)。	N=? ヤチダモ、ミスナラ、カシリ。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.007 (青森県1)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
青森県001 亀ヶ岡遺跡 (西津軽郡木造町)	三田史学会『亀ヶ岡遺跡-青森県亀ヶ岡低地遺跡の研究-』考古学・民族学叢刊第三冊(1959) PP. 1-156 青森県立郷土館『亀ヶ岡石器時代遺跡』(1984) PP. 1-333 青森県立郷土館調査報告第17集-考古-6	縄文時代晩期 江戸時代	篋状品、棒状品、構造部材?、藍胎漆器。 自然木。 自然木。 不明品。	加工木=ヒノキアスナロ(4)、ヒノキ・スギ・トチノキ(1) 自然木=カツラ・エノキ・ヒノキ・ブナ・ヤマハンノキ・スギ・ヒノキアスナロ・サクラ類・タケ・他 自然木=ヒバ、ミズナラ、カシワ、ドロノキ、ハッコヤナギ、スギ、マンサク、ハイイヌガキ、ホオノキ、
青森県002 見川中居遺跡 (雄勝郡雄勝町)	杉山壽英男『石器時代有機質遺物の研究概報-特に見川泥炭層出土品に就いて-』『史前学雑誌』第二巻第4号(1930) 喜田貞吉・杉山壽英男『日本石器時代植物性遺物図録』(1932) 保坂三郎『見川遺跡』(1972) PP. 1-110 中央公論美術出版	縄文時代晩期	弓、漆器(筒・鉢=台付き例あり・櫛・腕環・耳飾り・木刀)、篋状品(琴?)、構造部材(柱・梁・他)、藍胎漆器。	—
青森県003 土井1号遺跡 (北津軽郡坂柳町)	村越謙・工藤素博『速報青森県坂柳町土井1号遺跡』『月刊考古学ジャーナル』75号(1972)ニューサイエンス社	縄文時代晩期	漆器(壺)、藍胎漆器。	—
青森県004 八幡崎遺跡 (南津軽郡尾上町)	尾上町教育委員会『青森県尾上町八幡崎-李平遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書』(1979)調査報告第1集 PP. 1-88	縄文時代晩期 古墳時代以降	漆器(筒・壺)、加工材、藍胎漆器。 漆器碗、構造部材、杖。	—
青森県005 五木松遺跡 (南津軽郡波岡町)	喜田貞吉・杉山壽英男『日本石器時代植物性遺物図録』(1932)	縄文時代晩期?	櫛。	—
青森県006 石郷遺跡 (南津軽郡平賀町)	平賀町教育委員会『石郷遺跡(写真図録編)』(1977) PP. 1-44 平賀町埋蔵文化財報告書第6集 平賀町教育委員会『石郷遺跡(本文・実測図編)』(1979) PP. 1-116 平賀町埋蔵文化財報告書第7集	縄文時代後期	櫛、篋状品、板(有孔)、藍胎漆器。 自然木。	篋状=トチノキ 自然木=フナノキ・イヌエンジュ・アカマツ
青森県007 近野遺跡 (青森市安田)	青森県教育委員会『近野遺跡発掘調査報告書(Ⅲ)-青森県総合運動公園建設関係発掘調査-昭和49年度-』(1975) PP. 1-275 青森県埋蔵文化財調査報告書第22集 青森県教育委員会『近野遺跡発掘調査報告書(Ⅲ)-三内丸山(Ⅱ)遺跡発掘調査報告書-昭和51年度-』(1977) PP. 1-356 青森県埋蔵文化財調査報告書第33集	平安時代 (11-12c)	炭化材(住居址内)。 櫛。	N=10 クリ(5)、クムミ(2)、ケヤキ・トチノキ・ニレ科(1)。 —
青森県008 三内遺跡 (青森市)	青森県教育委員会『青森市三内遺跡』(1978) PP. 1-青森県埋蔵文化財調査報告書第37集	平安時代	碗、矢板、構造部材。	N=73 クリ(23)、スギ(22)、アスナロ(14)、サクラ類・アサダ(3)、ケヤキ・ホオノキ(2)、他(4)。 碗=スギ・ケヤキ・サクラ類、矢板=スギ・クリ・ホオノキ。
青森県009 縄越遺跡 (青森市縄越)	青森県教育委員会『縄越遺跡』(1978) PP. 1-102 青森県埋蔵文化財調査報告書第49集	平安時代	漆器碗、構造部材(角材・板・組材・壁材)=溝・住居址内出土、引り物。	—
青森県010 牡丹平南遺跡 (黒石市)	青森県教育委員会『黒石市牡丹平南遺跡-浅瀬石遺跡発掘調査報告書』(1976) PP. 1-青森県埋蔵文化財調査報告書第26集	平安時代	挽き物(櫛)。	—
青森県011 高館遺跡 (黒石市)	青森県教育委員会『黒石市高館遺跡発掘調査報告書』(1978) PP. 1-青森県埋蔵文化財調査報告書第40集	平安時代	櫛、挽き物(碗・皿)、篋、曲げ物、錘、棒状品、不明品。	—
青森県012 石上神社遺跡 (西津軽郡木造町)	青森県教育委員会『石上神社遺跡発掘調査報告書-泉宮園地整備事業予定地内埋蔵文化財調査-昭和53年度』(1977) PP. 1-254 青森県埋蔵文化財調査報告書第35集	平安時代(鎌倉時代以降の遺物を含む可能性あり)	漆器碗、挽き物(碗・皿)、連舟下駄、田下駄、櫛、塔婆、錘、工字形品部材、曲げ物板、構造部材、不明品、井戸枠(角材・板材)	—
青森県013 砂沢平遺跡 (南津軽郡大野町)	青森県教育委員会『大野町砂沢平遺跡-東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書-昭和54年度』(1980) PP. 1-368 青森県埋蔵文化財調査報告書第53集	平安時代	挽き物碗(漆器?)。	—
青森県014 大平遺跡 (南津軽郡大野町)	青森県教育委員会『大平遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車道建設予定地内埋蔵文化財発掘調査-昭和54年度』(1980) PP. 1-525 青森県埋蔵文化財調査報告書第52集	平安時代	挽き物(漆器?碗・皿)、引り物(櫛)、櫛、錘、火燧石、不明品、櫛、構造部材。 炭化材として残存	N=15 スギ(7)、ケヤキ(7)、ホオノキ?(1) 構造部材=スギ、器類=ケヤキ。
青森県015 源常平遺跡 (南津軽郡波岡町)	青森県教育委員会『源常平遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財発掘調査-昭和52年度』(1978) PP. 1-389 青森県埋蔵文化財調査報告書第39集	平安時代	挽き物(櫛)、櫛、構造部材(住居址内)。 炭化材として残存	N=12 クリ(9)、コナラ(2)、キハダ(1) 堅穴住居の構造部材
青森県016 杉の沢遺跡 (南津軽郡波岡町)	青森県教育委員会『波岡町杉の沢遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書-昭和53年度』(1979) PP. 1-332 青森県埋蔵文化財調査報告書第44集	平安時代-鎌倉時代?	畜串、板材、割材、加工材、蓋?(井戸内)	N=12 ヒノキアスナロ(5)、クリ(3)、ケヤキ(2)、コナラ(1)、スギ(1)
青森県017 島山遺跡 (南津軽郡波岡町)	青森県教育委員会『島山遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車道青森県内埋蔵文化財発掘調査Ⅲ-昭和51年度』(1977) PP. 1-125、1-255 青森県埋蔵文化財調査報告書第32集	平安時代後期 (11c)	挽き物(櫛)。	—
青森県018 堀越城跡 (弘前市)	堀越城跡発掘調査委員会・弘前市教育委員会『堀越城跡-国道7号線石川バイパス遺跡発掘調査報告書-』(1978)	室町時代-江戸時代	漆器(碗)曲げ物、櫛、折敷、蓋、櫛、連舟下駄、籠卵下駄、櫛、横紐、工具柄、篋、箸、構造部材、板、杖、櫛、馬鞍。	—
青森県020 館山遺跡 (南津軽郡平賀町)	平賀町教育委員会『平賀町館山出土古鏡』(1968)	江戸時代?	曲げ物。	—
青森県021 馬場瀬遺跡 (三戸郡南部村)	青森県教育委員会『馬場瀬遺跡』(1982) PP. 1-378 青森県埋蔵文化財調査報告書第70集	縄文時代後期	炭化材(加工品-遺構出土品)。	N=8 エノキ類・ケヤキ・クリ(2)、アスナロ・カエデ類(1)。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.008 (青森県2)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
青森県 022	安沢遺跡 (青森市駒込)	青森市安沢遺跡発掘調査団(1979) PP. 1-611	平安時代	炭化材(住居址内)。	N=12 スギ(6)、サクラ属(3)、クリ・トネリコ属・キハダ(1)。
青森県 023	三内津部遺跡 (青森市三内)	青森県教育委員会『三内津部遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車道・青森環状道路関係埋蔵文化財発掘調査』(1978) PP. 1-572 青森県埋蔵文化財調査報告書第41集	縄文時代中期後半-後期前半	炭化材(住居址内)。	中期 後期 クリ(2)。 クリ(11)、ケヤキ(6)。
青森県 024	永野遺跡 (南津軽郡碓ヶ沢村)	青森県教育委員会『永野遺跡発掘調査報告書-昭和54年度-』(1980) PP. 1-375 青森県埋蔵文化財調査報告書第56集	縄文時代後期 平安時代	炭化材(住居址内)。	N=4 ヤマウルシ?(2)、クリ・ナナ(1)。 N=30 スギ(14)、クリ(9)、アスナロ(5)、サクラ類・クルミ(1)。
青森県 025	長七谷地貝塚 (八戸市市川町)	青森県教育委員会『長七谷地貝塚遺跡発掘調査報告書-昭和52年度第1次発掘調査-』(1980) PP. 1-854 青森県埋蔵文化財調査報告書第57集	縄文時代早期末	炭化材(住居址内)。	N=3 サクラ(2)、ヤマグルワ?(1)。
青森県 026	発来沢遺跡 (上北郡六ヶ所村)	青森県教育委員会『発来沢遺跡-むつ小川原開発に係る感染地道路建設及びバイパス用地予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1982) PP. 1-439 青森県埋蔵文化財調査報告書第67集 青森県教育委員会『発来沢(1)遺跡発掘調査報告書IV-昭和63年度-』(1989) PP. 1-383 青森県埋蔵文化財調査報告書第120集	平安時代 平安時代	炭化材(住居址内)。 炭化材(住居址内)。	N=17 クリ(8)、ホオノキ(4)、アスナロ(2)、イチイ・ハンノキ類・サクラ類(1)。 N=25 クリ(17)、アスナロ・モクレン属・トネリコ属(2)・サクラ類・コナラ(1)。
青森県 027	鶴巻遺跡 (八戸市田面木)	青森県教育委員会『鶴巻遺跡発掘調査報告書-昭和57年度-』(1983) PP. 1-213 青森県埋蔵文化財調査報告書第76集	縄文時代後期 平安時代	炭化材(住居址内)。 炭化材(住居址内)。	N=2 クリ・コナラ(1)。 N=2 コナラ(2)。
青森県 028	南通遺跡 (下北郡東通村)	青森県教育委員会『下北地蔵子力発電所建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書-前坂下(13)遺跡・南通遺跡・榎屋(1)遺跡-昭和57年度-』(1983) PP. 225-259 青森県埋蔵文化財調査報告書第67集	時期不明(室町時代?)	炭化材(炭焼き遺構内)。	ヒバ(ヒノキアスナロ)材が殆ど、ハンノキ・ミズナラ。
青森県 029	一ノ渡遺跡 (黒石市沖濱)	青森県教育委員会『一ノ渡遺跡発掘調査報告書-浅瀬石川ダム建設工事に係る発掘調査報告書-』(1984) PP. 1-263 青森県埋蔵文化財調査報告書第79集	縄文時代後期	炭化材(土壘・集石・組石から出土)。	N=3 クルミ(1)、クリ(1)、サクラ類(1)。
青森県 030	和野前山遺跡 (八戸市市川)	青森県教育委員会『和野前山遺跡-八戸北バイパス建設に係る埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1984) PP. 1-323 青森県埋蔵文化財調査報告書第82集	平安時代 (9c)	炭化材(住居址内)、焼き物(碗)、不明品	N=10 コナラ(7)、ヤチガモ(2)、スギ(1)。
青森県 031	釜巻遺跡 (八戸市田面木)	青森県教育委員会『釜巻遺跡-東北縦貫自動車道八戸線関係埋蔵文化財調査報告書VII-』(1984) PP. 1-505 青森県埋蔵文化財調査報告書第84集	縄文時代中期末-後期前半 江戸時代?	炭化材(土壘・住居址内)。	N=43 クリ(20)、ヤチガモ(13)、コナラ(4)、カエデ類(4)、サクラ類(2)。 N=12 コナラ(8)、クリ(2)、クヌギ(1)、クス(1)。
青森県 032	上牡丹遺跡 (南津軽郡大鰐町)	大鰐町教育委員会『上牡丹遺跡-大鰐あじむら公園整備事業に伴う伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1986) PP. 1-148 大鰐町文化財調査報告書第1集	縄文時代後期 縄文時代晩期	炭化材(住居址内)。 炭化材(住居址内)。	N=13 クリ(4)、リョウブ(3)、カエデ類(3)、トネリコ類(3)、後期内でも住居時期差によって樹種が変わる。 N=3 カエデ類(2)、カバノキ類(1)。
青森県 033	丹後谷地遺跡 (八戸市根城)	八戸市教育委員会『八戸新都市区西側埋蔵文化財発掘調査報告書II-丹後谷地遺跡-』(1986) PP. 1-611 八戸市埋蔵文化財調査報告書第15集	縄文時代後期 奈良時代	炭化材(住居址内)。 炭化材(住居址内)。	N=15 クリ(7)、カバノキ属(3)、トネリコ属(2)、ハンノキ属(2)、サクラ属(1)。 N=3 カバノキ属(2)、トネリコ属(1)。
青森県 034	小田内沼(1)遺跡 (三沢市三沢)	青森県教育委員会『小田内沼(1)遺跡-三沢米軍住宅建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書-昭和62年度-』(1988) PP. 1-204 青森県埋蔵文化財調査報告書第107集	奈良時代末-平安時代	炭化材(住居址内)。	N=10 コナラ(7)、カエデ類(1)、クリ(1)、カヅラ?(1)。
青森県 035	富ノ沢(1)-②遺跡 (上北郡六ヶ所村)	青森県教育委員会『富ノ沢(1)-②遺跡-むつ小川原開発事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書-昭和63年度-』(1989) PP. 1-269 青森県埋蔵文化財調査報告書第118集	縄文時代中期後半	炭化材(住居址内)。	N=15 クリ(15)。
青森県 036	表船(1)遺跡II (上北郡六ヶ所村)	青森県教育委員会『表船(1)遺跡発掘調査報告書III-昭和63年度-』(1989) PP. 1-598 青森県埋蔵文化財調査報告書第120集	縄文時代早期後半	炭化材(住居址内)。	N=6 コナラ?(4)、ケヤキ(1)、トネリコ属(1)。
青森県 037	中崎船遺跡 (弘前市中崎)	青森県教育委員会『中崎船遺跡発掘調査報告書-平成元年度-』(1990) PP. 1-270 青森県埋蔵文化財調査報告書第129集	鎌倉時代 (12-13c)	井戸材(板)、容器底部、器、曲付物、箸、炭化材(焼土遺構・柱)。	N=14 スギ(7)、ホオノキ・フサザクラ・クリ(2)、コナラ(1)。炭化材のみ。
青森県 038	空船遺跡 (弘前市中崎)	青森県教育委員会『空船遺跡-県宮津中地区広域宮奥地区整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』(1990) PP. 1-580 青森県埋蔵文化財調査報告書第130集	平安時代 (9-11c)	炭化材(住居址内)。	N=27 クリ(17)、スギ(4)、フサザクラ・ホオノキ(2)、ハルニレ・ナナ(1)。他に不明品あり。
青森県 039	垂柳遺跡 (南津軽郡田舎館村垂柳)	田舎館村教育委員会『垂柳遺跡-垂柳遺跡発掘調査報告書-昭和63年度垂柳遺跡緊急調査報告書(第三次)-』(1989) PP. 1-101	弥生時代中期	火燧臼、火燧片、灰燧?、棒状品、掘り具、板材角材。	—————

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.009 (青森県3)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
青森県040	白旗館遺跡 (上北郡東北町)	東北町教育委員会『白旗館遺跡発掘調査報告書』(1990) PP. 1-106 東北町埋蔵文化財調査報告書第1集	縄文時代後期 平安時代	炭化材(住居址内)。 炭化材(住居址内)。	N=30 ケヤキ(23)、クリ(6)、クマシデ属(1)。 N=40 コナラ(45)、クリ?(5)。
青森県041	大光寺新成跡遺跡 (南津軽郡平賀町)	平賀町教育委員会『大光寺新成跡遺跡発掘調査報告書-第1次発掘調査(1989年)』(1990) PP. 1-80 平賀町埋蔵文化財調査報告書第18集 平賀町教育委員会『大光寺新成跡遺跡発掘調査報告書-第2次発掘調査(1990年)』(1991) PP. 1-129 平賀町埋蔵文化財調査報告書第19集	室町時代-江戸時代	陰柳下駄、露柳下駄、容器底板、曲好物、箸、篋、不明品、部材。 笠、桶、榎、杭、箸物、井戸枠(板)、棒状品。	—————
青森県042	大沼遺跡 (南津軽郡波岡町)	波岡町教育委員会『大沼遺跡発掘調査報告書-平安時代の低湿地遺跡の調査-』(1990) PP. 1-76 波岡町埋蔵文化財緊急発掘調査報告書第4集	平安時代 (10-11c)	漆器碗、曲好物、箸、連舟下駄、銚、刀子柄、不明品、漆造部材。	—————
青森県043	内姥沢遺跡 (上北郡東北町)	東北町教育委員会『内姥沢遺跡発掘調査報告書』(1991) PP. 1-103 東北町埋蔵文化財調査報告書第2集	平安時代 (10c後半)	炭化材(住居址内)。	N=56 ハノキ類(19)、ナラ類(18)、ヤチダモ(6)、ハルニレ(4)、ホオノキ・オニグルミ?(2)、クリ・サワグルミ(1)、散孔材(3)。
青森県044	向山(4)遺跡 (上北郡下田町)	青森県教育委員会『向山(4)遺跡-第2みちのく有料道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書II-』(1991) PP. 1-176 青森県埋蔵文化財調査報告書第134集	古墳時代終末-奈良時代 (7-8c)	炭化材(住居址内)。	N=173ナラ類(141)、カエデ類(13)、ヤチダモ(9)、散孔材(4)、不明(6)。 1住居にのみカエデ類・ヤチダモが混ざるが他はナラ類のみ。
青森県045	中野平遺跡 (上北郡下田町)	青森県教育委員会『中野平遺跡第2分層-古代編-第2みちのく有料道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1991) PP. 1-455 青森県埋蔵文化財調査報告書第134集	縄文時代早期 奈良時代-平安時代 (8-10c)	炭化材(住居址内)。 炭化材(住居址内・土室内)。	N=3 ナラ類・カエデ類・ヤチダモ(1)。 N=32 ナラ類(32)。
青森県046	沢山II号 (青森市)	葛西副『青森市沢山II号遺跡』『うとう』80号(1974)	平安時代	挽き物碗。	—————
青森県047	尻入館跡 (青森市)	青森県立郷土館『尻入館調査報告書』(1981) 青森県立郷土館調査報告第9集歴史1	中世	漆器(碗・皿)。	—————
青森県048	小館遺跡 (東津軽郡蓬田村)	桜井清彦『青森県小館遺跡の調査』『月刊考古学ジャーナル』62(1971)ニューサイエンス社	中世	不明品(農具)。	—————
青森県049	栗家戸沢遺跡 (東津軽郡蓬田村)	青森県立郷土館『尻入館調査報告書』(1981) 青森県立郷土館調査報告第9集歴史1	中世	箸物。	—————
青森県050	鉾町遺跡 (八戸市)	鈴木尚『本州北端に於ける近世アイヌの痕跡について』『人類学雑誌』第62巻1号(1951)	江戸時代	漆器碗。	—————
青森県051	根城跡 (八戸市根城)	八戸市教育委員会『史跡根城跡発掘調査報告書III』(1982) 八戸市埋蔵文化財調査報告書第6集	戦国時代-江戸時代	桶。	—————
青森県052	浜通遺跡 (下北郡東通村)	青森県教育委員会『下北地点原子力発電所建設事業予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書-浜通遺跡-』(1982) 青森県埋蔵文化財調査報告書第71集	江戸時代?	柱材。	—————
青森県053	波岡城跡 (南津軽郡波岡町)	波岡町教育委員会『波岡城跡I-昭和60年度波岡城跡発掘調査報告書-』(1988) PP. 1-191 波岡町教育委員会『波岡城跡X内庭調査のまとめ』昭和61・62年度波岡城跡発掘調査報告書-』(1989) PP. 1-119 波岡町教育委員会『昭和63年度史跡波岡城跡環境整備報告書I』(1989) PP. 1-49 波岡町教育委員会『波岡城跡VI-昭和57年度波岡城跡発掘調査報告書-』(1984) PP. 1-179 波岡町教育委員会『波岡城跡II-昭和53年度波岡城跡発掘調査報告書-』(1980) PP. 1-117 波岡町教育委員会『波岡城跡-主要地方道青森波岡線特殊改良一種工事に伴う発掘調査-』(1986) PP. 1-61 波岡町埋蔵文化財緊急発掘調査報告書第3集	室町時代-江戸時代 (15-16c)	横籠、折敷、板、漆器碗、井戸枠材(角材・丸木・板材)、塔婆、連舟下駄、露柳下駄、容器把手、工具柄、代掻き(人用)、篋、桶、榎、刀柄、紙籠、箸、不明品、部材。 札、漆器碗、膳?、折敷、箸、箸物、曲好物、桶、把手、杭、下駄籠、篋、尖り棒、針状板、部材。	N=94 アスナロヒバ(83)、スギ(8)、マツ(1)、ナラ(1)、ヤナギ(1)。 漆器=アスナロヒバ、下駄籠=アスナロヒバ
青森県054	弘前城跡 (弘前市上白旗町)	弘前市教育委員会『昭和53年度史跡弘前城跡環境整備事業三の丸跡発掘調査報告書』(1978) 弘前市教育委員会『史跡弘前城跡環境整備事業三の丸跡発掘調査報告書-昭和55年度-』(1981) PP. 1-108 弘前市教育委員会『史跡弘前城跡はす池発掘調査報告書-昭和55・56年度-』(1982) PP. 1-58 弘前市教育委員会『史跡弘前城跡環境整備事業三の丸跡発掘調査報告書(II)三の丸跡』(1988) PP. 1-152	江戸時代 昭和19年	漆器碗、曲好物、桶、折敷、篋、箸、連舟下駄、馬籠、部材(柱、欄干、板)、杭。 篋(飯籠み)、杭、連舟下駄。 防空壕木枠。	—————
青森県055	幸棚(7)遺跡 (上北郡六ヶ所村)	青森県教育委員会『幸棚(7)遺跡-むつ小川原橋改修防濁堤建設事業に際する埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1990) PP. 1-159 青森県埋蔵文化財調査報告書第125集	縄文時代後期	炭化材(住居址・土室内)。	N=14 クリ(10)、タケ類(2)、広葉樹(1)、散孔材(1)。

日本列島における木製遺物出土遺跡文献リスト No.010 (青森県4)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
青森県056 李平下安原遺跡 (南津軽郡尾上町)	青森県教育委員会『李平下安原遺跡-昭和62年度-』(1988) PP. 1-543 青森県埋蔵文化財調査報告書第111集	奈良-平安時代	炭化材(住居内)。 [柱材] [板材]	N=44 クリ(7)、スギ・クルミ(6)、ホオノキ・カエデ類(5)、ニレ(4)、コナラ・カツラ(3)、アスナロ・カバノキ・ノリウツギ・ニガキ・トネリコ属(1)。 N=40 スギ(9)、クリ(7)、コナラ(6)、クルミ(4)、カツラ(2)、アスナロ・ニレ・トネリコ属・不明(1)
青森県057 明前遺跡 (上北郡野辺地町)	青森県教育委員会『上北郡野辺地町明前遺跡-昭和55年度-』(1981) PP. 1-50 青森県埋蔵文化財調査報告書第66集	平安時代	炭化材(住居内)。	N=2 クリ?(1)、ホオノキ(1)。
青森県058 前比良遺跡 (三戸郡南部町)	青森県教育委員会『前比良遺跡-昭和62年度-』(1988) PP. 1-67 青森県埋蔵文化財調査報告書第108集	奈良時代	炭化材(住居内)。	N=16 コナラ(1)、ヤチダモ(1)。
青森県059 田ノ上遺跡 (三戸郡南郷村)	青森県教育委員会『国営八戸平原開拓建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ-昭和55年度-』(1981) PP. 1-124 青森県埋蔵文化財調査報告書第65集	縄紋時代中期末-後期初頭	炭化材(住居内)。	N=6 クリ(2)、ケヤキ?・ヤチダモ?・カエデ・フサザクラ(1)。
青森県060 茶屋館遺跡 (弘前市中別所)	青森県教育委員会『茶屋館遺跡-昭和62年度-』(1988) PP. 1-340 青森県埋蔵文化財調査報告書第110集	平安時代以降	炭化材(住居内)。	N=3 コナラ(1)、ヤマウルシ(1)、広葉樹散孔材(1)。
青森県061 牡丹平南遺跡 (黒石市牡丹平南)	青森県教育委員会『黒石市牡丹平南・浅瀬石遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財発掘調査Ⅱ-昭和50年度-』(1976) PP. 1-293 青森県埋蔵文化財調査報告書第26集	平安時代	炭化材(住居内)。	N=6 クリ(2)、ハリギリ・クルミ・クマシテ属(1)。
青森県062 浅瀬石南遺跡 (黒石市浅瀬石)	青森県教育委員会『黒石市牡丹平南・浅瀬石遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財発掘調査Ⅱ-昭和50年度-』(1976) PP. 1-293 青森県埋蔵文化財調査報告書第26集	平安時代	炭化材(住居内)。	N=15 スギ(14)、クリ(1)。
青森県063 高館遺跡 (黒石市高館)	青森県教育委員会『黒石市高館遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財発掘調査-昭和52年度-』(1978) PP. 1-322 青森県埋蔵文化財調査報告書第4集	平安時代	挽き物(鉢・筒)、曲釘物、鏡柄、炭化材(住居内)。	N=86 スギ・サクラ類(10)、ヤチダモ・ケヤキ・コナラ(8)、クルミ・ナナ(7)、ホオノキ(6)、クリ(5) カツラ・カエデ類(4)、サワグルミ(3)、キハダ・ヤチダモ(2)、アスナロ・アサダ(1)。
青森県064 尻高(4)遺跡 (東津軽郡平館村)	青森県教育委員会『尻高(2)・(3)・(4)遺跡発掘調査報告書』(1985) PP. 1-265 青森県埋蔵文化財調査報告書第89集	縄紋時代後期	炭化材(住居内・土堀内)。	N=11 クリ・アスナロ(4)、カエデ・ホオノキ・カツラ(1)
青森県065 田面木平遺跡 (八戸市田面木)	八戸市教育委員会『八戸新都市区域内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ-田面木平遺跡(1)-』(1988) PP. 1-562八戸市埋蔵文化財調査報告書第20集	古墳時代前期-奈良時代	炭化材(住居内)。	N=70 コナラ属(58)、クリ(5)、トネリコ属(4)、カバノキ属(2)。
青森県066 狭狐遺跡 (弘前市狭狐)	青森県教育委員会『狭狐遺跡-発掘調査報告書-』(1985) 青森県埋蔵文化財調査報告書第90集	平安時代	弁戸枠材、下駄、漆器柄、紡績車、曲釘物、杵状品。	————
青森県067 牡丹平南遺跡 (黒石市牡丹平)	青森県教育委員会『黒石市牡丹平南・浅瀬石遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告Ⅱ-』(1976)	平安時代	筒(炭化)	————
青森県068 八幡崎(1)遺跡 (南津軽郡尾上町)	青森県教育委員会『青森県遺跡地名表』(1978) №28001	縄紋時代後期	漆器片。	————
青森県069 五木松遺跡 (南津軽郡須賀川町)	喜田貞吉・杉山孝榮『日本石器時代植物性遺物図録』(1980) 北海道出版企画センター・復刻	縄紋時代後期	漆器柄。	————
青森県070 土井1号遺跡 (北津軽郡板柳町)	村越謙・工藤素博『青森県土井1号遺跡』『月刊考古ジャーナル』第75号(1972)	縄紋時代後期	漆器柄、塗器漆器。	————
青森県071 鹿見地遺跡 (上北郡六ヶ所村)	青森県教育委員会『鹿見地遺跡発掘調査報告書-黒石市神地区農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1982) PP. 1-56 青森県埋蔵文化財調査報告書第145集	平安時代	炭化材(住居内)。 ☆1号柱=ホオノキ(4)、職孔材(1)。 2号柱=クリ(6)、ニレ属(3)、カエデ類(2)、キハダ(1)。	N=17 クリ(6)、ホオノキ(4)、ニレ属(3)、カエデ類(2)、キハダ?(1)、職孔材(1)。
青森県072 沢屋込遺跡 (八戸市飯町)	青森県教育委員会『沢屋込遺跡発掘調査報告書-八戸平原開拓建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1992) PP. 1-640 青森県埋蔵文化財調査報告書第144集	縄紋時代後期 奈良時代	炭化材(住居内)。 炭化材(住居内)。	N=3 シテ類(3)。 N=4 クリ(4)。
青森県073 外次郎塚遺跡 (八戸市十日市)	青森県教育委員会『外次郎塚遺跡発掘調査報告書-青森県立八戸商業高等学校校野球場建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1990) PP. 1-214 青森県埋蔵文化財調査報告書第128集	縄紋時代中期末 縄紋時代? 奈良時代	炭化材(住居内)。 炭化材(土堀内)。 炭化材(住居内)。	N=1 ハクウンゾク(1)。 N=4 クリ(4)。 N=9 コナラ(9)。
青森県074 堀切沢遺跡 (上北郡六ヶ所村)	青森県教育委員会『外次郎塚遺跡発掘調査報告書-青森県立八戸商業高等学校校野球場建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書-』(1990) PP. 1-214 青森県埋蔵文化財調査報告書第128集	奈良時代	炭化材(住居内)。	N=6 コナラ(6)。
青森県075 荒川村出土地 (東津軽郡荒川村)	松本信広『上代独木舟の考察』『日本民族文化の起源』第二巻(1978) 講談社	時期不明	丸木舟。	N=1 スギ(1)。
青森県076 小河原沼出土地 (上北郡甲地村)	松本信広『上代独木舟の考察』『日本民族文化の起源』第二巻(1978) 講談社	時期不明	丸木舟。	N=1 アカマツ(1)。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.011 (岩手県1)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
岩手県001 森内遺跡 (盛岡市業)	岩手県埋蔵文化財センター『跡所ダム建設関連遺跡発掘調査報告書—盛岡市森内遺跡(1)本文・表・図版』(1982) PP. 1-382 岩手県埋蔵文化財センター『発掘調査報告書32集』	縄文時代後期	削り物(皿=脚付き・台付き)、漆器(皿・鉢)、容器素材、漆、彫刻木柱、丸木弓、小型弓、削り棒、横鉋、構造部材(又材・組板材)、尖り棒、小型円盤、不明品、分割材、加工材、割杭。	N=49 クリ(33)、カヤ(10)、スギ(2)、イチイ(2)、コナラ(1)、ニレ?(1)。 割杭・構造部材・彫刻木柱=クリ、丸木弓・小型弓=カヤ削り棒、尖り棒=スギ、容器は未特定
岩手県002 自角子久保VI遺跡 (九戸郡軽米町)	岩手県埋蔵文化財センター『自角子久保VI遺跡発掘調査報告書—国道340号造成工事関連遺跡発掘調査—』(1988) PP. 1-180 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第129集	江戸時代末	桶、箱物、曲好物、漆器碗、工具柄、井戸枠(板)、箸、釘、加工材。	N=51 マツ(22)、クリ(19)、イタヤ(5)、スギ(4)【肉眼】 ホノキ(1)
岩手県003 扇畑遺跡 (二戸郡安代町)	岩手県埋蔵文化財センター『東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査報告書—二戸郡安代町扇畑1遺跡昭和54年度』(1981) PP. 1-140 岩手県埋蔵文化財センター『発掘調査報告書第17集』	平安時代	漆、炭化材(住居址内)。	【肉眼】 漆=ツグ? 炭化材=柱・ケヤキ、板・ナラ、カツラ(点数不明)
岩手県004 一戸城跡 (二戸郡一戸町)	一戸町教育委員会『一戸ハイパス関係埋蔵文化財調査報告書II—一戸城跡—』(1982) PP. 1-315 一戸町文化財調査報告書第2集 一戸町教育委員会『一戸城跡—昭和58年度発掘調査概報—』(1984) PP. 1-40 一戸町文化財調査報告書第8集 一戸町教育委員会『一戸城跡—昭和59年度発掘調査概報—』(1985) PP. 1-64 一戸町文化財調査報告書第12集 一戸町教育委員会『一戸城跡—昭和60年度発掘調査概報—』(1986) PP. 1-102 一戸町文化財調査報告書第15集	戦国時代—江戸時代	漆桶下駄、鷹羽下駄、漆器(筒・皿)、鍔柄曲好物、折敷、双六盤、箱物、構造部材、板割りかす。 柱材=クリ。 箱物、漆器?。 槍、箸、棒状品、板材、加工材、構造部材。	N=44 ネスコ(11)、ホオノキ(10)、ケヤキ(8)、スギ(8)、キハダ(2)、ブナ(1)、マツ(1)、サワグルミ(1)、ミズナラ(1)、クリ(1)。 下駄=ホオノキ・キハダ・ケヤキ・マツ 曲好物板=ネスコ・スギ
岩手県005 胆沢城跡 (水沢市倉石)	水沢市教育委員会『胆沢城跡—昭和51年度発掘調査概報—』(1977) PP. 1-90 水沢市教育委員会『胆沢城跡—昭和56年度発掘調査概報—』(1982) PP. 1-46 水沢市教育委員会『胆沢城跡—昭和57年度発掘調査概報—』(1983) PP. 1-45 水沢市教育委員会『胆沢城跡—昭和60年度発掘調査概報—』(1986) PP. 1-71	平安時代 (9-10c)	焼き物(筒・皿)、曲好物、独坐状品、有孔円盤、掛い具、板、木簡、井戸枠(板)、柱、高串、箸、鳥形?。	N=95 スギ(36)、ケヤキ(18)、クリ(17)、トナリキ(6)、モミ・ホオノキ・カツラ・クロウメモドキ(3) オオヤマザクラ・ハリギリ(2)、ハルニレ・ミズナラ(1)。 容器板=スギ 焼き物=ケヤキ 構造部材=クリ。
岩手県006 徳丹城跡 (紫波郡矢巾町)	矢巾町教育委員会『胆沢城跡—昭和57年度発掘調査概報—』(1983) PP. 1-76 水沢市教育委員会『胆沢城跡—昭和58年度発掘調査概報—』(1984) PP. 1-34 岩手県埋蔵文化財センター『徳丹城跡発掘調査報告書—国道4号拡幅工事関連遺跡発掘調査—』(1992) PP. 1-88 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第167集	平安時代	柱材、礎盤。 不明部材。 部材(板)、壺状品、杖列(割木)、柱根、礎盤。	N=35 クリ(31)、ケヤキ(3)、散孔材(1)。 スギ?。 N=61 クリ(41)、スギ(15)、マツ(5)。
岩手県007 明神遺跡 (久慈市)	岩手県埋蔵文化財センター『明神遺跡発掘調査報告書—国道4号久慈ハイパス関連遺跡発掘調査—』(1991) PP. 1-86 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第150集	平安時代	桶、曲好物(側板・底板)。	—
岩手県008 比爪館遺跡 (紫波郡紫波町)	紫波町教育委員会『比爪館遺跡—第六次発掘調査報告書—』(1983) PP. 1-81 紫波町文化財調査報告書第11集 紫波町教育委員会『比爪館遺跡—調査説明資料(第8次—第10次)』(1990) PP. 1-18 岩手県埋蔵文化財センター『比爪館遺跡発掘調査報告書—国道4号拡幅工事関連遺跡発掘調査—』(1991) PP. 1-29 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第151集	平安時代末—鎌倉時代 (12c)	井戸枠材等(板材・角材・曲好物)、漆桶下駄、鷹羽下駄、曲好物、漆器碗、箸、漆、馬籠、形代(籠・刀・弓)、不明品、部材。	—
岩手県009 笹間館跡 (花巻市北笹間)	岩手県埋蔵文化財センター『笹間館跡発掘調査報告書—区域整備事業笹間地区関連遺跡発掘調査—』(1988) PP. 1-677 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第124集	室町時代—戦国時代 (15-16c)	漆器(筒・皿)、漆桶下駄、鷹羽下駄、曲好物、折敷?、箱物、箸、漆、部材、板、加工材、杭。	【肉眼】 曲好物=スギ、他は未特定。
岩手県010 宮地遺跡 (江刺市愛宕)	岩手県教育委員会『東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書IV—宮地遺跡』(1980) PP. 1-394 岩手県文化財調査報告書第48集	平安時代 (9-10c)	井戸枠(板材せり組み)、井筒(削り物)	—
岩手県011 伝大手門遺跡 (胆沢郡衣川村)	岩手県教育委員会『東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書—V—』(1980) PP. 27-174 岩手県文化財調査報告書第48集	江戸時代後半?	漆器碗、柱材、板、割材、杭、他。	N=39 クリ(27)、ヒノキ(9)、ホオノキ(2)、コナラ【肉眼】 (1) 柱・板・漆器=クリ。
岩手県012 大沢遺跡 (西磐井郡平泉町)	岩手県教育委員会『東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書—VI—』(1980) PP. 177-194 岩手県文化財調査報告書第48集	江戸時代後半 (18c)	漆器碗、柱材。	【肉眼】 柱材=クリ。
岩手県013 東裏遺跡 (胆沢郡衣川村)	岩手県教育委員会『東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書—VI—(一関地区東裏遺跡)—』(1980) PP. 1-389 岩手県文化財調査報告書第48集	縄文時代晩期	構造部材(有頭板)。	【肉眼】 ヒノキとヒノキ。
岩手県014 国見山廃寺跡 (北上市船瀬町)	北上市教育委員会『国見山廃寺跡第九次発掘調査報告書』(1981) PP. 1-57 北上市文化財調査報告書第32集 北上市教育委員会『国見山廃寺跡発掘調査概報(1988年度)』(1989) PP. 1-32 北上市文化財調査報告書第52集	平安時代末 (12c) 室町時代	箸状品?。 折敷板?、壺状品、不明品(刀形)。	柱材=クリ。
岩手県015 中尊寺伝三重池跡 (西磐井郡平泉町)	平泉遺跡調査会・中尊寺『中尊寺—発掘調査の記録—』(1983) PP. 1-152	平安時代末 (12c)	構造部材(橋部材?・柱柱)、塔婆、木簡、削り物(皿)、漆器碗、板、不明品。	—

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.012 (岩手県2)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品(上位10種)ほか	使用跡種(上位10種)ほか
岩手県 016 北郷B遺跡 (二戸郡一戸町)	一戸町教育委員会『一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書-1-』 (1981) PP1-440 一戸町文化財調査報告書第1集	奈良時代-平安時代 初頭 (8c)	炭化材(住居址内)。	AH09住ヤチダモ(23)、コナラ類(23)、サクラ類(14) カツラ(7)、ホオノキ(2)、トチノキ(1)。 BD03住ヤチダモ(23)、サクラ類(16)、トチノキ(5)、 ヤマグリ(1)。 BG06住コナラ類(17)、クリ(3)、サクラ類(1)、 BH56住クリ(5)。 DH06住ケヤキ(14)、コナラ(5)。 合計=ヤチダモ(46)、コナラ類(45)、サクラ類(31)、ケヤキ(14)、クリ(8)、 カツラ(7)、トチノキ(6)、ホオノキ(2)、ヤマグリ(1)。
岩手県 017 上野D遺跡 (二戸郡一戸町)	一戸町教育委員会『一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書-1-』 (1981) PP1-440 一戸町文化財調査報告書第1集	奈良時代 (8c)	炭化材(住居址内)。	BA09住 コナラ類(84)、ヤマグリ(2)、コヒ(2)、 ケヤキ(1)、クリ(1)、サクラ類(1)。
岩手県 018 田中3遺跡 (二戸郡一戸町)	一戸町教育委員会『一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書-1-』 (1981) PP1-440 一戸町文化財調査報告書第1集	平安時代 (10c)	炭化材(住居址内)。	CG62住 コナラ類(7)。 CJ65住 サクラ類(2)、ナナ(2)、ケヤキ・マツ(1)。
岩手県 019 田中4遺跡 (二戸郡一戸町)	一戸町教育委員会『一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書-1-』 (1981) PP1-440 一戸町文化財調査報告書第1集	奈良時代-平安時代 (8-9c)	炭化材(住居址内)。	BC59住 コナラ類(13)、サクラ類(4)、カツラ(2)。 AF62住 コナラ類(47)、ヤマグリ(1)。 BE68住 コナラ類(34)、クリ(9)、ヤチダモ(4)、ヤマ グリ(2)、カツラ(2)、サクラ類(1)、散孔材
岩手県 020 馬場平2遺跡 (二戸郡一戸町)	一戸町教育委員会『一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書-III-』 (1983) PP1-348 一戸町文化財調査報告書第4集	縄文時代中期 平安時代 (10c)	炭化材(住居址内)。	N=144 クリ(140)、カバノキ(2)、サリミ(1)、 トウヒ(1)。 N=19 クルミ(7)、カバノキ(7)、クリ(3)、スギ(1)、 マツ(1)。
岩手県 021 親久保II遺跡 (二戸郡一戸町)	岩手県埋蔵文化財センター『親久保I・II・III・IV遺跡発掘調査報告書 -東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査-』(1987) PP. 33- 185 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第116集	平安時代 (10-11c)	炭化材(住居址内)。	N=101 スギ(64)、ケヤキ(18)、クリ(10)、ムラサ 【肉眼】 キンキヅ(4)、ソネ(3)、ナラ・イタヤ(1)。
岩手県 022 上の山V遺跡 (二戸郡安代町)	岩手県埋蔵文化財センター『岩手県安代町上の山V遺跡発掘調査報告書 -東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査-』(1987) PP. 1- 582 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第60集	平安時代 (10-11c)	炭化材(住居址内)。	N=203 クリ(142)、アサダ?(20)、ケヤキ(8)、 【肉眼】 ナラ(3)、マツ(2)、不明(28)。
岩手県 023 駒坂遺跡 (九戸郡軽米町)	岩手県埋蔵文化財センター『駒坂遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車 道関連遺跡発掘調査-第1分冊古代-近世編-』(1986) PP. 1-241 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第98集	平安時代 (9c)	炭化材(住居址内)。	N=112+ クリ(119+)アオダモ(3)、ケヤキ+。 【肉眼】
岩手県 024 五尾I遺跡 (二戸郡浄法寺町)	岩手県埋蔵文化財センター『五尾I遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車 道関連遺跡発掘調査-』(1986) PP. 1-469 岩手県文 化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第97集	平安時代 (9c)	炭化材(住居址内)。	N=282 クリ(191)、ケヤキ(30)、タモ(8)、ホウノ 【肉眼】 キ(4)、クリ(2)、アサダ(1)。 不明広葉樹(26)、不明針葉樹(9)、不明(11)
岩手県 025 平沢I遺跡 (久慈市長内)	岩手県埋蔵文化財センター『平沢I遺跡発掘調査報告書-働労者屋外体 育施設関連遺跡発掘調査-』(1988) PP1-311 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第125集	平安時代 (9-10c)	炭化材(住居址内)。	N=89 ナラ(68)、クリ(21)。 【肉眼】
岩手県 026 飛島台地I遺跡 (二戸郡浄法寺町)	岩手県埋蔵文化財センター『飛島台地I遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自 動車道関連遺跡発掘調査-分冊1-』(1988) PP. 1-701 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第120集	平安時代 (10-11c)	炭化材(住居址内)。	N=83 クリ(73)、ケヤキ(3)、ナラ(2)。 【肉眼】 針葉樹(3)、不明(2)。
岩手県 027 坂道遺跡 (久慈市坂道)	岩手県埋蔵文化財センター『坂道遺跡発掘調査報告書-国道45号久慈 バイパス関連遺跡発掘調査-』(1989) PP. 1-338 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第138集	奈良時代 (8c)	炭化材(住居址内)。	N=40 クリ(33)、ナラ(5)、ケヤキ(2)、不明(2) 【肉眼】
岩手県 028 馬場野II遺跡 (九戸郡軽米町)	岩手県埋蔵文化財センター『馬場野II遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自 動車道関連遺跡発掘調査-分冊1-』(1986) PP. 1-592 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第99集	縄文時代中期-後 期	炭化材(住居址内)。	【肉眼】 クリ、ケヤキ、ホオノキ。
岩手県 029 嶺II遺跡 (九戸郡九戸村)	岩手県埋蔵文化財センター『嶺II遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車 道八戸線建設関連遺跡発掘調査-』(1984) PP. 1-508 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第78集	縄文時代中期 縄文時代後期 平安時代 10c	炭化材(住居址内)。	【肉眼】 ナラ。 ナラ、セン。 ナラ、クリ、カツラ、ケヤキ、ホオノキ、マツ。
岩手県 030 曲田I遺跡 (二戸郡安代町)	岩手県埋蔵文化財センター『曲田I遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自 動車道関連遺跡発掘調査(第2分冊)』(1985) PP. 1-467 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第87集	縄文時代後期	炭化材(住居址・土壇内)。	N=12 クリ(10)、スギ?(1)、不明(1)。 【肉眼】
岩手県 031 田余内I遺跡 (二戸郡浄法寺町)	岩手県埋蔵文化財センター『田余内I遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自 動車道関連遺跡発掘調査-』(1986) PP. 1-105 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第105集	平安時代 (10c)	炭化材(住居址内)。	N=10+ クリ(多数)、スギ?(3)、ケヤキ(3)、アオダモ 【肉眼】 (1)、ソネ(1)。
岩手県 032 馬立II遺跡 (二戸市福田)	岩手県埋蔵文化財センター『馬立II遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自 動車道関連遺跡発掘調査-』(1988) PP. 1-272 岩手県 文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第122集	縄文時代後期	炭化材(住居址内)。	N=6 クリ(4)、ナラ(2)。 【肉眼】
岩手県 033 石田II遺跡 (水沢市石田)	岩手県埋蔵文化財センター『石田II・寺嶺・西光田I遺跡発掘調査報告 書-国道397号道路改良工事関連遺跡発掘調査-』(1988) PP1-203岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第130集	奈良時代	炭化材(住居址内)。	N=6 クリ(108)、ナラ(22)。 【肉眼】

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.013 (岩手県3)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品(上位10種)ほか	使用樹種(上位10種)ほか
岩手県034	高瀬1遺跡 (遠野市松崎町)	岩手県埋蔵文化財センター『高瀬1遺跡発掘調査報告書-藤ヶ石川中小河川水循環促進発掘調査-(1991) PP. 1-297 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第155集	平安時代後期 (11c)	不明木製品。	【肉眼】 スギ。
岩手県035	物見崎遺跡 (北上市工業団地)	岩手県埋蔵文化財センター『物見崎遺跡-監物発掘調査報告書-第一三北上中部工業用水道関連遺跡発掘調査-(1991) PP. 1-124 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第157集	平安時代後期 (11c)	炭化材(炭炭類内)。	【肉眼】 ナラ。
岩手県036	舊合Ⅱ遺跡 (江刺市愛宕)	岩手県埋蔵文化財センター『主要地方道一関・北上線関連遺跡発掘調査報告書-岩手県江刺市力Ⅱ遺跡・鬼Ⅱ遺跡・舊合Ⅱ遺跡・朴ノ木遺跡-(1979) PP. 153-204 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第8集	平安時代後期以降	井戸枠(丸木・角材・割材・板)、井筒(曲げ物)、鉤手。	曲げ物=スギ 井戸枠=クリ、ドロノキ。 鉤手=クスギ・エゴノキ。
岩手県037	物見崎遺跡 (北上市工業団地)	岩手県埋蔵文化財センター『白山遺跡第2次発掘調査報告書-岩手県県南青少年の家建設事業関連遺跡発掘調査-(1983) PP. 1-328 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第65集	室町時代後期 (15-16c)	曲げ物、運南下駄、板、不明品。	曲げ物=ネズコ、運南下駄=クリ。
岩手県038	江刺家遺跡 (九戸郡九戸村)	岩手県埋蔵文化財センター『江刺家遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査-I-(1984) PP. 1-405 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第70集	平安時代 (10c)	櫛(炭化)。	—————
岩手県039	古館Ⅱ遺跡 (花巻市中観子)	岩手県埋蔵文化財センター『古館Ⅱ遺跡発掘調査報告書-東北縦貫道花巻南(インターチェンジ)関連遺跡発掘調査-I-(1986) PP. 1-502 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第103集	鎌倉時代 (13-14c)	井戸枠(分割材・板材)。 炭化材(住居址内)。	【肉眼】 クリ(22)。 クリ(33)、ナラ(7)、マツ(1)、針葉樹(1)。
岩手県040	桂平遺跡 (二戸郡浄法寺町)	岩手県埋蔵文化財センター『桂平遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査-I-(1986) PP. 1-279 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第110集	平安時代後期 (10-11c)	曲げ物(炭化)。 炭化材(住居址内)。	【肉眼】 底板=セン。 クリ、ミズキ、ホノノキ、セン、ナラ(点数不明)。
岩手県041	安比内1遺跡 (二戸郡浄法寺町)	岩手県埋蔵文化財センター『安比内1遺跡発掘調査報告書-東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査-I-(1986) PP. 1-119 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第106集	平安時代 (10c)	不明品(炭化)。	【肉眼】 ムラサキシキブ。
岩手県042	久保屋敷遺跡 (紫波郡矢町)	岩手県教育委員会『東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査-II-(1986) PP. 453-495 岩手県文化財調査報告書第32集	戦国時代 (16c)	柱材、礎盤。	柱=ヒバ、クリ、建物によって使い分けられる。 礎盤=アカマツ。
岩手県043	上平澤新田遺跡 (紫波郡紫波町)	岩手県教育委員会『東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査-III-(1980) PP. 129-218 岩手県文化財調査報告書第52集	平安時代 (9c)	炭化材(住居址内)。	丸木(上材)=トネリコ、敷板=マツ、(点数不明)。
岩手県044	大地遺跡 (滝沢郡石島町)	岩手県教育委員会『東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査-VI-(石島谷・花巻地区)』(1981) PP. 18-312 岩手県文化財調査報告書第56集	縄文時代中期 平安時代 (9c)	炭化材(住居址内)。	【肉眼】 縄=クリ、ケヤキ。 平=クリ、ケヤキ、タモノキ類。
岩手県045	石田遺跡 (水沢市寺隈)	岩手県教育委員会『東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査-XII-(石田遺跡)』(1981) PP. 1-300 岩手県文化財調査報告書第61集	奈良時代後半 (8c)	炭化材(住居址内)。	【肉眼】 クリ、ケヤキ。
岩手県046	太田方入遺跡 (志波郡志波町) (盛岡市下太田)	岩手県教育委員会『東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査-XIII-太田方入遺跡(志波遺跡)』(1982) PP. 1-519 岩手県文化財調査報告書第68集	平安時代 (9c)	炭化材(住居址内)。	【肉眼】 ナラ。
岩手県047	鳩岡崎遺跡 (北上市江釣子)	岩手県教育委員会『東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査-XV2-(江釣子村鳩岡崎遺跡-遺物・要約・分析鑑定結果)-』(1982) PP. 1-341 岩手県文化財調査報告書第70集	奈良時代	炭化材(住居址内)。	【肉眼】 クリ、ケヤキ、ナラ、クスノキ、マツ、針葉樹。
岩手県048	下谷地B遺跡 (北上市江釣子)	岩手県教育委員会『東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査-XVI-(北上地区)』(1982) PP. 123-256 岩手県文化財調査報告書第72集	平安時代 (9-10c)	一木簡、焼き物(筒・皿)、漆器碗、曲げ物、桶、容器板、折敷、羽り物(杓)、櫛、運南下駄、整件、横櫓、鏡、糸巻き、脚部、木簡。	N=43 セン(16)、スギ(13)、クリ(6)、ナラ(6)、マツ(1)、ツグ?(1)、アカシデ(1)。 一木簡=アカシデ 焼き物=セン 曲げ物・容器板=スギ 下駄=クリ 件=籠=ナラ 櫛=ツグ? 糸巻き=スギ
岩手県049	八天遺跡 (北上市更木)	北上市教育委員会『八天遺跡(昭和50-昭和52年度調査)本文編』(1979) PP. 1-205 北上市文化財調査報告書第27集	江戸時代以降 (1979)	井戸枠(組み穴付き板)。	スギ。
岩手県050	湯舟沢遺跡 (岩手郡滝沢村)	滝沢村教育委員会『湯舟沢遺跡(第2分冊)』(1986) PP. 1-894 滝沢村文化財調査報告書第2集	縄文時代後期 弥生時代中期 弥生時代後期	炭化材(住居址内)。	N=4 クリ(2)、トネリコ類(2)。 N=20 ナラ類(15)、トネリコ類(3)、クリ(1)、ホノノキ(1)。 N=6 ケヤキ(4)、ナラ類(1)、ホノノキ(1)。
岩手県051	志羅山遺跡 (西磐井郡平泉町)	平泉町教育委員会『平泉遺跡群発掘調査報告書-脚之跡所跡第17次・志羅山遺跡第2・3次調査結果-』(1985) PP. 1-47 岩手県平泉町文化財調査報告書第6集	平安時代末 (12c)	住根、礎盤。	—————
岩手県052	湯岡崎遺跡 (西磐井郡平泉町)	平泉町教育委員会『平泉遺跡群発掘調査報告書-湯岡崎遺跡第22次・脚之跡所跡第19次調査-』(1988) PP. 1-47 岩手県平泉町文化財調査報告書第13集	平安時代末 (12c)	井戸枠(角材・板材)。	—————

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.014 (岩手県4)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
岩手県 053 毛越寺庭園 (西磐井郡平泉町)	平泉町教育委員会『特別史跡・特別名勝毛越寺庭園発掘調査報告書-第12次調査-』(1989) PP. 1-42 岩手県平泉町文化財調査報告書第14集	平安時代末 (12c)	木宝塔、塔礎、構造部材、杖、板。	————
岩手県 054 泉屋遺跡 (西磐井郡平泉町)	平泉町教育委員会『平泉遺跡群発掘調査報告書-泉屋遺跡第2次・第5次・加藤之御所第4次・毛越寺遺跡第2次発掘調査』(1991) 岩手県平泉町文化財調査報告書第23集	平安時代末-鎌倉時代 (12-14c)	曲好物、桶、箸、漆器(皿)、麻。	————
岩手県 055 花立II遺跡 (西磐井郡平泉町)	平泉町教育委員会『花立II遺跡第1次発掘調査報告書-国道4号幹線歩道工事に伴う発掘調査-』(1991) PP. 1-23 岩手県平泉町文化財調査報告書第25集	平安時代 (12c)	不明木製品(部材)、板(墨書・切り込み)	————
岩手県 056 佛之御所跡 (西磐井郡平泉町)	平泉町教育委員会『佛之御所跡発掘調査報告書-第11次・第12次発掘調査概報-』(1983) PP. 1-101 岩手県平泉町文化財調査報告書第1集 平泉町教育委員会『平泉遺跡群発掘調査報告書-加藤之御所第2次・藤間が遺跡第1次・佛之御所跡第18次調査』(1987) PP. 1-63 岩手県平泉町文化財調査報告書第11集 平泉町教育委員会『佛之御所跡発掘調査報告書-第20次・第22次発掘調査-』(1989) PP. 1-69 岩手県平泉町文化財調査報告書第15集 平泉町教育委員会『佛之御所跡発掘調査報告書-第27次・第29次発掘調査概報-平泉バイパス関連遺跡発掘調査』(1991) PP. 1-99 岩手県平泉町文化財調査報告書第24集 岩手県埋蔵文化財センター『佛之御所-姿を現した居館跡-』(1991) PP. 1-24 三浦謙一『佛之御所跡出土の木製品-一述報-』『紀要』X(1990) PP. 27-45 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	平安時代末 (12)	曲好物、漆器(皿・碗)、杓、折敷、漆器、物差、糸巻き、馬櫛、刀子柄、木宝塔、札、蓮台下駄、覆舟下駄、形代(人・鹿・鳥)、畜串、井戸枠(角材・板材)、ちゆう木、弓、柱根、礎礎、構造部材、杖。 刀子柄、綱毛、篋、糸巻き、櫛針、扇、笠櫛、横櫛、針、下駄(蓮船・覆舟)、板草履、曲好物、挽き物、折敷、蓋、底板、栓、箸、匙、杓、物差し、篋、形代(人・鹿・刀)、男鼠、塔礎、砥石台、鉤、火鑽臼、器物、他	———— N=? スギ・ヒノキ多い。
岩手県 057 善合II遺跡 (江刺市愛宕)	岩手県教育委員会『善合II遺跡』『東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書VI』(1980) PP. 223-485 岩手県文化財調査報告書第50集 ☆勳・ころばし N=6 コナラ(6) 挽き物 ケヤキ(19)、コナラ(1)	平安時代 (9-10c)	挽き物(皿・台付皿・碗)、漆器(碗)、箸、羽り物(櫛)、曲好物(円形板・側板)、櫛(木製品)、ころばし、整件、横櫛、蓮台下駄、編織、紡績車、形代(馬)?、構造部材(代板?)、加工材、板材。	N=43+ケヤキ(20)、コナラ類(9+)、スギ(3)、トネリコ(2)、ブナ(2)、キハダ(2)、マツ(1)、アサダ(1)、ヒノキ(1)、エゴキ属(1)、クリ(1+)。 ☆曲好物=マツ・スギ・ヒノキ 整件=アサダ 横櫛=エゴキ属・コナラ・トネリコ。
岩手県 058 眞森遺跡 (胆沢郡金ケ崎町)	金ケ崎町教育委員会『眞森遺跡』(1991) PP. 1-90 金ケ崎町文化財調査報告書第24集	江戸時代後期 (18-19c)	漆器碗、漆櫛、横櫛、煙管、肥手材、形代?(風車形・三角形)、曲好物小箱。	————
岩手県 059 土沢城跡 (和賀郡東和町)	東和町教育委員会『土沢城跡発掘調査概報-平成2年度-』(1991) PP. 1-19 東和町文化財調査報告書第5集	江戸時代前期 (17c)	柱根。	N=? クリ。
岩手県 060 安宿館遺跡 (盛岡市安宿館町)	盛岡市教育委員会『安宿館・里館遺跡-昭和61年度発掘調査概報-』(1987) PP. 1-83	江戸時代後期 (18-19c)	井戸枠?(角材せいろ組)。	————
岩手県 061 白山社遺跡 (平泉町杓沢)	平泉町教育委員会『泉屋遺跡第3次・白山社遺跡第1次発掘調査報告書』(1991) PP. 1-21 平泉町文化財調査報告書第27集	平安時代末 (12c)	部材。	————
岩手県 062 長瀬C遺跡 (二戸市末沢)	岩手県埋蔵文化財センター『二戸バイパス関連遺跡発掘調査報告書-二戸市長瀬C遺跡・長瀬D遺跡』(1981) PP. 1-414 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第22集	江戸時代	漆器。	————
岩手県 063 長瀬B遺跡 (二戸市末沢)	岩手県埋蔵文化財センター『二戸バイパス関連遺跡発掘調査報告書-二戸市長瀬B遺跡』(1982) PP. 1-473 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第36集	江戸時代	漆器片、煙管。	————
岩手県 064 館山遺跡 (金ケ崎町末沢)	岩手県埋蔵文化財センター『館山遺跡第2次発掘調査報告書-岩手県立県南青少年の家建設事業関連発掘調査-』(1983) PP. 1-328 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第65集	室町時代後期 (15-16c)	曲好物、板、蓮台下駄、不明品。	N=2 クリ・ネズミ(1)。 ☆下駄=クリ(1)。
岩手県 065 下田八幡館跡 (岩手郡玉山村)	玉山村教育委員会『下田八幡館』(1984) 玉山村文化財調査報告書第10集	室町時代	丸木材。	————
岩手県 066 栗田遺跡 (紫波郡紫波町)	岩手県教育委員会『東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書XIV』(1982) 岩手県文化財調査報告書第62集	江戸時代	柱根。	————

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.015 (秋田県1)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
秋田県001	臨本埋没家屋遺跡 (男鹿市臨本)	秋田県教育委員会『臨本埋没家屋第一次調査概報』(1965) PP. 1-35 秋田県文化財調査報告書第5集 秋田県教育委員会『臨本埋没家屋第二次調査概報』(1966) PP. 1-33 秋田県文化財調査報告書第6集 秋田県教育委員会『臨本埋没家屋第三次調査概報』(1967) PP. 1-73 秋田県文化財調査報告書第11集 男鹿市教育委員会『臨本埋没家屋第四次発掘調査報告書(小谷地遺跡)』(1982) PP. 1-33 男鹿市文化財調査報告書第2集	平安時代-鎌倉時代	鍬、田下駄、挽き物(椀・皿・蓋)、曲好物(容器・杓)、折敷、箸、漆めし、網台?、連鹿下駄、井戸枠(板)、栓、不明品、漆串、形代(舟・馬・刀・籠)、木簡、構造部材、織造部材。	スギが1点のみ同定されている。
秋田県002	胡狹路埋没建物遺跡 (北秋田郡鷹巣町)	秋田県教育委員会『胡狹路埋没建物遺跡第二次発掘調査概報』(1966) 秋田県文化財調査報告書第19集	平安時代	構造部材、柱、板。	—————
秋田県003	金沢遺跡 (横手市金沢)	秋田県教育委員会『金沢遺跡発掘調査概報』(1967) PP. 1- 秋田県文化財調査報告書第12集 秋田県教育委員会『金沢遺跡発掘調査概報』(1971) PP. 1- 秋田県文化財調査報告書第23集 秋田県教育委員会『昭和46年度金沢遺跡発掘調査概報』(1972) PP. 1- 秋田県文化財調査報告書第25集	平安時代-鎌倉時代	櫛(馬用?)、漆器碗、曲好物、篋、箸、刺木、容器把手、炭化材、構造部材、漆串、札、木簡。	—————
秋田県004	足田遺跡 (羽後町足田)	秋田県教育委員会『足田遺跡発掘調査概報』(1967) PP. 1- 秋田県文化財調査報告書第10集	平安時代	構造部材、柱。	—————
秋田県005	弘田遺跡 (仙北郡仙北町)	秋田県教育委員会『弘田遺跡昭和49年度発掘調査概報』弘田遺跡調査事務所年報1974 (1975) 秋田県文化財調査報告書第33集 秋田県教育委員会『弘田遺跡第9-10次発掘調査概要』弘田遺跡調査事務所年報1976 (1977) 秋田県文化財調査報告書第44集 秋田県教育委員会『弘田遺跡第11-12次発掘調査概要』弘田遺跡調査事務所年報1977 (1978) 秋田県文化財調査報告書第48集 秋田県教育委員会『弘田遺跡第13-22次発掘調査概要』弘田遺跡調査事務所年報1978 (1979) 秋田県文化財調査報告書第65集 秋田県教育委員会『弘田遺跡第23-30次発掘調査概要』弘田遺跡調査事務所年報1979 (1980) 秋田県文化財調査報告書第75集 秋田県教育委員会『弘田遺跡第38-45次発掘調査概要』弘田遺跡調査事務所年報1981 (1982) 秋田県文化財調査報告書第98集 秋田県教育委員会『弘田遺跡第46-52次発掘調査概要』弘田遺跡調査事務所年報1982(1983) 秋田県文化財調査報告書第104集 秋田県教育委員会『弘田遺跡第49-54次発掘調査概要』弘田遺跡調査事務所年報1983(1984) 秋田県文化財調査報告書第113集 秋田県教育委員会『弘田遺跡第55-59次発掘調査概要』弘田遺跡調査事務所年報1984(1985) 秋田県文化財調査報告書第121集 秋田県教育委員会『弘田遺跡第65-67次発掘調査概要』弘田遺跡調査事務所年報1986(1987) 秋田県文化財調査報告書第154集 秋田県教育委員会『弘田遺跡第68-73次発掘調査概要』弘田遺跡調査事務所年報1987(1988) 秋田県文化財調査報告書第168集 秋田県教育委員会『弘田遺跡第74-78次発掘調査概要』弘田遺跡調査事務所年報1988(1989) 秋田県文化財調査報告書第185集 秋田県教育委員会『弘田遺跡1-9次発掘』(1985) PP. 1-175 秋田県文化財調査報告書第122集	平安時代	篋、箱物、曲好物、漆器(椀・皿)、糸巻き、榎、絵馬、連鹿下駄、角材、板材、欄材(丸太)、構造部材、木簡。	スギ(23)=73次角材
秋田県006	大島井山遺跡 (横手市大島町)	横手市教育委員会『大島井山Ⅰ』(1979) PP. 1-60 横手市教育委員会『大島井山Ⅱ』(1980) PP. 1-36 横手市教育委員会『大島井山Ⅳ』(1981) PP. 1-33	平安時代-鎌倉時代	漆器碗、曲好物、篋、連鹿下駄、蓋、杭、構造部材。	—————
秋田県007	下夕野遺跡 (秋田市川尻)	秋田市教育委員会『秋田市下夕野遺跡発掘調査報告書』(1979) PP. 1-58	平安-鎌倉時代 (11-14c)	井戸枠(板材・角材)、井筒(曲好物)、漆器碗、曲好物、箸、籠、下駄差し歯、刀子柄	—————
秋田県008	浦沼遺跡 (西秋田郡八郎崎町)	秋田県教育委員会『浦沼遺跡発掘調査報告書』(1982) PP. 1- 1-100 秋田県文化財調査報告書第96集	戦国時代 (16c)	曲好物板、下駄差し歯、箸、踏脚、戸車、他	—————
秋田県009	歌内遺跡 (鹿角市八幡平)	秋田県埋蔵文化財センター『東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅱ』(1983) PP. 1-358 秋田県文化財調査報告書第88集	平安時代	不明品(棒状腐付き)。	—————
秋田県010	案内Ⅲ遺跡	秋田県埋蔵文化財センター『東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅵ-Ⅰ 案内Ⅲ遺跡』(1983) PP. 223-378 秋田県文化財調査報告書第88集	平安時代	曲好物(炭化米入り)。	—————
秋田県011	中田面遺跡 (山本郡雄浜村)	秋田県教育委員会『中田面遺跡・重兵衛1・Ⅱ遺跡・板洗場遺跡発掘調査報告書』(1980) 秋田県文化財調査報告書第74集	平安時代-鎌倉時代	井戸枠(柱材=丸太・板材)。	スギ(40)。
秋田県012	後城遺跡 (秋田市)	秋田市教育委員会『昭和53年度後城遺跡発掘調査報告書』(1979)	奈良時代-平安時代	屋根材、榎、栓、櫛、連鹿下駄、挽き物・漆器碗、曲好物、折敷、箸、杓、蓋。	—————
秋田県013	立沢遺跡 (由利郡二賀保町)	二賀保町教育委員会『立沢遺跡発掘調査報告書』(1987)	平安時代後期	漆器碗、扇、曲好物、箸、刀子柄、連鹿下駄	—————
秋田県014	藤木遺跡 (大曲市藤木)	秋田県教育委員会『藤木遺跡発掘調査報告書』(1981) 秋田県文化財調査報告書第81集	平安時代	井戸枠材(板4点)。	—————

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.016 (秋田県2)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
秋田県015	中山遺跡 (南秋田郡五城目町)	五城目町教育委員会『中山遺跡発掘調査報告書』(1984) PP. 1-89	縄文時代後期末-晩期	漆器(浅鉢・碗・弓・櫛)、棒状品、炭化材、角材、板材。	————
秋田県016	船泊城跡 (雄勝郡雄勝町)	秋田県教育委員会『船泊城跡発掘調査報告書』(1980) 秋田県文化財調査報告書73集	室町時代-戦国時代(16c)	漆器(碗・皿)、連舟下駄、井戸枠材(角材・板材)、蓋、篋。	————
秋田県017	湯ノ沢F遺跡 (秋田市四ツ小屋)	秋田市教育委員会『秋田市秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書-湯ノ沢A遺跡・湯ノ沢C遺跡・湯ノ沢F遺跡・湯ノ沢H遺跡・野形遺跡-』(1984) PP. 1-	平安時代	灰皮箱。	サクラ。
秋田県018	矢立庵寺跡 (大館市白沢)	大館市教育委員会『矢立庵寺発掘調査報告書』(1987)	平安時代	薄板品?	————
秋田県019	下乳牛遺跡 (鹿角市花輪)	秋田県教育委員会『東北縦貫自動車道発掘調査報告書X1-孫右エ門館遺跡・案内I遺跡・妻の神II遺跡・下乳牛遺跡・西町I遺跡・西町II遺跡-』(1984) PP. 235-270 秋田県文化財調査報告書第119集	平安時代	焼き物(皿)、櫛、構造物材(壁板材・他)	————
秋田県020	石名館遺跡 (仙北郡六郷町)	武蔵野城「羽後館石名館出土の木製品」『史前学雑誌』第三巻第四号(1931) PP. 46-45 漆澤多市「遺物性遺物の出土例」『秋田考古学会誌』第3巻第1号(1934) PP. 37-38 両紹介には他に平鹿郡船泊町石塚出土の弓、仙北郡藤木村出土の弓、仙北郡土川村殿屋敷出土漆箱、仙北郡荒川村奥山出口出土の漆器等の記載がある。時期不明。	平安時代?	有頭櫛、有孔板(柄付)、箸。	ナラ類。
秋田県021	秋田城跡 (秋田市寺内)	秋田市教育委員会『秋田城跡-昭和51年度秋田城跡発掘調査概報-』(1977) 秋田市教育委員会『秋田城跡-昭和53年度秋田城跡発掘調査概報-』(1979) 秋田市教育委員会『秋田城跡-昭和54年度秋田城跡発掘調査概報-』(1980) 秋田市教育委員会『秋田城跡-昭和56年度秋田城跡発掘調査概報-』(1982) 秋田市教育委員会『秋田城跡-昭和57年度秋田城跡発掘調査概報-』(1983) 秋田市教育委員会『秋田城跡-昭和59年度秋田城跡発掘調査概報-』(1985) PP. 1-48 秋田市教育委員会『秋田城跡-昭和61年度秋田城跡発掘調査概報-』(1987) PP. 1-70 秋田市教育委員会『秋田城跡-昭和62年度秋田城跡発掘調査概報-』(1988)	奈良時代 平安時代 鎌倉時代	井戸枠(板材・角材・引り材・曲好物)、漆器(碗)、焼き物(碗)、曲好物、容器把手、篋、箸、形代(人・馬)、畜串、札、板、棒状品、木簡。	————
秋田県022	用野目川川向遺跡 (鹿角市西山)	秋田県教育委員会『西山区農産道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書IV-用野目川川向遺跡-』(1989) PP. 1-60 秋田県文化財調査報告書第182集	平安時代	炭化材(構造物材=壁板・床板)。	————
秋田県023	手取清水遺跡 (横手市清水町)	秋田県埋蔵文化財センター『東北縦貫自動車道秋田線発掘調査報告書V-手取清水遺跡-』(1990) PP. 1-626 秋田県文化財調査報告書第182集	平安時代-鎌倉時代	一木簡、鎌状製品、鐵釘?、篋、針、楔、紡錘車、鏝、符牒、漆器(碗・皿)、曲好物(容器・杓)、折敷、蓋、箸、櫛、板、連舟下駄、畜串、形代(人・馬・籠)、木簡、加工材、板材。	スギ(6)=木簡
秋田県024	蟹子沢遺跡 (鹿角市西山)	秋田県教育委員会『一般国道7号八電能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書II-福田遺跡・石丁遺跡・蟹子沢遺跡・十二林遺跡-』(1989) PP. 161-176 秋田県文化財調査報告書第182集	縄文時代後期?	炭化材。	ケヤキ。
秋田県025	十二林遺跡 (鹿角市西山)	秋田県教育委員会『一般国道7号八電能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書II-福田遺跡・石丁遺跡・蟹子沢遺跡・十二林遺跡-』(1989) PP. 177-394 秋田県文化財調査報告書第182集	平安時代後期	炭化材(遺構内)。	N=6 クリ・ケンボナシ・フナ属(2)。
秋田県026	石坂台IV遺跡 (河辺群河辺町)	秋田県教育委員会『東北縦貫自動車道秋田線発掘調査報告書I-石坂台IV遺跡・石坂台VI遺跡・石坂台VII遺跡・石坂台VIII遺跡・石坂台IX遺跡-松木台III遺跡-』(1986) PP. 1-614 秋田県文化財調査報告書第150集	旧石器時代18,000年前	炭化材(包含層内)。	N=3 トネリコ属(3)。
秋田県027	堪忍沢遺跡 (鹿角市花輪)	秋田県教育委員会『西山区農産道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書I-堪忍沢遺跡-』(1987) PP. 1-56 秋田県文化財調査報告書第152集	平安時代中期(10c)	炭化材(製鉄炉内)。	N=4 ヤマウルシ(2)、サンショウ(2)。
秋田県028	電毛沢遺跡 (山本郡二ツ井町)	秋田県教育委員会『電毛沢遺跡発掘調査報告書-一般国道7号二ツ井バイパス建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査-』(1990) PP. 1-341 秋田県文化財調査報告書第188集	平安時代(10c) 室町時代前期(14c)	炭化材(製鉄炉内)。 炭化材(建物跡)。	N=4 クリ(2)、サクラ類(2)。 N= スギ(25)、クリ(1)。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.017 (秋田県3)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
秋田県029	竹原堂跡 (平鹿郡平鹿町)	秋田県教育委員会『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書X1-竹原堂跡-』(1991) PP.1-296 秋田県文化財調査報告書第209集	奈良時代末-平安時代 (8-9c)	炭化材(墓跡内)。	N=23 クヌギ(18)、クリ(4)、ノリウツギ(1)。 N=9 クヌギ類(7)、クリ(1)、広葉樹散孔材(1)。
秋田県030	西海老沢遺跡 (若美町)	若美町教育委員会『西海老沢遺跡発掘調査報告書-昭和61年若美町海老沢地区団体宮庭道整備事業に係る埋蔵文化財調査-』(1987) 桜田隆「須恵器窯の構造・天井築構材について」『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第6号 (1991) PP.17-30	奈良時代末-平安時代	炭化材(墓跡内)。	N=11 ノリウツギ属(5)、トネリコ属(3)、コナラ属・ニレ属・サクラ類(1)。
秋田県031	新屋浜貝塚 (秋田市新屋)	秋田県教育委員会『秋田県遺跡地図』(1976)	縄紋時代晩期	漆器類。	—————
秋田県032	箱山権古山遺跡 (秋田市浜川)	秋田県教育委員会『秋田県遺跡地図』(1976)	室町時代以降	下駄(漆)。	—————
秋田県033	前田遺跡 (大館市比内)	日本考古学協会『日本考古学年報31』(1980)	戦国時代-江戸時代	漆器(筒・皿)。	—————
秋田県034	鶴田遺跡 (湯沢市松岡)	秋田県教育委員会『鶴田遺跡発掘調査報告書』(1974) 秋田県文化財調査報告書第28集	縄紋時代晩期	漆器類。	—————
秋田県035	殿屋敷遺跡 (秋田県西仙北町)	喜田貞吉・杉山寿榮『日本石器時代植物性遺物図録』(1980) 北海道出版企画センター・復刊	縄紋時代晩期	漆器類。	—————
秋田県036	上飯ノ沢遺跡 (由利郡象鼻町)	秋田県教育委員会『大砂川地区農免道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』(1991) PP.1-180 秋田県文化財調査報告書第213集	縄紋時代中期	炭化材(住居址内)。	N=1 クリ(1)。
秋田県037	富ヶ沢A遺跡 (横手市赤坂)	秋田県教育委員会『秋田ふるさと村(仮称)建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書-富ヶ沢A・B・C墓跡、田久保下遺跡、富ヶ沢1号-4号塚-』(1992) PP.1-504 秋田県文化財調査報告書第220集	平安時代 縄文時代?	炭化材(墓跡内)。 炭化材(土壌内)。	N=14 コナラ類(13)、クリ(1)。 N=6 コナラ類(5)、トネリコ属(1)。
秋田県038	富ヶ沢B遺跡 (横手市赤坂)	秋田県教育委員会『秋田ふるさと村(仮称)建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書-富ヶ沢A・B・C墓跡、田久保下遺跡、富ヶ沢1号-4号塚-』(1992) PP.1-504 秋田県文化財調査報告書第220集	平安時代	炭化材(墓跡内)。	N=4 コナラ類(3)、クリ(1)。
秋田県039	田久保下遺跡 (横手市扇気大塚)	秋田県教育委員会『秋田ふるさと村(仮称)建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書-富ヶ沢A・B・C墓跡、田久保下遺跡、富ヶ沢1号-4号塚-』(1992) PP.1-504 秋田県文化財調査報告書第220集	平安時代	炭化材(墓跡内)。	N=1 クリ(1)。
秋田県040	上野遺跡 (大館市池内)	秋田県教育委員会『国道103号道路改良工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書VI-上野遺跡-』(1992) PP.1-94 秋田県文化財調査報告書第222集	平安時代	炭化材(住居址内)。	N=2 カワラ・イヌエンジュ(1)。
秋田県041	待入Ⅲ遺跡 (秋田市金足片田)	秋田県教育委員会『秋田外環状道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ-待入Ⅲ遺跡-』(1992) PP.1-74 秋田県文化財調査報告書第224集	平安時代 (9c) 室町時代 (14-15c)	井戸枠材、箸、板、串状品。 井戸枠材(隅柱?)。	—————
秋田県042	上野遺跡 (大館市池内)	秋田県教育委員会『国道103号道路改良工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書V-山王谷遺跡-』(1992) PP.1-192 秋田県文化財調査報告書第221集	平安時代?	井筒(曲げ物)。	—————
秋田県043	大湯遺跡 (鹿角市)	鹿角市教育委員会『大湯環状列石周辺遺跡発掘調査報告書Ⅰ』(1987) PP.1-142 鹿角市文化財調査資料32	縄紋時代後期	埴状品(漆器)。	—————

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.018 (宮城県1)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
宮城県 001	山前遺跡 (遠田郡小牛田町) 小牛田町教育委員会『山前遺跡』(1976) PP. 1-59 小牛田町教育委員会『山前遺跡-史跡環境整備報告書-』(1979) PP. 1-24	古墳時代前期 (4c)	組合せ彫刻、組合せ又彫刻、一木彫、横線(えぶり)未製品、横線、把手(漆器)、部材	—
宮城県 002	花山寺跡 (奥原郡花山村) 花山村教育委員会『花山寺跡』(1979) PP. 1-31 花山村文化財調査報告書第1集 宮城県教育委員会『大貫山麓跡址』(1990) PP. 129-148 宮城県文化財調査報告書第137集	平安時代末-鎌倉時代?	漆器柄、刺り物(鉢・碗)、丸木舟、不明品 角材、構造部材、 建築部材、漆器柄。	—
宮城県 003	安久東遺跡 (仙台市中田町) 仙台市教育委員会『仙台市中田町安久東遺跡発掘調査概報』(1976) 仙台市文化財調査報告書第10集	古墳時代-奈良時代	漆器柄、曲げ物、部材、杖。	N=46 コナラ(22)、クリ(8)、イヌブナ(4)、ホノキ・オニグルミ・クスギ・カシワ・カヤ・イヌガヤ・イヌシデ・カツラ・ミスズ・ヤナギ属・ヤマグワ・アサダ(1)。
宮城県 004	山口遺跡 (仙台市中田町) 仙台市教育委員会『山口遺跡発掘調査報告書Ⅱ』(1984) PP. 464-518 仙台市文化財調査報告書第61集 仙台市教育委員会『富沢・泉崎浦・山口遺跡-富沢遺跡第36-48次・泉崎浦遺跡第4次・山口遺跡第5-8次発掘調査報告書-』(1989) PP. 102-130 仙台市文化財調査報告書128	弥生時代後期以降 平安時代 (11c)	杖。 曲げ物、杖。	N=12 コナラ(10)、クスギ・オニグルミ(1)。 N=26 コナラ(14)、クリ(8)、イヌブナ(4)。 樹種は仙台市文化財調査報告書第98集に掲載
宮城県 005	富沢遺跡 (仙台市長町) 仙台市教育委員会『富沢水田遺跡-第1期発掘調査に伴う泉崎地区の調査報告書-』(1984) PP. 1-227 仙台市文化財調査報告書第67集 ----- 仙台市教育委員会『富沢-仙台市都市計画道路長町・折立線建設に伴う富沢遺跡第15次発掘調査報告書-』(1987) PP. 1-630 仙台市文化財調査報告書第98集 ----- 仙台市教育委員会『富沢遺跡-24次調査 富沢中学校地区発掘調査報告書-』(1988) PP. 1-376 仙台市文化財調査報告書第113集 ----- 仙台市教育委員会『富沢遺跡 第28次発掘調査報告書-』(1988) PP. 1-376 仙台市文化財調査報告書第113集 ----- 仙台市教育委員会『富沢遺跡-第33次発掘調査報告書-』(1988) PP. 1-35 仙台市文化財調査報告書第117集 ----- 仙台市教育委員会『富沢遺跡を探る-富沢遺跡第30次調査のあらまし-』(1989) PP. 1-16 仙台市文化財パンフレット第15集 ----- 仙台市教育委員会『富沢遺跡-第30次調査報告書第1分冊-縄文-近世編-』(1991) PP. 1-574 ----- 仙台市教育委員会『富沢遺跡-第34次発掘調査報告書-』(1988) PP. 1-53 仙台市文化財調査報告書第118集 ----- 仙台市教育委員会『富沢遺跡-第35次発掘調査報告書-』(1991) PP. 1-265 仙台市文化財調査報告書第150集 ----- 仙台市教育委員会『富沢・泉崎浦・山口遺跡-富沢遺跡第36-48次・泉崎浦遺跡第4次・山口遺跡第5-8次発掘調査報告書-』(1989) PP. 9-96 仙台市文化財調査報告書第128集 ----- 東洋文化財研究所『富沢水田遺跡-鹿野地区1次発掘調査概報-』(1986) PP. 1-43	弥生時代中期 弥生時代後期-古墳時代 平安時代 ----- 弥生時代中期 ----- 弥生時代後期-平安時代 鎌倉-江戸時代 明治時代? ----- 弥生時代中期 弥生時代後期-平安時代 鎌倉-江戸時代 ----- 弥生時代中期 弥生時代後期 平安時代 ----- 旧石器時代 縄文時代 弥生時代 古墳時代後期 ----- 平安時代 ----- 江戸時代 ----- 奈良-平安時代 江戸時代 ----- 弥生時代中期 ----- 縄文時代 平安時代? 中世 江戸時代? ----- 弥生時代? 平安時代 10c 時期不明	狭線、大型鏡状、斧柄未製品、漆器不明品。 一木彫、杖、板、容器底板。 鏡状品、曲げ物、大足台部、杖。 ----- 田下駄?、杖。 木片(自然木?)。 杖。 漆器柄、容器底板。 杖。 棺材(板)。 ----- 杖、樹皮加工品。 杖。 漆器柄、杖、櫛材。 ----- 狭線、堅作、板、杖。 杖、加工材、分割材。 杖、梯子部材。 ----- 不明品(棒状)。 ----- 自然木 加工材、分割材。 板目板、杖。 大足台部、構造部材、加工材、板、杖。 女大足=ヤマグワ 板・角材=モミ属・ヒノキ・クスギ ----- 大足、有頭角材、加工材、分割材、杖。 ----- 編み籠、杖、木口織成材。 ☆編み籠=広葉樹 ----- 杖、加工材、分割材、大足。 曲げ物、櫛、構造部材、杖、板材、角材。 ----- 杖。 ----- 自然木。 杖。 加工材。 矢板、杖。 ----- 構造部材。 刺り物底(脚付)、加工材、杖、板材。 杖。	狭線=クリ(1)、クスギ(1) 斧柄=ナラ(1)。 ☆一木彫=ナラ(1)、 ☆杖=ヤナギ・ナラ・カエデ(2)、トネリコ・サクラ(1)。 ----- 田下駄=クスギ、杖=クリ(29)、ケンボナシ(3)、カエデ属(2)、コナラ属・スギ(1)。 木片=クリ(8)、ケンボナシ(6)、フナ属(3)、ヤマグワ(2)、アスナロ・二葉松類・カバノキ属・クスギ(1)。 杖=クリ(9)、コナラ属・カエデ属(2)、オニグルミ・クスギ属・エゴノキ属(1)。 櫛=ケヤキ 板=クリ 杖=フナ属(2)、ウツギ・カエデ属・トネリコ属(1)。 二葉松類(2)、スギ(2)。 ----- 隙・堅作=クスギ、板=トネリコ属、 杖=カエデ属・クリ・カヤ・エゴノキ属・シノキ属。 杖=コナラ(3)、クリ(3)、カエデ属(2)、クスギ属・コカサギ・オニグルミ(1)。 梯子部材=コナラ ----- ヒノキ属 ----- N=2 クリ(1)、カエデ属(1)。 N=1 モミ属(1)。 N=139 コカサギ(21)、コナラ(19)、ヤナギ属(16)、クスギ(11)、フナ属・クリ・カエデ属(8)、モミ属(6)、クマシテ属・エゴノキ属(5)、トネリコ属(4)、シラキ(3)、アサダ・ヤマグワ・ヌルデ(2)、他 N=9 カヤ(3)、モミ属(2)、ツバキ属・ヒノキ属・クリ・エノキ属(1)。 N=100 ウツギ属(45)、クリ(23)、ヤナギ属(6)、ニワトコ(4)、オニグルミ(3)、マツ属(雑木系)・コナラ属・ヌルデ・トネリコ属(2)、他。 ----- ----- N=10 ハノキ(8)、トネリコ(1)、カラマツ(1)

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.019 (宮城県2)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
宮城県 006	佐野遺跡 (栗原郡金成町)	宮城県教育委員会『東北自動車道遺跡調査報告書Ⅱ』(1980) PP. 425-546 宮城県文化財調査報告書第63集	時期不明	井戸枠材?	—
宮城県 007	宮沢遺跡 (古川市宮沢)	宮城県教育委員会『東北自動車道遺跡調査報告書Ⅲ』(1980) PP. 3-261 宮城県文化財調査報告書第69集	奈良時代後半-平安時代前期	礎盤、杭?	—
宮城県 008	沼原A遺跡 (仙台市茂庭)	仙台市教育委員会『茂庭一茂庭住宅団地造成工事地内遺跡発掘調査報告書』(1983) PP. 325-376 宮城県文化財調査報告書第69集	平安時代	炭化材(住居址内・遺構内)。	N=5 クリ(3)、フナ属(2)。
宮城県 009	嶺山C遺跡 (仙台市茂庭)	仙台市教育委員会『茂庭一茂庭住宅団地造成工事地内遺跡発掘調査報告書』(1983) PP. 439-476 宮城県文化財調査報告書第69集	平安時代後半?	炭化材(遺構内)。	N=3 クリ(3)。
宮城県 010	梨野A遺跡 (仙台市茂庭)	仙台市教育委員会『茂庭一茂庭住宅団地造成工事地内遺跡発掘調査報告書』(1983) PP. 23-324 宮城県文化財調査報告書第69集	縄紋時代晩期	炭化材(土壌内)。	N=3 クリ(3)。
宮城県 011	台遺跡 (蔵王町円田)	宮城県教育委員会『亶理町三十三間堂遺跡ほか』(1989) PP. 176-188 宮城県文化財調査報告書第131集	古墳時代中期 古墳時代後期中世	手綱神(土壌内)、横礎?、加工材。 構造部材、不明品。 紡績具。	—
宮城県 012	山王園遺跡 (栗原郡一迫町)	一迫町教育委員会『山王園遺跡調査図録』(1985) PP. 1-15 PL. 1-37	縄紋時代晩期	掘り具(匙)、加工木、櫛。	—
宮城県 013	観音沢遺跡 (栗原郡高森町)	宮城県教育委員会『宮城県文化財発掘調査略報(昭和52年度)』 PP. 28-33 宮城県文化財調査報告書第53集	室町時代	井戸枠(丸き柱・板・棒材)、漆器碗、箱、櫛、曲好物。	—
宮城県 014	金谷貝塚跡 (柴田町入間田)	田中剛和『柴田町金谷貝塚出土の縄文木製品』『仙台市博物館調査研究報告-第9号-』(1988) PP. 44-51	縄紋時代後期	櫛。	イヌガヤ。
宮城県 015	笠島川川底遺跡 (角田市)	角田市教育委員会『角田市の文化財9』(1979)	縄紋時代後期	櫛。	—
宮城県 016	吹田東遺跡 (亶理町)	志岡泰治『亶理の原始古代』『亶理町史』(1975) 亶理町史編集室	縄紋時代後期?	櫛。	—
宮城県 017	新田遺跡 (多賀城市新田)	高倉敏明『新田遺跡』『多賀城市史』(1991) PP. 109-151 多賀城市史編集委員会 多賀城市埋蔵文化財センター『昭和62年度発掘調査報告書-柏木遺跡-新田遺跡-山王遺跡-』(1988) PP. 1-74 多賀城市埋蔵文化財センター『新田遺跡 昭和63年度発掘調査報告書』(1989) PP. 1-64 多賀城市文化財調査報告書18集 多賀城市埋蔵文化財センター『新田遺跡-(第4・11次調査)』(1990) PP. 1-163 多賀城市文化財調査報告書第23集	縄文時代-室町時代 (12-16c)	井戸枠(角材・丸木材)、彫材(割材・丸木材)、漆器碗、曲好物、杓、下駄、板草履、櫛、形代(舟)、番串、塔婆、板。 漆器碗、折敷、杓(割り物・曲好物)、曲好物、鎌刃?、連南下駄、板草履、横礎、編み籠、櫛、箸、糸巻き、鉢、加工材、器材、他	—
宮城県 018	山王遺跡 (多賀城市山王)	多賀城市教育委員会『山王・高崎遺跡発掘調査概報』(1981) PP. 1- 多賀城市文化財調査報告書第2集 多賀城市教育委員会『山王遺跡』(1986) PP. 1 56 多賀城市文化財調査報告書第9集 多賀城市教育委員会『山王遺跡-昭和60年度発掘調査報告書Ⅱ』(1990) PP. 1-21 多賀城市文化財調査報告書第10集 高倉敏明『山王遺跡』『多賀城市史』(1991) PP. 152-223 多賀城市史編集委員会 多賀城市教育委員会『山王遺跡-第3次発掘調査報告書』(1990) PP. 1-78 多賀城市文化財調査報告書第22集 多賀城市埋蔵文化財調査センター『山王遺跡-第12次調査概報-』(1992) PP. 1-32 多賀城市文化財調査報告書第30集 宮城県教育委員会『山王遺跡-仙塩道路建設関係遺跡入幡地区調査概報-』(1990) PP. 1-56 宮城県文化財調査報告書第138集 宮城県教育委員会『山王遺跡-仙塩道路建設関係遺跡平成2年度調査概報-』(1991) PP. 1-78 宮城県文化財調査報告書第141集 宮城県教育委員会『山王遺跡-仙塩道路建設関係遺跡平成3年度調査概報-』(1992) PP. 1-62 宮城県文化財調査報告書第147集	古墳時代中期 (5c) 平安時代 室町時代 平安時代 (9-10c) 室町時代 江戸時代 (19c) 古墳時代 奈良時代 中世 古墳時代後期 奈良-平安時代 鎌倉-室町時代 奈良-平安時代 鎌倉-室町時代 古墳時代後期 奈良時代 平安時代	多又櫛、数斧柄、横礎、構造部材、板材、棒状品。 井戸枠(丸木材)、横礎、連南下駄、曲好物 籠形下駄、自在鉤、漆器碗、挽き物、折敷 井戸枠(丸木材・角柱・板)、井筒(曲好物 割り物)、彫材(丸木)、番串、折敷、挽き 物、箸、題籤軸、立体人形、櫛。 籠形下駄、自在鉤、折敷、漆器(碗皿) 櫛、選岸杭、漆器碗、櫛、櫛、曲好物、連南 下駄、田下駄、籠。 木組以降機成材(建築材・杭)。 鉄斧柄、井戸枠(縦板・隅柱・柱)、曲好物 横礎、板草履。 一木櫛、長柄櫛、札、柱根、 井戸枠(縦板せいろ組)、井筒(曲好物)、木櫛。 井戸枠(横板)、井筒(曲好物)。 籠、曲好物板、漆器(碗・皿)、連南下駄、 編み籠、横礎、編み台脚、塔婆。 一木櫛、組合せ又横礎、刻木。 一木櫛。 柱根。 曲好物底部。	N=15 アカンデ(5)、ウラジロキ(3)、カマツカ・コナラ (2)、カスミザカラ・イヌナ・コブシ(1)。 N=32 クヌギ(12)、トチノキ(10)、サカラ類(4)、モ ミ・ハンノキ・クリ・コノキ類・ヌルデ?・トネリコ類(1)
宮城県 019	伊治城跡 (多賀城市市川)	多賀城市調査研究所『伊治城跡1-昭和52年度発掘調査報告書-』(1978) PP. 1-84 多賀城市遺跡発掘調査報告書第3集	奈良時代-平安時代 (8-9c)	挽き物、櫛、板。	—
宮城県 020	御所館遺跡 (黒川郡大和町)	高藤吉弘『御所館』『宮城県史』34-資料集V考古資料- (1981) P. 477 宮城県史刊行会	室町時代	井戸材、漆器碗。	—

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.020 (宮城県3)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
宮城県 021 多賀城跡 (多賀城市市川・浮島)	多賀城市調査研究所『多賀城跡-昭和44年度発掘調査概報-』(1970) 多賀城跡調査研究年報1969 多賀城市調査研究所『多賀城跡-昭和51年度発掘調査概報-』(1977) 多賀城跡調査研究年報1976 多賀城市調査研究所『多賀城跡-昭和52年度発掘調査概報-』(1978) 多賀城跡調査研究年報1977 多賀城市調査研究所『多賀城跡-昭和54年度発掘調査概報-』(1980) PP.1-105 多賀城跡調査研究年報1979 多賀城市調査研究所『多賀城跡』(1982) PP.1-65 多賀城跡調査研究年報1981 多賀城市調査研究所『多賀城跡』(1983) PP.1-72 多賀城跡調査研究年報1982 多賀城市調査研究所『多賀城跡』(1984) PP.1-97 多賀城跡調査研究年報1983 多賀城市調査研究所『多賀城跡』(1985) PP.1-104 多賀城跡調査研究年報1984 多賀城市調査研究所『多賀城跡』(1990) PP.1-97 多賀城跡調査研究年報1989 多賀城市調査研究所『多賀城跡-昭和49年度発掘調査概報-』(1975) 多賀城跡調査研究年報1974	奈良時代-平安時代 (8-9c)	榎、樺(丸木・角材・杭・板)、榊、楓、杉、栗、合付き皿、鉢、蓋・残材)、漆器(高杯)、曲好物、器物、櫛、連而下駄、弓、筈、横籠、一木脚、火燗口、針、籠、大足、算木、男板、札、木脚、柱板、暗架蓋板、井戸枠(丸木)削りかす、根太材。	ケヤキ、クリ。 N=16 ハノキ属(8)、クリ(4)、コナラ属(3)、モミ(1)。
宮城県 022 市川橋遺跡 (多賀城市市川)	多賀城市教育委員会『市川橋遺跡発掘調査報告書-昭和58年度発掘調査報告書-』(1984) PP.1-88 多賀城市文化財調査報告書第5集 多賀城市教育委員会『市川橋遺跡発掘調査報告書-昭和61年度発掘調査報告書-』(1987) PP.1-32 多賀城市文化財調査報告書第13集 高倉敏明『市川橋遺跡』『多賀城市史』4(1991) PP.423-459 多賀城市史編纂委員会	古墳時代中期	多又鋸、鉄斧柄、横籠、丸木弓、構造部材、板材、棒状品。	—————
宮城県 023 仙台二の丸 (仙台市川内)	東北大学埋蔵文化財調査委員会『東北大学埋蔵文化財調査年報1』(1985) PP.1-248	江戸時代	建築材(木羽・軒付板・帷子・下好束・楔)等。	—————
宮城県 024 清水遺跡 (名取市田高)	宮城県教育委員会『宮城県文化財発掘調査概報』(1977) PP.28-33 宮城県教育委員会『清水遺跡』『東北新幹線関係遺跡調査報告書-V-』(1981) PP.3-540	平安時代	井戸枠(板)、井筒(曲好物)、釜、独坐、曲好物、挽き物置?、横籠?、横着部材。	—————
宮城県 025 後河原遺跡 (仙台市中田町)	埋蔵文化財発掘調査研究所『宮城県仙台市後河原遺跡』(1985) PP.1-80 埋蔵文化財発掘調査研究所報告書 第1集	室町時代 (15c)	漆器(皿)、削り物(盤)、曲好物(円形板・側板)、板状品(下駄片?)、杭、櫛櫛板材。	—————
宮城県 026 青木遺跡 (白石市福岡)	宮城県教育委員会『青木遺跡』『東北自動車道遺跡調査報告書-IV-』(1980) PP.21-175	奈良-平安時代	器片。	—————
宮城県 027 御所館跡 (大和町高合森袋)	宮城県教育委員会『御所館跡』『東北自動車道遺跡調査報告書-III-』(1983) PP.101-222	室町時代末? (15-16c)	漆器碗。	—————
宮城県 028 矢ノ目遺跡 (伊具郡丸森町)	宮城県教育委員会『矢ノ目遺跡』『宮城県宮崎町等事業等関連遺跡詳細分布調査報告書(昭和58年度)』(1984) PP.251-282	室町時代末?	井戸枠(縦板・隅角柱・柱)、曲好物。	—————
宮城県 029 泉崎前遺跡(富沢) (仙台市長町)	仙台市教育委員会『仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報II-泉崎前遺跡-』(1984) PP.33-45 仙台市文化財調査報告書第56集	弥生時代中期以降?	横籠。	—————
宮城県 030 泉崎遺跡(富沢) (仙台市長町)	仙台市教育委員会『泉崎遺跡-発掘調査報告書-』(1988) PP.1-42 仙台市文化財調査報告書第119集 仙台市教育委員会『富沢・泉崎遺跡-山口遺跡-富沢遺跡第36-48次・泉崎遺跡第4次・山口遺跡第5-8次発掘調査報告書-』(1989) PP.97-101 仙台市文化財調査報告書第128集	鎌倉-江戸時代 江戸時代以降 平安時代以前	柱材、桶、容器底板、杭。	クリ(1)。
宮城県 031 今泉城跡 (仙台市今泉)	仙台市教育委員会『今泉城跡-発掘調査報告書-』(1980) PP.1-83 仙台市文化財調査報告書第24集 仙台市教育委員会『今泉城跡II-発掘調査報告書-』(1983) PP.1- 仙台市文化財調査報告書第58集	戦国-江戸時代 戦国-江戸時代	井戸枠(柱・柱)、連而下駄、曲好物(漆)漆器(楡・皿)、一木脚。	—————
宮城県 032 岩切瀧ノ鼻遺跡 (仙台市岩切)	宮城県教育委員会『岩切瀧ノ鼻遺跡』『東北新幹線関係遺跡調査報告書-1-』(1974) PP.161-274 宮城県文化財調査報告書第35集 仙台市教育委員会『瀧ノ鼻遺跡-発掘調査報告書-』(1981) PP.1-68 仙台市文化財調査報告書第32集	中世? 室町時代	井筒(曲好物)、横状板。 井戸枠(隅柱・柱・縦板)、桶底(底板・側板)。	—————
宮城県 033 水入遺跡 (多賀城市高崎)	宮城県教育委員会『多賀城市高崎水入遺跡発掘調査報告書』(1982) PP.1-170 宮城県文化財調査報告書第84集	平安時代前期 (9c)	井戸枠(丸木柱・板)、挽き物置、曲好物、編籠、刀子柄、棒状品、板、加工材。	—————
宮城県 034 田町裏遺跡 (角田市帆賀)	角田市教育委員会『住社遺跡・荒町遺跡・寺前遺跡・田町裏遺跡』(1991) PP.107-145 角田市文化財調査報告書7集	時期不明(中世)	杭。	—————

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
宮城県 035 郡山遺跡 (仙台市郡山)	仙台市教育委員会『宮城県仙台市郡山遺跡Ⅰ-昭和55年度発掘調査概報-』(1981)PP.1-44 仙台市文化財調査報告書第29集	古墳時代末期-奈良時代	櫛材	—
	仙台市教育委員会『宮城県仙台市郡山遺跡Ⅱ-昭和56年度発掘調査概報-』(1982)PP.1-105 仙台市文化財調査報告書第38集	古墳時代末期-奈良時代	井戸枠(縦板・横板・隅柱・杖)、	—
	仙台市教育委員会『宮城県仙台市郡山遺跡Ⅲ-昭和57年度発掘調査概報-』(1983)PP.1-118 仙台市文化財調査報告書第46集	中世以降	連歯下駄、円形板(曲げ物底・有孔)、漆器碗	—
	仙台市教育委員会『宮城県仙台市郡山遺跡Ⅳ-昭和58年度発掘調査概報-』(1984)PP.1-108 仙台市文化財調査報告書第64集	古墳時代末期-奈良時代	櫛材、井戸枠(縦板・隅柱)。	—
	仙台市教育委員会『宮城県仙台市郡山遺跡Ⅴ-昭和59年度発掘調査概報-』(1985)PP.1-133 仙台市文化財調査報告書第74集	古墳時代末期-奈良時代	櫛材。	クリ(4)。
	仙台市教育委員会『宮城県仙台市郡山遺跡Ⅵ-昭和60年度発掘調査概報-』(1986)PP.1-88 仙台市文化財調査報告書第86集	古墳時代末期-奈良時代	櫛材、柱根。	—
	仙台市教育委員会『宮城県仙台市郡山遺跡Ⅶ-昭和62年度発掘調査概報-』(1988)PP.1-98 仙台市文化財調査報告書第110集	古墳時代末期-奈良時代	櫛材。	—
宮城県教育委員会『宮城県仙台市郡山遺跡Ⅷ-平成3年度発掘調査概報-』(1992)PP.1-52 仙台市文化財調査報告書第161集	古墳時代末期-奈良時代	曲げ物、部材、加工材、櫛材。	—	
宮城県 036 飯音沢遺跡 (栗原郡高清水町)	宮城県教育委員会『飯音沢遺跡』『東北新幹線関係遺跡調査報告書Ⅰ-Ⅳ-』(1980)PP.131-349 宮城県文化財調査報告書第72集	鎌倉時代-室町時代(14c)	井戸枠(縦板・隅柱・杖)、刀子柄、箆、板	N=26 クリ(15)、スギ(10)、クスノキ(1)。 ☆井戸枠=クリ(15) 横櫛=クスノキ(1)
宮城県 037 仙台北三ノ丸跡 (仙台市内)	仙台市教育委員会『仙台北三ノ丸跡発掘調査報告書』(1985)PP.1-571 仙台市文化財調査報告書第76集	江戸時代(17c)	下駄(連歯・翼卵・異形・釘打)、榎、羽り物(鉢)、円形板(底・蓋)、曲げ物(杵・容器)、折敷、箱物、箸、漆器(輪・皿・盤・片口付鉢)、編枝、横櫛、刀子柄、箆、篋、人形、とんぼ翼、栓、杖、束、鴨居、火燗臼、板、加工材。	N=84 ヒノキアスナロ(31)、ナ(15)、ケヤキ(11)、ホオノキ・ネジキ(4)、クリ(3)、モミ属・トネリコ属(2)、クルミ属・キハダ?・ミズキ・ハリギリ・トチノキ(1)、スギ(1)、不明広葉樹(6)。 ☆漆器=ナ(15)、トチノキ(1)、広葉樹(2)。 羽り物(鉢)=ケヤキ(1)。 下駄=ヒノキアスナロ(11)、ケヤキ(10)、ホオノキ(4)、トネリコ属・クルミ属・クリ・キハダ?・ミズキ・ハリギリ?(1)、広葉樹(3)。 木簡=ヒノキアスナロ(6)。 横櫛=ネジキ(4)。 箸=ヒノキアスナロ(13)。
宮城県 038 新妻家墓地 (仙台市北沢)	仙台市教育委員会『仙台市教育委員会年報7-昭和60年度-』(1986)PP.37-54 仙台市文化財調査報告書第94集	江戸時代(18c)	横櫛、箸。	—
宮城県 039 今市遺跡 (仙台市岩切)	仙台市教育委員会『仙台市教育委員会年報8-昭和61年度-』(1987)PP.24-28 仙台市文化財調査報告書第107集	室町時代(14-15c)	漆器碗、曲げ物、杖。	—
宮城県 040 北屋敷遺跡 (仙台市六丁目)	仙台市教育委員会『北屋敷遺跡-六丁目コミュニティセンター用地内調査報告-』(1979)PP.1-21	江戸時代末期?	漆器碗、板、籠馬?、部材。	スギ(3)、
宮城県 041 柳生遺跡 (仙台市柳生)	仙台市教育委員会『柳生-土地画整理事業に伴う柳生地区の遺跡分布調査と、松木遺跡の発掘調査報告書-』(1986)PP.1-355 仙台市文化財調査報告書第95集	鎌倉時代(13-14c)	井戸枠(縦板・隅柱)、井筒(曲げ物)。	—
宮城県 042 鳥居原(富沢)遺跡 (仙台市長町)	仙台市教育委員会『仙台平野の遺跡群Ⅱ-昭和58年度発掘調査報告書-』(1984)PP.7-24 仙台市文化財調査報告書第65集	弥生時代中期?	杖、横木(丸木材)、木片。	N=4 ヤナギ属(2)、ケヤキ・サクラ属(1)、
宮城県 043 中在家南遺跡 (仙台市若林区荒井)	仙台市教育委員会『中在家南遺跡-若林区荒井の河川跡から発見された千年の遺産-』(1991)PP.1-12 仙台市文化財パンフレット第25集	弥生時代中期	広縁、狭縁、泥避け、笠状品、臼、壺片、羽り物(浅鉢脚付)、斧柄(直柄・膝柄)。	—
	荒井格『東北地方の木製農具-古墳時代以前の探検-』『加藤勉先生還暦記念東北文化論のための先史学歴史学論集』(1992)PP.809-832	古墳時代前期 古墳時代中期	広縁、組合せ又脚端、横櫛、縦櫛、一木簡、横櫛。 横櫛、一木簡、縦櫛、横櫛、丸木弓。	—
	工藤哲司・荒井格『仙台中在家南遺跡出土の木製品』『月刊考古学ジャーナル』第323号(1990)PP.19-26	平安時代 中世	転返し、円形板(曲げ物底)。 鉄斧柄	—
宮城県 044 押口遺跡 (仙台市若林区荒井)	仙台市教育委員会『中在家南遺跡-若林区荒井の河川跡から発見された千年の遺産-』(1991)PP.1-12 仙台市文化財パンフレット第25集	弥生時代中期	一木簡、泥よけ(未製品)	—
	仙台市教育委員会『仙台市押口遺跡の調査』『平成2年度宮城県内発掘調査成果発表会要旨』(1990)	古墳時代前期	広縁、組合せ又脚端、横櫛、縦櫛、他。	—
宮城県 045 藤田新田遺跡 (仙台市若林区荒井)	宮城県教育委員会『藤田新田遺跡-仙台東道路建設関係遺跡調査報告Ⅰ-』(1992)PP.1-63 宮城県文化財調査報告書第148集	古墳時代中期	組合せ横櫛、輪籠、有頭板。	—
		平安時代	一木簡、連歯下駄、挽き物碗、工具柄、部材、横櫛、脚端?。	—
宮城県 046 根岸遺跡 (玉造郡岩出山町)	宮城県教育委員会『宮城県宮原町遺跡関係遺跡詳細分布調査報告書(昭和55年度)』(1981)PP.3-56 宮城県文化財調査報告書第75集	縄文時代晩期	漆器、耳飾り?、藍胎漆器。	—

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No. 022 (宮城県5)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
宮城県 047	遠見塚古墳 (仙台市南小泉)	仙台市教育委員会『史跡遠見塚古墳墳地整備予備調査概報』 (1976) 仙台市文化財調査報告書第11集 仙台市教育委員会『史跡遠見塚古墳墳地整備第二次予備調査概報』 (1977) 仙台市文化財調査報告書第12集	古墳時代	笠輪。	————
宮城県 048	経の塚古墳 (名取市下増田)	長谷部言人「陸前名取郡増田町下増田経ノ塚出土鹿角製刀装具に就て」 『人類学雑誌』第39巻4・5・6号 (1925)	古墳時代	笠輪。	————
宮城県 049	龍沼古墳 (角田市龍沼)	志開素治「角田市龍沼古墳」『考古学雑誌』第45巻第3号 (1966)	古墳時代	碇輪。	————
宮城県 050	戸ノ内遺跡 (仙台市四郎丸)	仙台市教育委員会『戸ノ内遺跡発掘調査報告書』(1984) 仙台市文化財調査報告書第70集	室町時代	桶。	————
宮城県 051	松田遺跡 (白石市深谷)	宮城県教育委員会『東北縦貫自動車道遺跡調査報告書Ⅱ』(1982) 宮城県文化財調査報告書第92集	平安時代	皿(炭化)。	————
宮城県 052	飯詰船跡 (白石市斎川)	宮城県教育委員会『東北新幹線関係遺跡調査報告書Ⅱ』(1980) PP. 3-16 宮城県文化財調査報告書第62集	室町時代?	曲釘物。	————
宮城県 053	八沢要害遺跡 (栗原郡築館町)	宮城県教育委員会『東北新幹線関係遺跡調査報告書Ⅳ』(1980) 宮城県文化財調査報告書第72集	江戸時代	漆器碗。	————
宮城県 054	稚小路竈穴 (亶理郡亶理町)	亶理町教育委員会『稚小路竈穴集群発掘調査報告書』(1981)	古墳時代後期	漆器片。	————
宮城県 055	伊達政宗庵 (仙台市置屋下)	仙台市教育委員会『怪ヶ峯一総合調査報告—瑞鳳殿発掘調査概報』 (1980) 仙台市文化財調査報告書第22集	江戸時代	蒔絵箱、皿、漆器碗。	————
宮城県 056	木屋敷遺跡 (川崎町前川)	宮城県教育委員会『東北横断自動車道遺跡調査報告書Ⅰ』(1986) PP. 1-170 宮城県文化財調査報告書第120集	戦国時代	連筒下駄。	————
宮城県 057	八沢要害遺跡 (栗原郡築館町)	宮城県教育委員会『東北新幹線関係遺跡発掘調査報告書—Ⅳ—』 (1980) PP. 351-388 宮城県文化財調査報告書第72集	江戸時代後期	漆器碗。	————
宮城県 058	上野船跡 (志田郡松山町)	宮城県教育委員会『上野船跡(Ⅱ)—平成2年度発掘調査報告—』 (1991) PP. 1-64 宮城県文化財調査報告書第143集 宮城県教育委員会『上野船跡(Ⅲ)—平成3年度発掘調査報告—』 (1992) PP. 1-72 宮城県文化財調査報告書第149集	江戸時代 (18c)	柱根。 柱根、榑材(枕・横木)、篋、杓柄、漆器碗、曲釘物。	————
宮城県 059	藤田新田遺跡 (仙台市若林区)	宮城県教育委員会『藤田新田遺跡—仙台東道路建設関係遺跡調査概報—』 (1992) PP. 1-63 宮城県文化財調査報告書第148集	平安時代	鍔、組合せ椀、両頭板、一木脚、連筒下駄、鍬き物柄、横鉈、脚。	————
宮城県 060	金鐘神遺跡 (田尻町沼部)	宮城県教育委員会『金鐘神遺跡(仮)』(1992) PP. 1-106 宮城県文化財調査報告書第150集	平安時代	漆器碗、不明有孔版。	————
宮城県 061	五松山洞窟遺跡 (石巻市深)	石巻市教育委員会『五松山洞窟遺跡発掘調査報告』(1988) PP. 1-248 石巻市文化財調査報告書第3集	古墳時代後期	箱、刀付着木材。	N=4 ヒノキ(3)、広葉樹(1)。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.023 (山形県1)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
山形県001 嶋遺跡 (山形市宮町嶋)	山形県教育委員会『嶋遺跡』(1964) PP. 1-58 山形市史編纂委員会『山形市史別巻1-嶋遺跡-』(1968) PP. 1-237	古墳時代後期-奈良・平安時代前期 古墳時代後期	組合せ彫刻、輝紋柄、大足、整片、横籠、朝り物(鉢・皿=脚付あり)、曲げ物、杖、豆釘、弓、矢床、腕部材?、漆子、漆造部材、刺木、不明品。 櫛、簪?	N=9 クリ(2)、スギ(2)、ヒバ?ヒキ?(2)、アカマツ(1)、ケヤキ(1)、ミズナラ(1)。
山形県002 堂の前遺跡 (飽海郡八幡町)	山形県教育委員会『堂の前遺跡』(1975) PP. 1-29 山形県埋蔵文化財調査報告書第5集 山形県教育委員会『堂の前遺跡-昭和53・54年度調査略報-』(1980) PP. 1-20 山形県埋蔵文化財調査報告書第30集	平安時代-鎌倉時代	籠、容器底版、矢板、斗、肘木、長押、漆造部材。 杖、井戸枠材。	—————
山形県003 明成寺遺跡 (酒田市豊川)	山形県教育委員会『若王子遺跡・明成寺遺跡・三田遺跡発掘調査報告書』(1980) PP. 1-20 山形県埋蔵文化財調査報告書第32集	平安末-鎌倉時代	漆器碗、箸、塔婆。	—————
山形県004 境野遺跡 (酒田市境野)	山形県教育委員会『境野遺跡』(1981) PP. 1-60 山形県埋蔵文化財調査報告書第46集	平安時代 (10-11c)	曲げ物、漆器皿、刀形?。	—————
山形県005 関B遺跡 (酒田市関)	山形県教育委員会『関B遺跡』(1981) PP. 1-24 山形県埋蔵文化財調査報告書第47集	平安時代 (9-10c)	井戸枠(板)、矢板、漆器碗。	—————
山形県006 地正面遺跡 (飽海郡遊佐町)	山形県教育委員会『農林事業関係遺跡発掘調査報告書-地正面遺跡-』(1982) PP. 1-35 山形県埋蔵文化財調査報告書第51集	平安時代 (10c前半)	井戸枠(板)、曲げ物底版、箸。	—————
山形県007 北田遺跡 (酒田市関)	山形県教育委員会『北田遺跡第2次発掘調査報告書』(1982) P. 1-45 山形県埋蔵文化財調査報告書第53集	平安時代 (10c)	井戸枠(横板せいろ組)、矢板、櫛。	—————
山形県008 道伝遺跡 (置賜郡川西町)	川西町教育委員会『川西町道伝遺跡-KWNO-発掘調査現地説明資料』(1979) PP. 1-11 川西町教育委員会『山形県川西町道伝遺跡発掘調査報告書』(1981) PP. 1-45 川西町埋蔵文化財調査報告書第2集 川西町教育委員会『山形県川西町道伝遺跡-第1次調査概報-』(1981) PP. 1-14 川西町埋蔵文化財調査報告書第3集 川西町教育委員会『山形県川西町道伝遺跡-第2次重要遺跡確認調査概報-』(1982) PP. 1-19 川西町埋蔵文化財調査報告書第4集 川西町教育委員会『山形県川西町道伝遺跡-第3次重要遺跡確認調査概報-』(1983) PP. 1-25 川西町埋蔵文化財調査報告書第5集 川西町教育委員会『山形県川西町道伝遺跡発掘調査報告書-置賜郡遊佐町-』(1984) PP. 1-9 川西町埋蔵文化財調査報告書第5集	奈良時代末-平安時代 (8-9c)	漆器(碗・皿)、曲げ物、箱物、定規(割台?)、篋、横籠、弓、工具柄、懸籠?、斎串、籠、整片、井戸枠(板)、田下駄、櫛。	N=4 弓=イチイ・イヌガヤ(1)、整片=クスギ(1)、横籠=コナラ(1)。
山形県009 手蔵田6・7遺跡 (酒田市手蔵田)	酒田市教育委員会『手蔵田6・7遺跡-県営圃場整備事業中平田東地区にともなう発掘調査概報』(19) PP. 1 96 酒田市埋蔵文化財調査報告書第1集	平安時代 (9 10c)	連南下駄、曲げ物、漆器碗。	—————
山形県010 手蔵田2遺跡 (酒田市手蔵田)	山形県教育委員会『手蔵田遺跡発掘調査報告書』(1985) PP. 1-52 山形県埋蔵文化財調査報告書第87集	平安時代 (10c)	井戸枠(横板)、井筒(割り物)、柱材、礎盤、漆器盤、挽き物(皿)、斎串。	スギ?(皿)。
山形県011 手蔵田12遺跡 (酒田市手蔵田)	山形県教育委員会『手蔵田遺跡発掘調査報告書』(1985) PP. 53-128 山形県埋蔵文化財調査報告書第87集	平安時代 (9-10c)	井戸枠(割り物・板・曲げ物=井筒)、丸木弓、箸、挽き物(台付皿)、棒状品、不明品	—————
山形県012 手蔵田10・11遺跡 (酒田市手蔵田)	山形県教育委員会『手蔵田10・11遺跡発掘調査報告書』(1988) PP. 53-128 山形県埋蔵文化財調査報告書第124集	平安時代 (10c) 戦国時代 (16c)	漆器碗、挽き物(皿)、曲げ物、箱物、連南下駄、露那下駄、箸、篋、折敷、弓、篋、札、大足伴部?、形代(角)、井筒(割り物)傘頭部、工具柄、漆造材、矢板。	—————
山形県013 上船井遺跡 (蔵島町)	蔵島町教育委員会『上船井遺跡発掘調査報告書』(1984) PP. 1-34 蔵島町埋蔵文化財調査報告書第4集	平安時代-鎌倉時代 12-14c	柱材、礎盤、曲げ物、折敷、漆器碗、連南下駄。	—————
山形県014 高阿弥田遺跡 (酒田市横代)	山形県教育委員会『高阿弥田遺跡発掘調査報告書』(1985) PP. 1-96 山形県埋蔵文化財調査報告書第86集	平安時代末-鎌倉時代	井戸枠(板・角材)、井筒(曲げ物)、箸、連南下駄?、漆器(皿・碗)、物差し?、曲げ物(容器・杓)、櫛、板材、棒材、杖。	—————
山形県015 沢田遺跡 (南陽市鳥貫)	山形県教育委員会『沢田遺跡発掘調査報告書』(1985) PP. 1-46 山形県埋蔵文化財調査報告書第88集	平安時代 江戸時代	柱材。 櫛、漆器碗、蓋。	ツガ=櫛
山形県016 生石2遺跡 (酒田市生石)	山形県教育委員会『生石2遺跡発掘調査報告書』(1985) PP. 1-34 山形県埋蔵文化財調査報告書第89集	平安時代	板列遺構、井戸枠、挽き物(皿・鉢)、曲げ物、弓、独条、箸、斎串。	—————
山形県017 西沼田遺跡 (天童市大野目・蔵増)	山形県教育委員会『西沼田遺跡発掘調査報告書』(1986) PP. 1-105 山形県埋蔵文化財調査報告書第101集	古墳時代後期- (6-7c)	整片、横籠、組合せ彫刻(ナスビ形)、脚柄、鍔柄、大足伴、篋、篋、連南下駄、篋、糸巻き?、櫛、漆造部材、不明品、板、形代(刀・矢)。	N=16 クヌギ(5)、クリ(4)、カエデ(2)、コナラ(5)、キハタ・クサギ・ヤマナラシ(1)、ユズリハ(1) ☆スギと思われる針葉樹材が多数あるが、未同定。
山形県018 大橋遺跡 (飽海郡遊佐町)	山形県教育委員会『大橋遺跡第1次発掘調査報告書』(1988) PP. 1-44 山形県埋蔵文化財調査報告書第101集 山形県教育委員会『大橋遺跡第2次発掘調査報告書』(1989) PP. 1-56 山形県埋蔵文化財調査報告書第139集	鎌倉時代以降 (12-14c)	漆器(碗・膳脚部)、挽き物(碗・盤)、曲げ物、折敷、箱物、篋、箸、櫛、横籠、付供脚、人形、連南下駄、露那下駄、板車、糸巻き、井戸枠(板)、柄杓、加工木。	—————

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.024 (山形県2)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
山形県019 生石4遺跡 (酒田市生石)	山形県教育委員会『生石4遺跡第2次発掘調査報告書』(1988) PP. 1-24 山形県埋蔵文化財調査報告書第125集	平安時代 (9c)	矢板、板材、構造物材、曲好物、畜串、杭。	—————
山形県020 木川遺跡 (酒田市木川)	山形県教育委員会『分布調査報告書(15)』(1988) PP. 112-125 山形県埋蔵文化財調査報告書第119集	平安時代後期-鎌倉時代	井戸枠(角材・板)。	—————
山形県021 早稲田遺跡 (飽海郡平田町)	山形県教育委員会『早稲田遺跡・桜林遺跡・西田遺跡発掘調査報告書』(1988) PP. 1-12 山形県埋蔵文化財調査報告書第126集	平安時代 (9-10c)	箸、柱材、礎盤。	—————
山形県022 桜林遺跡 (飽海郡平田町)	山形県教育委員会『早稲田遺跡・桜林遺跡・西田遺跡発掘調査報告書』(1988) PP. 13-33 山形県埋蔵文化財調査報告書第126集	平安時代 (9-10c)	井戸枠(杭・板・曲好物)。	—————
山形県023 西田遺跡 (飽海郡平田町)	山形県教育委員会『早稲田遺跡・桜林遺跡・西田遺跡発掘調査報告書』(1988) PP. 34-58 山形県埋蔵文化財調査報告書第126集	室町時代?	下駄(差込前部分)、不明品(有孔小円盤)	—————
山形県024 矢馳A遺跡 (鶴岡市矢馳)	山形県教育委員会『鶴岡西部地区遺跡群-矢馳A遺跡・矢馳B遺跡・清水新田遺跡発掘調査報告書』(1988) PP. 1-92 山形県埋蔵文化財調査報告書第127集	古墳時代後期 (6c)	井戸枠(角材・板)、井筒(曲好物)、棒材、板材。	—————
山形県025 大槻新田遺跡 (酒田市大槻新田)	山形県教育委員会『大槻新田遺跡発掘調査報告書』(1988) PP. 1-18 山形県埋蔵文化財調査報告書第129集 山形県教育委員会『平田地区遺跡群-大槻新田遺跡・手蔵田3遺跡・横代遺跡・野野田遺跡-発掘調査報告書』(1989) PP. 5-24 山形県埋蔵文化財調査報告書第137集	戦国時代 (16c) 平安時代 (10c)	曲好物、漆器(椀・皿-高台付)、連而下駄、板、加工木。 井戸枠(横板せいろ組)(横板・縦板)、井筒(曲好物)、柱根、礎盤、畜串。	—————
山形県026 押出遺跡 (置賜郡高島町)	山形県教育委員会『高島町押出遺跡-第1次調査説明資料-』(1985) PP. 1-13 山形県教育委員会『高島町押出遺跡-第2次調査説明資料-』(1986) PP. 1-13 山形県教育委員会『高島町押出遺跡-第3次調査説明資料-』(1987) PP. 1-16 佐々木洋治・長橋至『山形県高島町押出遺跡』『縄文時代の木の文化』富山県考古学会縄文時代研究グループ(1989) PP. 17-22	縄文時代前期	甕状品、掘い具、浅鉢(台付)、容器把手、櫂、弓、箸、柱、根太材、板材、角材杭、不明品、構造物材。	トネリコ属、ヤナギ属、コナラ属、オニグルミ、ハンノキ属、クリ、モクレン属、ヤマグリ、エノキ属、ケヤキ(2次調査の柱根材)
山形県027 上浅川遺跡 (米沢市浅川)	米沢市教育委員会『上浅川-1次・2次調査報告書-』(1985) PP. 1-53 米沢市埋蔵文化財調査報告書第14集 米沢市教育委員会『上浅川-第3次発掘調査報告書-』(1986) PP. 1-169 米沢市埋蔵文化財調査報告書第15集	奈良時代 江戸時代	代掻、柱根、棒状品。 漆器椀、器部材、曲好物、樽蓋、杓、篋、箸、杵、銚、えぶり状品、下駄(無歯)、部材、板、加工材。	—————
山形県028 八幡原B遺跡 (米沢市八幡原)	米沢市教育委員会『米沢市八幡原中核工業団地造成予定地内埋蔵文化財調査報告書-第3集-』(1977) PP. 72-116	江戸時代 明治時代	箱(桶)、板片。	—————
山形県029 八幡堂遺跡 (米沢市万世町)	米沢市教育委員会『米沢市万世町桑山団地造成地内埋蔵文化財調査報告書-第2集-』(1983) PP. 193-223 米沢市埋蔵文化財調査報告書第8集	縄文時代前期? 古墳時代前期-	杭、分割材。 曲好物(漆塗り)、板、紡錘車(軸付き)。	N=9 アカマツ(6)、ウリミズサクラ(2)、ヒノキ(1)。
山形県030 菅原遺跡 (米沢市中田町)	米沢市教育委員会『菅原遺跡発掘調査報告書』(1981) PP. 1-122 米沢市埋蔵文化財調査報告書第7集	奈良時代-平安時代 (8-9c)	鏡、銅板、覆土物(皿)、曲好物、容器高台部、木筒、不明品。	N=11 ヒノキ(6)、スギ(3)、クリ(1)、サクラ(1)。
山形県031 大浦A遺跡 (米沢市中田町)	米沢市教育委員会『大浦-大浦A遺跡・大浦C遺跡発掘調査報告書-』(1987) PP. 5-10 米沢市埋蔵文化財調査報告書第18集	奈良時代-平安時代 (8-9c)	井戸枠(引り物)。	—————
山形県032 大浦C遺跡 (米沢市中田町)	米沢市教育委員会『大浦-大浦A遺跡・大浦C遺跡発掘調査報告書-』(1987) PP. 1-5 米沢市埋蔵文化財調査報告書第18集	奈良時代-平安時代 (8-9c)	板、角材、木筒。	—————
山形県033 米沢城三の丸遺跡 (米沢市丸ノ内)	米沢市教育委員会『宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書-米沢城三の丸遺跡-生蓮寺遺跡(1987)』PP. 1-21 米沢市埋蔵文化財調査報告書第19集	江戸時代	柱根。	—————
山形県034 石欠遺跡 (藤島町東福蔵)	藤島町教育委員会『石欠遺跡発掘調査報告書』(1981) PP. 1-12 藤島町埋蔵文化財調査報告書第2集	平安時代後期 (11c)	漆器椀、曲好物。	—————
山形県035 瀧尾馬場遺跡 (川北町瀧尾)	川北町教育委員会『瀧尾馬場遺跡発掘調査報告書』(1980) PP. 1-26 川北町埋蔵文化財調査報告書第1集	平安時代前期 (9c)	柱根、加工木。	スギ?
山形県036 勝楽寺遺跡 (藤島町長根)	藤島町教育委員会『勝楽寺遺跡発掘調査報告書』(1980) PP. 1-27 藤島町埋蔵文化財調査報告書第1集	鎌倉時代-室町時代	柱根、礎盤、曲好物。	—————
山形県037 横代遺跡 (酒田市横代)	山形県教育委員会『平田地区遺跡群-大槻新田遺跡・手蔵田3遺跡・横代遺跡・野野田遺跡-発掘調査報告書』(1989) PP. 30-45 山形県埋蔵文化財調査報告書第137集	平安時代前期 (9c)	畜串、串状品、天秤棒、引り物。	—————
山形県038 上曾根遺跡 (酒田市上曾根)	山形県教育委員会『上曾根遺跡第2次発掘調査報告書』(1989) PP. 1-44 山形県埋蔵文化財調査報告書第147集	平安時代前期 (9c)	井戸枠(隅柱・縦板・横板)、杓、曲好物(板・側板)、箸、柱根、礎盤。	—————

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.025 (山形県3)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
山形県039	順正壇遺跡 (天童市塚野目)	山形県教育委員会『順正壇遺跡発掘調査報告書』(1984) PP.1-44 山形県埋蔵文化財調査報告書第81集	古墳時代後期	串状品、形代(矢)、畜串、加工材、杭。	——
山形県040	笠松山経塚 (西置賜郡白鷹町)	笠松山教育委員会『笠松山遺跡現地説明会資料』(1986)	平安時代末 (12c)	経巻軸。	——
山形県041	矢ノ目館跡遺跡 (南陽市郡山)	南陽市教育委員会『郡山、矢ノ目館跡遺跡』(1984) 南陽市埋蔵文化財調査報告書第1集	奈良-平安時代	漆器碗、鉢。	——
山形県042	境田C遺跡 (山形市見崎)	山形県教育委員会『境田C遺跡第2次発掘調査報告書』(1982) 山形県埋蔵文化財調査報告書第62集	平安時代	曲釘物、木質。	——
山形県043	境田D遺跡 (山形市見崎)	山形県教育委員会『境田C・D遺跡発掘調査報告書』(1984) 山形県埋蔵文化財調査報告書第76集	平安時代	曲釘物底板、斧銛柄、棒状品、杭。	——
山形県044	旧致道館跡 (鶴岡市馬場町)	鶴岡市教育委員会『史跡・旧致道館保存修理事業遺構発掘調査概要報告書』(1984)	江戸時代	桶。	——
山形県045	城輪遺跡 (酒田市城輪)	酒田市教育委員会『史跡・城輪遺跡-昭和57年度発掘調査概要-』(1983) 酒田市教育委員会『史跡・城輪遺跡-昭和53年度発掘調査概要-』(1979) 城輪遺跡調査団『城輪遺跡第2次発掘調査概要』(1971)	平安時代前期	一木軸、柱根。 漆器碗。 漆器碗、板(漆器)。	——
山形県046	中京田遺跡 (鶴岡市中京田)	山形県教育委員会『平形遺跡・周辺遺跡-発掘調査報告書-』(1980) 山形県埋蔵文化財調査報告書第26集	平安時代末-室町時代	漆器碗、曲釘物底板、篋、箸、人形、織機部材?、板、井戸枠(隅柱・縦板・横板)。	——
山形県047	平形遺跡 (鷹巣町平形)	山形県教育委員会『平形遺跡・周辺遺跡-発掘調査報告書-』(1980) 山形県埋蔵文化財調査報告書第26集	平安時代末-室町時代	漆器碗、篋状品、箸、形代(刀)、札、棒状品、板、木質、井戸枠(隅柱・縦板・横板)。	——
山形県048	豊原遺跡 (酒田市豊原)	山形県教育委員会『豊原遺跡発掘調査報告書』(1983) 山形県埋蔵文化財調査報告書第66集	奈良時代-平安時代	井筒(曲釘物)、箸、棒状品、円形板(曲釘物)、折敷、臼。	——
山形県049	豊原B遺跡 (酒田市豊原)	山形県教育委員会『豊原B遺跡発掘調査報告書』(1982) 山形県埋蔵文化財調査報告書第55集	平安時代末-室町時代	曲釘物、脚、棒状品、箸、札、硬盤。	——
山形県050	庭田遺跡 (酒田市庭田)	山形県教育委員会『庭田遺跡発掘調査報告書』(1983) 山形県埋蔵文化財調査報告書第65集	平安時代末-室町時代	井戸枠(隅柱・縦板・横板)、曲釘物、蓋、箸、杓、下駄、加工材、柱根。	——
山形県051	安田遺跡 (酒田市安田)	山形県教育委員会『安田遺跡発掘調査報告書』(1982) 山形県埋蔵文化財調査報告書第56集	平安時代末-室町時代	漆器碗、折敷、桶側板、加工材、桶縁、柱根、硬盤。	——
山形県052	新青遺跡 (酒田市新青)	山形県教育委員会『新青遺跡第1次発掘調査報告書』(1983) 山形県埋蔵文化財調査報告書第67集 山形県教育委員会『新青遺跡第2次発掘調査報告書』(1984) 山形県埋蔵文化財調査報告書第79集	平安時代	畜串、形代(圓形物)、箸状品、棒状品、板、木質、柱根。	——
山形県053	上ノ田遺跡 (酒田市境興野)	山形県教育委員会『農林土木事業関係遺跡-発掘調査報告書-』(1982) 山形県埋蔵文化財調査報告書第52集	平安時代	井戸枠(隅柱・縦板・横板)。	——
山形県054	南興野遺跡 (酒田市新青)	山形県教育委員会『南興野遺跡調査説明資料』(1986)	平安時代	井戸枠材、畜串、下駄、折敷。	——
山形県055	後田遺跡 (飽海郡八幡町)	山形県教育委員会『農林関係遺跡(2)発掘調査報告書』(1983) 山形県埋蔵文化財調査報告書第64集	平安時代	井戸枠(隅柱・縦板・横板)、箸、遡南下駄、曲釘物(底板)、畜串、漆器碗。	——
山形県056	後田遺跡 (飽海郡八幡町)	山形県教育委員会『後田遺跡第2次発掘調査報告書』(1984) 山形県埋蔵文化財調査報告書第77集	平安時代	曲釘物、麻、形代(人・馬・刀)、畜串、火鑽臼。	——
山形県057	沼田遺跡 (飽海郡八幡町)	山形県教育委員会『沼田遺跡発掘調査報告書』(1984) 山形県埋蔵文化財調査報告書第78集	平安時代	井戸枠(隅柱・縦板・横板)、横箸、箸、曲釘物、撻き物(皿)、麻、加工材、遡南下駄。	——
山形県058	下榑山遺跡 (飽海郡松山町)	山形県教育委員会『下榑山遺跡発掘調査報告書』(1986) 山形県埋蔵文化財調査報告書第97集	室町時代後期-江戸時代	柱根、杓(曲釘物)、下駄、篋、曲釘物、井戸枠(隅柱)	——
山形県059	佐渡遺跡 (飽海郡遊佐町)	山形県教育委員会『農林事業関係遺跡発掘調査報告書』(1982) 山形県埋蔵文化財調査報告書第51集	平安時代	遡南下駄、棒状品。	——
山形県060	戸塚山137号墳 (米沢市茂川)	米沢市教育委員会『戸塚山137号墳発掘調査報告書』(1983) 米沢市埋蔵文化財調査報告書第9集	古墳時代中期	笠簪。	——
山形県061	お花山古墳群 (山形市青野)	山形県教育委員会『お花山古墳発掘調査報告書』(1985) 山形県埋蔵文化財調査報告書第85集	古墳時代後期	笠簪。	——
山形県062	漆山古墳 (山形市漆山道西)	後藤守「漆山古墳発掘調査報告書」『考古学雑誌』第14巻第13号(1924)	古墳時代	笠簪、弓、曲釘物片。	——

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.026 (山形県4)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
山形県 063	手蔵田5遺跡 (酒田市手蔵田)	山形県教育委員会『中平田東地区遺跡群-手蔵田5・6・9遺跡・本川遺跡発掘調査報告書-』(1989) PP.1-44 山形県埋蔵文化財調査報告書第138集	平安時代	矢板、杭、板。	—————
山形県 064	本川遺跡 (酒田市本川)	山形県教育委員会『中平田東地区遺跡群-手蔵田5・6・9遺跡・本川遺跡発掘調査報告書-』(1989) PP.1-44 山形県埋蔵文化財調査報告書第138集	平安時代	柱根、矢板。	—————
山形県 065	小深田遺跡 (飽海郡遊佐町)	山形県教育委員会『小深田遺跡発掘調査報告書』(1989) PP.1-51 山形県埋蔵文化財調査報告書第140集	平安時代前期	板・杭(遺状)。	—————
山形県 066	浮橋遺跡 (飽海郡遊佐町)	山形県教育委員会『月光川左岸地区皇宮跡整備事業-浮橋遺跡-下長橋遺跡発掘調査報告書-』(1989) PP.1-46	平安時代 (9-10c)	井戸枠(隅柱・壁板・棧)(横板せいち組)、井筒(引り物)、畜串、棒状品、板、楸、不明品。	—————
山形県 067	熊野田遺跡 (酒田市熊野田)	山形県教育委員会『平田地区遺跡群-大槻新田遺跡・手蔵田3遺跡・横代遺跡・熊野田遺跡-発掘調査報告書』(1989) PP.46-63 山形県埋蔵文化財調査報告書第137集 山形県教育委員会『熊野田遺跡第3次発掘調査報告書』(1989) PP.1-89 山形県埋蔵文化財調査報告書第146集	平安時代前期 (9c)	曲好物、柱根、礎盤、引り物。 木筒、畜串、円形板・側板(曲好物)、挽き物(■)、柱根。	—————
山形県 068	亀ヶ崎城跡 (酒田市亀ヶ崎)	山形県教育委員会『亀ヶ崎城跡発掘調査報告書』(1991) PP.1-14 山形県埋蔵文化財調査報告書第169集	江戸時代 (18-19c)	漆器碗、連鹿下駄。	—————
山形県 069	大坪遺跡 (飽海郡遊佐町)	山形県教育委員会『大坪遺跡発掘調査報告書』(1991) PP.1-26 山形県埋蔵文化財調査報告書第166集	平安時代 (10c)	礎盤。	—————
山形県 070	藤島城跡 (東田川郡藤島町)	山形県教育委員会『藤島城跡第2次発掘調査報告書』(1990) PP.1-67 山形県埋蔵文化財調査報告書第159集 山形県教育委員会『藤島城跡第4次発掘調査報告書』(1992) PP.1-36 山形県埋蔵文化財調査報告書第181集	室町時代-戦国時代 (14-16c)	井戸枠、井筒(桶)、漆器碗、箸状品、連鹿下駄、板草履、横籠、籠、折敷、曲好物。 畜串、漆器碗、形代(舟)、折敷、塔裏。	—————
山形県 071	山海岸跡 (飽海郡平田町)	山形県教育委員会『山谷新田遺跡・山海岸跡発掘調査報告書-国宮農地開発事業島海南麓地区(1)-』(1991) PP.1-125 山形県埋蔵文化財調査報告書第170集	平安時代 (10c)	炭化材(製鉄遺跡内)。	N=10 コナラ節(3)、スギ・カエデ属・ツキミ類・クリ(1) 広葉樹散孔材(3)。
山形県 072	大道下遺跡 (鶴岡市大泉)	山形県教育委員会『大道下・月記・大東遺跡発掘調査報告書』(1990) PP.1-60 山形県埋蔵文化財調査報告書第153集	平安時代	柱根、横籠、曲好物?。	—————
山形県 073	月記遺跡 (鶴岡市寺田)	山形県教育委員会『大道下・月記・大東遺跡発掘調査報告書』(1990) PP.1-60 山形県埋蔵文化財調査報告書第153集	平安時代	井筒(曲好物)、不明品。	—————
山形県 074	大東遺跡 (鶴岡市寺田)	山形県教育委員会『大道下・月記・大東遺跡発掘調査報告書』(1990) PP.1-60 山形県埋蔵文化財調査報告書第153集	鎌倉-室町時代	井戸枠(隅柱・壁板・棧)。	—————

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.027 (福島県1)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
福島県001 御山千軒遺跡 (福島市御山千軒)	福島県教育委員会『東北新幹線関連遺跡発掘調査報告VI-御山千軒遺跡-』(1983)PP.1-320 福島県文化財調査報告書第109集	平安時代 (9-10c)	挽き物(皿・盤・椀)、漆器(椀・皿・盤)、削り物(斧・柄)、曲り物(蓋板・底板・側板)、斧柄、櫛柄、横柄、編み、織機部材、紡績車(輪・軸)、丸木弓、手摺棒、運船下駄、横櫓、笠、丸、形代(馬・刀)、篋、板材、角材、分割材、加工材、杭、不明品。	N=285 ケヤキ(56)、モミ(42)、ヒノキ(33)、スギ(32)、アスナロ(20)、クリ(18)、トネリコ類(11)、マツ類・カヤ・サクラ類(6)、カエデ類(5)、トナリキ・ヤマグリ(4)、コナラ・ウコギ類(3)、ニレ類・ウツギ・ガマズミ(2)、以下略。
	☆容器用材 挽き物(含漆器) ヒノキ モミ アスナロ スギ マツ類 ホオノキ クリ ハノキ類 ケヤキ 1 24 削り物(櫛柄) 1 2 1 3 曲り物(底蓋側) 27 21 16 20 4		自然木。 ☆板材・角材用材 マツ類・ヒノキ・モミ・スギ=(23) ケヤキ・クリ=(34)他広葉樹=(19)	N=121 クリ(17)、マツ類(12)、トネリコ類(10)、サクラ類(8)、ケヤキ(7)、カヤ(6)、コクサギ(5)、ニレ類・カエデ類(4)、コナラ・ウコギ類・ヤマグリ(3)、モミ・シテ類・ヌルデ・竹笹類(2)以下略。
福島県002 佐平塚遺跡 (西白河郡東村)	福島県文化センター『母畑地区遺跡発掘調査報告III-佐平塚・板倉前B遺跡群・次内古墳群・達中久保遺跡』(1979) PP.13-52 福島県文化財調査報告書第74集	平安時代 (9c)	井戸枠(横板)、挽き物(皿・台付き皿)、漆器(高杯)、曲り物(底板・蓋・製板・せいろ底蓋)、篋、不明品、加工木。	—
福島県003 四郎作遺跡 (いわき市鹿島町)	いわき市教育委員会『四郎作遺跡-常磐-江名港線地方道改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』(1983) PP.1-192 いわき市埋蔵文化財調査報告書第10号	戦国時代 (16c)	柱根。	ナラ、クリ、スギ。
福島県004 龍門寺遺跡 (いわき市平下荒川)	いわき市教育委員会『龍門寺遺跡-重要幹線道路事業に伴う調査-』(1985)PP.1-492 いわき市埋蔵文化財調査報告書第11号	江戸時代	縁、漆器椀、運船下駄、井戸枠(隅角柱・縦板・横)、井筒(桶状)、曲り物。	—
福島県005 博毛遺跡 (郡山郡高橋村)	高橋村教育委員会『博毛遺跡-縄文時代中期-後期の土器、奈良平安時代の集落跡-』(1985) PP.1-162	平安時代 (9c)	田下駄。	—
福島県006 小田口遺跡 (石川郡石川町)	福島県文化センター『母畑地区遺跡発掘調査報告17-小田口B遺跡-小田口C遺跡-』(1985) PP.1-102 福島県文化財調査報告書第146集	平安時代(9c)	柱根。	—
		江戸時代	円形板(底板)。	—
福島県007 姪籠遺跡 (須賀川市小作田)	福島県文化センター『母畑地区遺跡発掘調査報告23-姪籠遺跡-』(1987)PP.1-188 福島県文化財調査報告書第176集	戦国時代 (16c)	漆器椀、円形板(容器底板・有多孔底板)、加工材、炭化材、板、柱材。	N=17 アスナロ(6)、フナ(4)、クリ(5)、アスナロ?コナラ(2)。
		☆漆器椀=フナ(4)。 柱根=アスナロ(6)、クリ(5)。		
福島県008 中ノ内遺跡 (福島市下野寺)	福島市教育委員会『昭和62年度一般国道13号福島西道路開通関連遺跡発掘調査報告-中ノ内遺跡』(1988) PP.1-188 福島市文化財調査報告書第27集	古墳時代中期末-後期 (5c末-6c)	形代(刀)、角材、板材、杭。	N=14 クリ・コナラ(2)、クスギ・ヒノキ・トウヒ・ハクウソボク・ホオノキ(1)。広葉樹散(5)。
		平安時代 (10-11c)	漆器椀、挽き物(皿)、曲り物、箱物、折敷、板草履、角材、板材、杭。	N=106 ヒノキ(26)、クリ(20)、マツ類(11)、スギ(8)、モミ(7)、ケヤキ・ハリギリ(5)、クスギ(4)、コナラ・ハンノキ(3)、ウガ・カン類・トウヒ(2)、カバノキ・イヌノキ・ヤナギ・オニグルミ・ミズナラ・タモ類(1)。広葉樹散(2)。
☆形代=ヒノキ ☆漆器椀=ケヤキ(5)。 挽き物=ハリギリ(2)。 ☆曲り物・箱物・折敷=ヒノキ(9)、スギ・モミ・マツ類(3)。				
福島県009 門無遺跡 (岩瀬郡長沼町)	長沼町教育委員会『長沼町遺跡群発掘調査報告一福之内B遺跡・門無遺跡-』(1979) PP.1-42	奈良時代-平安時代	漆器椀、農具柄、板。	—
福島県010 大久内遺跡 (岩瀬郡長沼町)	長沼町教育委員会『長沼町遺跡群発掘調査報告 北延命寺遺跡地下地区・御宅A遺跡・大久内遺跡-』(1980) PP.1-62	奈良時代?	曲り物底板、板(作業台)。	—
福島県011 二塚遺跡 (岩瀬郡長沼町)	長沼町教育委員会『二塚遺跡』(1982) PP.1-126 長沼町文化財調査報告書第6集	奈良時代以降	板材(板・杭)。	—
福島県012 善福遺跡 (岩瀬郡長沼町)	長沼町教育委員会『善福遺跡』(1983) PP.1-66 長沼町文化財調査報告書第7集	奈良時代以降	漆器椀、構造部材、板。	—
福島県013 四木松城跡 (安達郡岩代町)	岩代町教育委員会『四木松城跡』(1976) PP.1-37	室町時代-戦国時代 15-16c	構造部材(建築材炭化品)。	—
福島県014 三貫地城跡 (相馬郡新地町)	新地町教育委員会『三貫地-田丁場A地点調査報告-田丁場B地点調査報告-』(1978) PP.1-119 新地町埋蔵文化財調査報告書	鎌倉時代?	漆器椀、包丁柄、丸木材。	—
福島県015 尾野本条里 (郡山郡西会津町)	西会津町教育委員会『尾野本条里遺跡発掘調査報告』(1981) PP.1-53	平安時代 (9-10c)	構造部材?(分割材・丸木材)。	N=8 ハノキ(3)、ミズナラ(2)、コナラ・ヤチダモ・イタヤカエデ(1)。
福島県016 塚畑遺跡 (須賀川市中宿)	須賀川市教育委員会『駅前地区遺跡発掘調査報告(II)-塚畑遺跡-』(1986) PP.1-17 須賀川市埋蔵文化財調査報告書 須賀川市教育委員会『駅前地区遺跡発掘調査報告(III)-塚畑遺跡-』(1987) PP.1-80 須賀川市埋蔵文化財調査報告書	奈良時代?	井筒(曲り物)、杭。	—
			井戸枠(板)、曲り物、杭。	—
福島県017 東作田C遺跡 (相馬郡)	福島県文化センター『母畑地区遺跡発掘調査報告15-駒形A遺跡・梅木平遺跡・東作田A遺跡・東作田C遺跡』(1984) PP.121-208 福島県文化財調査報告書第131集	平安時代 (10-11c)	炭化材(住居址内)。	N=63 クスギ(61)、カエデ(2)。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.028 (福島県2)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
福島県018 (伊達郡梁川町)	福島県教育委員会『梁川城跡-二ノ丸土塁発掘調査報告-』(1981) PP. 1-40 福島県文化財調査報告書第94集	戦国時代? (16c)	加工材(井桁状榫み遺構)。	—————
福島県019 伊達郡霊山町)	霊山町教育委員会『行人田遺跡-宗教遺跡の調査-』(1983) PP. 1-36	室町時代末 (16c)	円形板(底板)。	—————
福島県020 伊達郡霊山町)	霊山根古屋遺跡調査団『霊山根古屋遺跡の研究-福島県霊山町根古屋における再葬墓群-』(1986) PP. 1-279	弥生時代前期	炭化材(土壘内)。	N=3 クリ(2)、コナラ(1)。
福島県021 郡山市田村町)	福島県文化財センター『母畑地区遺跡発掘調査報告書19-荒小島遺跡・地蔵田遺跡-』(1985) PP. 1-243 福島県文化財調査報告書第148集	縄文時代後期	炭化材(住居址内)。	N=4 クリ(3)、ケヤキ(1)。
福島県022 郡山市田村町)	福島県文化財センター『母畑地区遺跡発掘調査報告書27-田向E遺跡・田向F遺跡・荒田A遺跡・荒田塚群・池ノ作板碑-』(1989) PP. 1-392 福島県文化財調査報告書第204集	平安時代前期 (9c)	炭化材(住居址内)。	N=10 クヌギ(4)、スギ(3)、クリ(2)、タケ類(1)。
福島県023 郡山市田村町)	福島県文化財センター『母畑地区遺跡発掘調査報告書27-田向E遺跡・田向F遺跡・荒田A遺跡・荒田塚群・池ノ作板碑-』(1989) PP. 1-392 福島県文化財調査報告書第204集	奈良時代末-平安時代 (8末-9c)	炭化材(住居址内)。	N=48 クリ(26)、コナラ(17)、クヌギ(4)、タケ類(1)。
福島県024 いわき市薄磯)	いわき市教育文化事業団『薄磯貝塚-縄文時代晩期貝塚の調査-』(1988) PP. 1-607 いわき市埋蔵文化財調査報告書第19期	縄文時代晩期	炭化材(包含層内)。	N=18 モミ(7)、ケヤキ(3)、サクラ類・クリ・カエデ類? (2)、クリ?(1)、広葉樹散(1)。
福島県025 相馬郡飯坂村)	福島県文化財センター『真野ダム関連遺跡発掘調査報告Ⅳ-松ヶ平A遺跡(第1次)・付子館調査-』(1983) PP. 1-151 福島県文化財調査報告書第118集	縄文時代早期末-前期初頭 平安時代(9c)	炭化材(住居址内)。 炭化材(住居址内)。	N=29 ケヤキ(13)、コナラ(9)、クリ(4)、クルミ(2)、ノリウツギ?(1)。 N=480 アスナロ(480)。
福島県026 相馬郡飯坂村)	福島県文化財センター『真野ダム関連遺跡発掘調査報告Ⅳ-岩下A遺跡・岩下B遺跡・岩下C遺跡・付子館予備調査-』(1985) PP. 1-171 福島県文化財調査報告書第150集	縄文時代早期末-弥生時代初頭	炭化材(包含層内)。	N=39 クリ(9)、コナラ・カエデ類(6)、アサダ(4)、クヌギ(3)、マツ・カツラ?(2)、ヤチガモ(1)、樹皮・不明(9)。
福島県027 相馬郡飯坂村)	福島県文化財センター『真野ダム関連遺跡発掘調査報告Ⅳ-岩下A遺跡・岩下B遺跡・岩下C遺跡・付子館予備調査-』(1985) PP. 173-221 福島県文化財調査報告書第150集	縄文時代晩期	炭化材(住居址内)。	N=83 クリ・クヌギ(20)、コナラ(18)、タケ類(16)、カバノキ?(3)、マツ・シテ類(1)。
福島県028 相馬郡飯坂村)	福島県文化財センター『真野ダム関連遺跡発掘調査報告Ⅳ-岩下A遺跡・岩下B遺跡・岩下C遺跡・付子館予備調査-』(1985) PP. 223-282 福島県文化財調査報告書第150集	縄文時代晩期	炭化材(焼土面)。	N=14 クヌギ(6)、コナラ(4)、樹皮・不明(4)。
福島県029 相馬郡新地町)	福島県文化財センター『国道113バイパス遺跡調査報告Ⅰ-原田遺跡・付子館調査-』(1985) PP. 1-116 福島県文化財調査報告書第152集	縄文時代?平安時代?	炭化材(土壘内)。	N=60 クリ(58)、クリ?(2)。
福島県030 相馬市長老内)	福島県文化センター『国道113バイパス遺跡調査報告Ⅴ-高田遺跡・中丸東遺跡・大森塚・大森C遺跡・大森A遺跡・善光寺遺跡(第二次)-』(1989) PP. 183-232 福島県文化センター『大森A遺跡』『相馬関原遺跡調査報告Ⅱ-0 本文-』(1990) PP. 327-398 福島県文化財調査報告書第234集	古墳時代後期 (6-7c) 古墳時代後期	炭化材(住居市内)。 代掻、大足、組合せ織物、漆器(鉢)、丸木弓、棒状品(両端加工)、円形板(曲物底部)、羽り物(櫛)、板、加工材、杖。	N=21 クヌギ(9)、スギ(9)、コナラ属(2)、スギ?(1)。 N=156 モミ(56)、クリ(27)、クヌギ(41)、ヤマウルシ(7)、サクラ類(5)、シテ類(4)、二葉松類・ハンノキ類・カエデ類・カヤ・フサザクラ(2)、ケヤキ・ムラサキキナブ・カバノキ類・コナラ類・ヒノキ・タカノツメ(1)。 自然木、 N=76 モミ(41)、カエデ類(8)、カヤ(7)、クリ・クヌギ(5)、コナラ(4)、サクラ類・ハンノキ類・二葉松類(3)、カツラ・コクサギ(1)。 N=7 二葉松類・イヌガヤ・モミ・ヒノキ・カエデ・クリ・クヌギ(1)。 自然木、 N=16 二葉松類(13)、コナラ(2)、モミ(1)。
	☆大足部品: N=20 モミ(15)、カヤ(3)、未同定(2)。	☆曲物類: N=2 ヒノキ(2)。 ☆漆器=モミ(1)。	☆代掻(台・衝)N=12 クリ(12)。	
	☆組合せ織物=ヤマザクラ(1)。	縄文時代晩期	杖、板。	
福島県031 相馬市長老内)	福島県文化財センター『国道113バイパス遺跡調査報告Ⅴ-高田遺跡・中丸東遺跡・大森塚・大森C遺跡・大森A遺跡・善光寺遺跡(第二次)-』(1989) PP. 139-182	平安時代	炭化材(数鉄炉内・旋埴場・他)。	N=9 クヌギ(6)、モクレン属?(2)、コナラ(1)。
福島県032 西白河郡大宮村)	福島県文化財センター『矢吹地区遺跡発掘調査報告1-二本松遺跡・北大久保B・C遺跡-』(1987) PP. 1-90 福島県文化財調査報告書第178集	古墳時代後期 (6c)	炭化材(住居址内)。	N=9 クリ(4)、ヌルデ?(2)、カエデ(1)、広葉樹類(2)。
福島県033 いわき市内郷町)	いわき市教育文化事業団『久世原遺跡-番付地遺跡の概要1-福島県いわき市内郷町久世原-番付地所在-』(1986) PP. 1-16 いわき市教育文化事業団『久世原遺跡-番付地遺跡の概要1-福島県いわき市内郷町久世原-番付地所在-』(1986) PP. 1-16	縄文時代後期 弥生時代中期末 鎌倉-室町時代 (13-16c)	石斧柄、櫛造材。 矢板。 漆器柄、曲物、下駄、井戸枠(隅角柱・横板・棧)、箸状品、呪符。	—————

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.029 (福島県3)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
福島県 034 戸田糸里遺跡 (いわき市四倉町)	いわき市教育文化事業団『戸田糸里遺跡-水田跡の調査-』 (1991)PP. 1-192 いわき市埋蔵文化財調査報告第29号	江戸時代 (18-19c)	箸、漆器碗、挽き物(蓋)、円形板(蓋・底板)、樽蓋、薪物、栓、組板、桶側板、横筋、すりこぎ、下駄(運搬・陰卵)、鎌造部材、柱根、形代(刀)。	N=8 クリ(20)、マツ類(10)、スギ(8)、フナ属(7)、ヒノキ属(3)、キリ・モミ属・広葉樹(1)。
	☆下駄=クリ(運搬)。キリ(陰卵)。		☆漆器碗 N=7 フナ属(7)。内外面赤=(6)。内赤外黒=(1)。	☆円形板 N=6。マツ(3)、スギ(2)、ヒノキ属(1)。
	☆箸 N=6。スギ(6)。		☆柱根 N=23。クリ(18)、マツ(5)。	
福島県 035 南浜訪原遺跡 (福島市松川町)	福島市教育委員会『南浜訪原遺跡』(1991) PP. 1-30 ふるさとを歴史をさぐる2	平安時代 (9-10c)	漆器碗、曲げ物、板、杖、篋、挽き物、井戸枠(横板)。	—————
福島県 036 矢大臣遺跡 (田村郡小野町)	小野町教育委員会『矢大臣(新田)遺跡-福島県矢大臣山西麓における縄文時代中期-後期集落跡の研究-』(1992) PP. 1-213	縄文時代中期 縄文時代後期	炭化材(住居址内)。 炭化材(住居址内)。	N=3 クリ(2)、ススキ属(1)。 N=3 クリ(3)。
福島県 037 向田A遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「向田A遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告I-①本文1-』(1989)PP. 71-164 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巴三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告I-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	古墳時代末-平安時代 (7-9c)	炭化材(木炭案内)。 炭化材(製鉄炉内)。 炭化材(住居址内)。 炭化材(不明遺構)。	N=104 クヌギ(58)、コナラ(46)。 N=84 コナラ(65)、クヌギ(16)、クリ(2)、シデ類(1)。 N=18 クヌギ(11)、コナラ(7)。 N=8 クリ(6)、コナラ(2)。
福島県 038 向田D遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「向田D遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告I-①本文1-』(1989)PP. 165-212 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巴三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告I-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	古墳時代末-平安時代 (7-9c)	炭化材(木炭案内)。 炭化材(製鉄炉内)。 炭化材(住居址内)。	N=881 コナラ(330)、クヌギ(186)、クリ(161)、シデ類(156)、サクラ類(34)、カエデ(8)、フナ・ケヤキ(3)。 N=84 コナラ(25)、クヌギ(14)、シデ類(4)、クリ・カエデ(2)、サクラ類(1)。 N=18 コナラ(18)、クヌギ(5)、クヌギ? (2)。
福島県 039 向田E遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「向田E遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告I-①本文1-』(1989)PP. 213-296 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巴三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告I-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	古墳時代末-平安時代 (7-9c)	炭化材(木炭案内)。 炭化材(製鉄炉内)。	N=112 コナラ(62)、クヌギ(19)、クリ(10)、カエデ・スギ(8)、シデ類(5)、トネリコ・モミ(3)、サクラ類(2)、フナ・ケヤキ(1)。 N=32 コナラ(22)、クヌギ(9)、クリ(1)。
福島県 040 向田F遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「向田F遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告I-①本文1-』(1989)PP. 297-312 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巴三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告I-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	平安時代 (9c)	炭化材(木炭案内)。 炭化材(製鉄炉内)。	N=65 コナラ(65)。 N=29 ケヤキ(11)、コナラ(8)、クヌギ・シデ類・サクラ類(3)、クリ(1)。
福島県 041 向田G遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「向田G遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告I-①本文1-』(1989)PP. 313-358 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巴三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告I-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	平安時代 (9c)	炭化材(木炭案内)。 炭化材(製鉄炉内)。 炭化材(土壌内)。	N=65 クリ(177)、コナラ(114)、シデ類(96)、クヌギ(4)。 N=29 コナラ(23)、クヌギ・シデ類(6)、クリ(4)、カエデ(2)。 N=2 コナラ(2)。
福島県 042 洞山C遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「洞山C・D・E遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告I-①本文1-』(1989)PP. 367-412 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巴三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告I-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	平安時代 (9c)	炭化材(土壌内)。	N=18 コナラ(18)。
福島県 043 洞山D遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「洞山C・D・E遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告I-①本文1-』(1989)PP. 367-412 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巴三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告I-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	平安時代 (9c?)	炭化材(土壌内)。	N=4 シデ類(3)、クリ(1)。
福島県 044 洞山F遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「洞山F遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告I-①本文1-』(1989)PP. 413-449 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巴三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告I-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	古墳時代末期-平安時代 (7-9c)	炭化材(木炭案内)。	N=635 クヌギ(462)、コナラ(173)。 ☆7世紀=クヌギ(105)。 9世紀=クヌギ(357)、コナラ(173)。
福島県 045 洞山G遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「洞山G遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告I-①本文1-』(1989)PP. 451-490 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巴三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告I-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	古墳時代末期 (7c) 平安時代 10c	炭化材(木炭案内)。 炭化材(住居址内)。 炭化材(土壌内)。 炭化材(木炭案内)。	N=212 クヌギ(111)、コナラ(89)、クリ(12)。 N=4 クヌギ(2)、コナラ・シデ類(1)。 N=13 クヌギ(8)、コナラ(5)。 N=48 クヌギ(48)。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.030 (福島県4)

遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
福島県 046 洞山遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「洞山遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告1-①本文1-』(1989)PP. 491-502 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巳三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告1-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	古墳時代末期 (7c)	炭化材(木炭窯内)。	N=48 クスギ(33)、コナラ(15)。
福島県 047 武井A遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「武井A遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告1-①本文1-』(1989)PP. 503-516 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巳三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告1-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	古墳時代末-平安時代 (7-9c)	炭化材(土壌内)。	N=60 クリ(60)。
福島県 048 武井B遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「武井B遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告1-①本文1-』(1989)PP. 517-548 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巳三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告1-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	平安時代 (9c)	炭化材(木炭窯内)。 炭化材(製鉄炉内)。 炭化材(土壌内)。	N=112 コナラ(144)、クスギ(70)、クリ(62)、シデ類(39)、カエデ(16)。 N=7 カエデ(4)、コナラ(2)、クスギ(1)。 N=26 クリ(23)、コナラ(3)。
福島県 049 武井D遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「武井D遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告1-①本文1-』(1989)PP. 561-592 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巳三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告1-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	平安時代 (10c-)	炭化材(木炭窯内)。	N=80 クスギ(40)、コナラ(23)、クリ(17)。
福島県 050 武井E遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「武井E遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告1-①本文1-』(1989)PP. 593-617 福島県文化財調査報告書第215集 島倉巳三郎「木炭樹種同定」『相馬開発関連遺跡調査報告1-②本文2-』(1989) PP. 299-356 福島県文化財調査報告書第215集	奈良時代 (8c後半)	炭化材(建物跡柱穴内)。	N=11 クリ(10)、コナラ(1)。
福島県 051 双子遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「双子遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告II-①本文1-』(1990)PP. 255-294 福島県文化財調査報告書第234集 ☆製塩用 薪 N=7 アサダ(5)、サクラ類・二葉松類(1) ☆下駄 N=2 スギ(2) ☆梓材 N=40 スギ(27)、二葉松類(13) ☆棺材 N=5 スギ(5)。	縄文時代後期 江戸時代-明治時代	丸木舟。 漆器碗、横櫓、棺材、下駄(連櫓)、製塩用品(籠、桶、麻、飯杓、万原、釜屋神材、灰かき)。	マツ属履織管束(アカマツorクロマツ)。 N=83 スギ(41)、二葉松類(24)、アサダ(5)、モミ(3)、クリ・サクラ類・コナラ類・ナナ(2)、ケヤキ・エゴノキ科(1)。
福島県 052 岩崎遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「岩崎遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告II-①本文1-』(1990)PP. 83-138 福島県文化財調査報告書第234集	江戸時代-明治時代(19c)	製塩用品(籠・釜屋神材・硬盤・灰かき・えぶり) 杖、炭化材。 ☆硬盤 N=6 二葉松類・スギ(3)。	N=15 二葉松類(8)、スギ(5)、ヒノキ(1)、ナナ(1)。 ☆ならしえぶり ヒノキ(1)。 ☆灰かき ナナ(1)。
福島県 053 南川尻A遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「南川尻A遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告II-①本文1-』(1990)PP. 139-172 福島県文化財調査報告書第234集	江戸時代-明治時代(19c)	製塩用品(籠・椀・栓・灰かき・えぶり・桶底板)、ささら。	N=8 アサダ(3)、スギ(2)、モミ(2)、竹笹類(1)。 ☆椀・籠=アサダ(3)。 灰かき=スギ(1)。 ささら=竹笹類
福島県 054 南川尻B遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「南川尻B遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告II-①本文1-』(1990)PP. 173-194 福島県文化財調査報告書第234集	江戸時代後期(19c)	製塩用品(籠)、連櫓下駄、杖。 ☆椀=アサダ(1)。 下駄=スギ(2)。	N=223 二葉松類(87)、クリ(39)、コナラ類(16)、サクラ類(15)、スギ・エゴノキ(11)、ハコヤナギ類・クリカエデ(5)、シデ類・モミ・ケヤキ(4)、ツバキ・アズキナシ・トネリコ(3)、ホノキ・モミ・グミ類(2)、アサダ・ケヤキ・カエデ類・ハンノキ類・ヤマウルシ・キハダ・ムラサキシキブ(1)。
福島県 055 御山遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「御山遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告II-①本文1-』(1990)PP. 195-254 福島県文化財調査報告書第234集 ☆椀=アサダ(13)。 サクラ類(1)。 ☆飯杓=クリ(3)。 コナラ類(2)。 ハンノキ類(1) ☆灰かき=クリ(3)。	縄文時代前期 江戸時代-明治時代(19c)	自然木。 炭化材。 製塩用品(籠・椀・桶杓・万原・天秤棒・飯杓・えぶり・灰かき・桶)、連櫓下駄。 鹹水槽杓。 ☆下駄=スギ(2)。	N=48 二葉松類(40)、コナラ類(6)、クリ・ケヤキ(1) N=14 クリ(6)、広葉樹類(7)、広葉樹散(1)。 N=44 アサダ(16)、スギ(9)、クリ(6)、二葉松・コナラ類(3)、ケヤキ・モミ(2)、ナナ・ハンノキ類・サクラ類(1)。
福島県 056 今神遺跡 (相馬郡新地町)	福島県文化センター「今神遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告II-①本文1-』(1990)PP. 295-325 福島県文化財調査報告書第234集	江戸時代-明治時代(19c)	漆器碗、連櫓下駄、籠。	N=12 ナナ(8)、スギ(3)、モミ(1)。 ☆漆器碗=ナナ(8)。 下駄=スギ・モミ(1)。
福島県 057 古川尻B遺跡 (相馬市塚部)	福島県文化センター「古川尻B遺跡」『相馬開発関連遺跡調査報告II-①本文1-』(1990)PP. 295-325 福島県文化財調査報告書第234集	江戸時代-明治時代(19c)	製塩用品(籠・灰かき?)、柱根。 炭化材。	N=9 二葉松類(7)、アサダ・クリ(1)。 ☆椀=アサダ(1)。 炭化材=二葉松類(6)。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.031 (福島県5)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
福島県 058	郡山貝塚 (双葉郡双葉町)	双葉町教育委員会『双葉・郡山貝塚の研究-東北地方南部における縄文時代前期貝塚の調査-』(1990) PP. 1-90 双葉町埋蔵文化財調査報告第7冊	縄文時代前期	炭化材(包含層内)。	N=7 二葉松類(5)、不明(2)。
福島県 059	露塚遺跡 (沼馬市新沼)	福島県文化センター「露塚遺跡」『沼馬開発関連遺跡調査報告書Ⅱ-① 本文-』(1990) PP. 439-509 福島県文化財調査報告書第234集 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">☆下駄=モミ・スギ(1)。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">☆灰かき=マツ(1)。</div>	江戸時代-明治時代(19c)	製塩用具(万籾・楯・桶・灰かき・榊材)、杖、連南下駄、鹿状。 炭化材	N=40 二葉松類(31)、スギ(5)、モミ(2)、サクラ類・ツツジ(1)。 N=186 二葉松類(167)、アカガシ重属(10)、スギ(9)。
福島県 060	五台山B遺跡 (沼馬市新沼)	福島県文化センター「五台山B遺跡」『原町火力発電所関連遺跡調査報告書1』(1990) PP. 41-84 福島県文化財調査報告書第236集	江戸時代-明治時代(19c)	炭化材(製鉄遺構内)	N=97 フナ(36)、クリ(17)、ヌルデ?(9)、ケヤキ(8)、ハンノキ(6)、サクラ類(5)、カヤ・カエデ類(4)、クマシデ属・コナラ・カマツカ?(2)、広葉樹散(2)。
福島県 061	鳥打沢A遺跡 (沼馬市新沼)	福島県文化センター「鳥打沢A遺跡」『原町火力発電所関連遺跡調査報告書1』(1990) PP. 301-415 福島県文化財調査報告書第236集	平安時代前期(9c)	炭化材(製鉄遺構内)	N=299 コナラ(197)、ケヤキ・サクラ類(25)、クヌギ(23)、カエデ類(15)、クリ(4)、ハンノキ(3)、クマシデ属・カマツカ?(2)、トネリコ属(1)、広葉樹散(2)。
福島県 062	宮東遺跡 (会津坂下町会津川)	会津坂下町教育委員会『福島県宮東会津南部丘陵整備事業阿賀川川地区遺跡発掘調査報告書-男権遺跡・宮東遺跡・中西遺跡・村脚遺跡-』(1990) PP. 11-72 会津坂下町文化財調査報告書第16集	鎌倉時代 平安時代	井戸枠(横板・縦板) 井戸枠(縦板)。	N=1 アシウツギ(1)。 N=1 アシウツギ(1)。
福島県 063	根岸遺跡 (いわき市平下大越)	いわき教育文化事業団『根岸遺跡-平成2年度・3年度発掘調査報告書-』(1992) PP. 1-25	鎌倉時代?	井戸枠。	—
福島県 064	長井屋遺跡 (双葉郡浪江町)	浪江町教育委員会『大塚・長井屋遺跡』(1989) PP. 1-59 浪江町埋蔵文化財調査報告 第5冊	江戸時代	炭化材(炭焼き窯内)。	N=6 コナラ(4)、二葉松類(2)。
福島県 065	清水台遺跡 (郡山市清水台)	郡山市教育委員会『清水台遺跡-第11次D地点発掘調査報告-』(1988) PP. 1-8	江戸時代後期	暗渠材(樋板・継ぎ手・導水管)。	—
福島県 066	鳴神遺跡 (郡山市富久山町)	郡山市教育委員会『鳴神遺跡第6次調査』『埋蔵文化財発掘調査報告-昭和55年度-』(1981) PP. 29-110	平安時代?	曲好物底版、榊状品。	N=3 スギ(3)。
福島県 067	上綱下遺跡 (福島市飯坂町)	福島県教育委員会『東北自動車道遺跡調査報告-本文編・図版編-』(1975) PP. 465-477	平安時代?	曲好物、漆器類。	—
福島県 068	民権地A遺跡 (郡山市田村町)	郡山市教育委員会『郡山東部V-宮田A遺跡・宮田B遺跡・宮田C遺跡・宮田D遺跡・民権地遺跡-』(1985) PP. 153-205	室町時代前期(14c)	井戸枠(縦板・横板)、円形板(漆器)、板草履、漆器類、陶器、連南下駄、箸状品、板。	—
福島県 069	黒田遺跡 (郡山市西田町)	郡山市教育委員会『郡山東部Ⅲ-穴沢地区遺跡・穴沢遺跡・黒田遺跡・馬場小路遺跡・馬場中路遺跡-』(1983) PP. 38-108	平安時代末(12c)	井戸枠(隅柱・縦板・横板)、連南下駄、鹿、漆器類。	—
福島県 070	馬場小路遺跡 (郡山市西田町)	郡山市教育委員会『郡山東部Ⅲ 穴沢地区遺跡・穴沢遺跡・黒田遺跡・馬場小路遺跡・馬場中路遺跡-』(1983) PP. 109-157	平安時代 江戸時代?	曲好物。 円形板(曲好物)、漆器類。	—
福島県 071	台東遺跡 (郡山市三穂田町)	郡山市教育委員会『県宮庭園整備事業関連発掘調査報告-下河原遺跡・助市田遺跡・台東遺跡-』(1985) PP. 37-69	江戸時代	露卵下駄、桶(箱物)。	—
福島県 072	楸田C遺跡 (郡山市中田町)	郡山市教育委員会『郡山東部ニュータウン関連発掘調査報告書3-楸田C遺跡・楸田D遺跡-』(1988) PP. 1-61	平安時代	挽き物(皿・椀)、曲好物、斧銛柄、部材、板、角材。	—
福島県 073	蚕業遺跡 (会津若松市蚕業町)	会津若松市教育委員会『蚕業遺跡発掘調査報告(1)』(1984) PP. 1-59 会津若松市文化財調査報告第10号	江戸時代末	井筒(桶)。	—
福島県 074	廻谷地館跡 (郡山市井田町)	井田町教育委員会『廻谷地館跡-眼石屋敷試掘調査報告書』(1988) PP. 1-29	江戸時代後期(19c)	桶、露卵下駄。	N=2 ホノキ・マメガキ(1)。 ☆台=ホノキ、 桶=マメガキ。
福島県 075	房ノ内遺跡 (福島市栗岩)	福島市教育委員会『房ノ内遺跡-房ノ内遺跡発掘調査報告書-』(1988) 福島市文化財調査報告書第26集	平安時代(9c)	柱根。	N=2 クリ(2)。
福島県 076	石合前遺跡 (福島市松川町)	福島市教育委員会『石合前・小家場遺跡-古代館治遺跡の調査-』(1989) PP. 1-123 福島市文化財調査報告書第30集	平安時代	炭化材(館治遺構内・土壌内)。	N=40 クヌギ(24)、クリ(10)、カエデ類(2)、ケヤキ(1)、不明(3)。
福島県 077	月ノ輪山1号墳 (福島市織田)	福島市教育委員会『月ノ輪山1号墳発掘調査報告書』(1989) PP. 1-154 福島市文化財調査報告書第32集	古墳時代後期(7c)	頭椎太刀柄、箭。	N=2 ニワトコ・カヤ(1)。 柄=ニワトコ、箭=カヤ。
福島県 078	御前清水遺跡 (郡山郡山郡町)	山郡町教育委員会『御前清水遺跡-金山遺跡』(1985) PP. 1-49 山郡町文化財調査報告書第7集 ☆漆器類=トチノキ(4)、フナ(2)、ケヤキ(1)。	平安時代末-鎌倉時代(12c)	呪符木簡、形代(鳥?・刀)、斎串、箸状品、塔婆、連南下駄、横櫓、漆器類、木地半製品、曲好物側板、折敷、物差し、加工材。	M=84 ウラスギ(70)、クロベ(8)、トチノキ(4)、フナ(3)、コナラ類(2)、イタヤカエデ・ケヤキ(1)。 ☆下駄=ウラスギ(1)。

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.032 (福島県6)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
福島県 079	滝の入遺跡 (西郷村若木)	西郷村教育委員会『滝の入遺跡-羽太地区遺跡発掘調査報告1-』(1986) PP. 1-52 西郷村文化財調査報告書第4集	古墳時代後期	柱根。	—
福島県 080	小半弓遺跡 (石川郡玉川村)	玉川村教育委員会『小半弓遺跡-近世たらの調査-』(1984) PP. 1-36	江戸時代前期 (17c)	炭化材(製鉄遺構内)。	N=200 コナラ(161)、マツ(18)、クリ・カマツカ(6)、カツラ(3)、フナ(1)、他(5)。
福島県 081	大槻遺跡 (郡山市安積町)	郡山市教育委員会『安積区南整理関連大槻遺跡発掘調査報告書』(1987) PP. 1-74	古墳時代後期 (6c)	炭化材(住居址内)。	N=23 クヌギ(6)、クリ(5)、サクラ属(4)、ケヤキ(3)、コナラ(2)、クマシヅメ・ニガキ・ケンボクシ(1)。
福島県 082	赤沼遺跡 (郡山市中田町)	郡山市教育委員会『赤沼遺跡-郡山東部ニュータウン関連発掘調査報告書1-』(1987) PP. 1-42	平安時代前期 (9c)	部材(丸木)、串状品。	—
福島県 083	南古船遺跡 (岩瀬郡長沼町)	長沼町教育委員会『南古船1-昭和62年度県立博物館整備関連調査概要-』(1988) PP. 1-22 長沼町文化財調査報告書第13集	室町時代 (15-16c)	箸状品、漆串。	—
福島県 084	唐松遺跡 (郡山市田村町)	福島県文化財センター『母畑地区遺跡発掘調査報告書11-唐松A遺跡・地蔵田A遺跡・地蔵田B遺跡-』(1983) PP. 1-148	奈良時代末-平安時代	炭化材。	☆クヌギ(多)、コナラ(数点)、クリ(2-3個)。
福島県 085	上郷遺跡 (石川郡石川町)	福島県文化財センター『母畑地区遺跡発掘調査報告書12-駒形上郷戸・下郷戸遺跡-』(1983) PP. 1-341	古墳時代後期 平安時代	炭化材(住居址内)。 炭化材(住居址内)。	N=11 クルミ(8)、コナラ(3)。 N=9 コナラ(6)、ケヤキ(2)、サクラ属(1)。
福島県 086	丸子糸里遺構 (福島市九子)	福島市教育委員会『丸子糸里遺構-丸子糸里遺構第3次確認調査報告書-』(1992) PP. 1-47 福島市文化財調査報告書第46集	室町時代-戦国時代 15-16c	漆器柄、篋、加工材。	—
福島県 087	古屋敷遺跡 (福島市木田)	福島市教育委員会『古屋敷遺跡-古代建物跡の調査-』(1990) PP. 1-112 福島市文化財調査報告書第36集	平安時代 (9c?)	柱根。	—
福島県 088	向山遺跡 (いわき市好間町)	いわき市教育文化事業団『向山遺跡-弥生時代から平安時代の遺物を含む調査-』(1986) PP. 1-146 いわき市埋蔵文化財調査報告書第14冊	奈良-平安時代	炭化材(燃料炭)。	N=3 クリ(2)、モミ属(1)。
福島県 089	小中田横穴群 (いわき市小川町)	いわき市教育文化事業団『小中田横穴群-古代墓跡の研究-』(1988) PP. 1-150 いわき市埋蔵文化財調査報告書第20冊	古墳時代後期	弓。	—
福島県 090	下平石遺跡 (いわき市田人町)	いわき市教育文化事業団『下平石遺跡-縄文時代集落跡の調査-』(1989) PP. 1-109 いわき市埋蔵文化財調査報告書第22冊	縄文時代前期 縄文時代中期末	炭化材(住居址内)。 炭化材(住居址内)。	N=7 クリ(3)、ミズキ属・ハンバシ属・サクラ属・ヤマグリ属(1)。 N=20 クリ(13)、カエデ属(3)、オニグルミ・ケヤキ・クマシヅメ属・ヤマグリ(1)。
福島県 091	岸遺跡 (いわき市藏迎町)	いわき市教育文化事業団『岸遺跡-古代・中世遺跡の調査-』(1990) PP. 1-223 いわき市埋蔵文化財調査報告書第27冊	室町時代 江戸時代前期	漆器柄、箸、漆桶下駄、幅み鉢、曲物、箱物、引り物、不明品。	N=20 ヤマグリ(8)、スギ・クリ(4)、モミ属・フナ・ケヤキ(1)。
		☆漆器柄=ケヤキ・フナ属(1)。	☆箸=スギ(4)。	☆下駄=クリ(4)	☆幅み鉢=ヤマグリ(8)、モミ属(1)。
福島県 092	大畑B遺跡 (いわき市泉町)	いわき市教育文化事業団『大畑B遺跡-大畑貝塚周辺部の調査-』(1990) PP. 1-318 いわき市埋蔵文化財調査報告書第28冊	古墳時代中-後期 奈良時代	炭化材(住居址内)。 炭化材(住居址内)。	N=26 クリ(7)、コナラ属・アカメガシワ(5)、イヌガヤ・アカガシワ属・ミズキ属(2)、モミ属・サクラ属・トネリコ属(1)。 N=8 イヌガヤ(6)、アカガシワ属・アカメガシワ(1)。
福島県 093	石坂遺跡 (いわき市好間町)	いわき市教育文化事業団『石坂遺跡-古代から近世の集落跡の調査-』(1987) PP. 1-152 いわき市埋蔵文化財調査報告書第17冊	平安時代	炭化材(住居址内)。	N=5 コナラ属・ユズリハ属(2)、クリ(1)。
福島県 094	宮田B遺跡 (郡山市田村町)	郡山市教育委員会『宮田B・良跡地C・良跡地D遺跡発掘調査概要』(1985)	古墳時代後期	杓。	—
福島県 095	大槻城跡 (郡山市大槻町)	郡山市教育委員会『大槻城跡1-城の内遺跡第1次-第3次調査概要-』(1983)	室町時代	下駄。	—
福島県 096	荒屋敷遺跡 (大沼郡三島町)	小柴吉男『荒屋敷遺跡の木製品』『月刊考古学ジャーナル』279号(1987)	縄文時代後期	石斧縁柄、弓、容器素材、柱根、加工材。	—
福島県 097	古船遺跡 (西白河郡矢吹町)	矢吹町教育委員会『古船遺跡調査報告』(1982) 矢吹町文化財調査報告書第1集	室町時代-戦国時代	漆串、板。	—
福島県 098	会津大塚山遺跡 (会津若松市一賀町)	会津若松市史編纂会『会津大塚山古墳』(1964) 会津若松市史別巻1	古墳時代前期	笠、刀、箸、箱、籠篋。	—
福島県 099	南地蔵谷地遺跡 (郡山市大槻町)	日本考古学協会『日本考古学年報』24(1973)	奈良時代	漆器柄。	—
福島県 100	郭内横穴墓 (白河市郭内)	白河市教育委員会『郭内横穴墓群発掘調査報告書』(1981) 白河市埋蔵文化財調査報告書第4集	古墳時代後期	箱、籠篋。	—

日本列島における木質遺物出土遺跡文献リスト No.033 (福島県7)

	遺跡名	文献名	時代・時期	出土木製品	使用樹種
福島県 101	川原遺跡 (伊達郡国見町)	福島県教育委員会『東北自動車道遺跡調査報告』(1975) 福島県文化財調査報告書第47集	平安時代	漆器碗。	——
福島県 102	徳江23古墓 (伊達郡国見町)	福島県教育委員会『伊達西部条里遺跡発掘調査概報Ⅰ』(1977) 福島県文化財調査報告書第59集	江戸時代後期 (19c)	漆器碗。	——
福島県 103	金谷館跡 (伊達郡国見町)	福島県文化財センター『伊達西部地区遺跡発掘調査報告書』 (1980) 福島県文化財調査報告書第82集	江戸時代	漆器碗。	——
福島県 104	中ノ町遺跡 (岩瀬郡長沼町)	長沼町教育委員会『福島県岩瀬郡長沼町中ノ町遺跡発掘調査概報』 (1981)	江戸時代	漆器片。	——
福島県 105	明石塚館跡 (河沼郡河東町)	河東村教育委員会『明石塚館跡—福島県河沼郡河東町郡山地区遺跡発掘 調査報告書—』(1977)	室町時代	漆器碗。	——
福島県 106	茨内26号墳 (西白河郡東村)	福島県文化財センター『母畑地区遺跡発掘調査報告書Ⅲ』(1979) 福島県文化財調査報告書第74集	古墳時代後期	箱(漆器)。	——
福島県 107	西原遺跡 (西白河郡東村)	福島県文化財センター『母畑地区遺跡発掘調査報告書Ⅴ』(1980) 福島県文化財調査報告書第85集	平安時代	漆器碗。	——
福島県 108	三貫地遺跡田丁場A 地点 (相馬郡新地町)	新地町教育委員会『三貫地遺跡—田丁場A地点調査報告—田丁場B地点 調査概報—』(1978) PP. 1-119 新地町埋蔵文化財調査 報告書	室町時代 (15c)	井戸枠(丸木材)、漆器碗、包丁柄、	——
福島県 109	真野7号墳 (相馬郡鹿島町)	藤田亮策『真野古墳群調査概報』『史学』第23巻第3号(1948)	古墳時代後期	竪櫛。	——
福島県 110	大谷地古墳 (相馬郡鹿島町)	小此木忠七郎『昨年発掘せられたる福島県下の古墳』『人類学雑誌』第 39巻第3号 (1925)	古墳時代	竪櫛。	——
福島県 111	本屋敷1号墳 (双葉郡浪江町)	法政大学『本屋敷古墳群の研究』(1985) 法政大学文学部考古 学研究報告第1冊	古墳時代	竪櫛。	——
福島県 112	正直23・27号墳 (郡山市田村町)	郡山市教育委員会『福島県正直第30・36号墳』(1982)	古墳時代	竪櫛。	——
福島県 113	長久保遺跡 (田村郡小野町)	小野町教育委員会『長久保遺跡の研究』(1992) PP. 1-47 小野町埋蔵文化財調査報告書第4冊	縄紋時代後期末- 晩期	炭化材(包含層内)。	N=49 スギ(25)、カバノキ類(9+)、エノキ(9)、タケ 類(1)、広葉樹散孔材(5)。
福島県 114	下谷ヶ地平C遺跡 (大沼郡会津高田町)	福島県教育委員会『国営会津農業水利事業関係遺跡調査報告Ⅳ』 (1986) P. 204 福島県文化財調査報告書	縄紋時代晩期末	炭化材(土層内)。	N=10 アサダ(3)、ケヤキ(2)、ナナ(1)、 ツル植物(1)、樹皮(3)。
福島県 115	北原遺跡 (相馬市北原)	福島県教育委員会『国道113号バイパス遺跡調査報告Ⅱ』 (1986) P. 237 福島県文化財調査報告書	平安時代	炭化材(鉄滓廃棄物内)。 炭化材(簡易炭焼窯内)。 炭化材(土器焼成遺構?内)。	N=4 クリ(4)。 N=7 クリ(7)、一例はコナラの可能性あり。 N=7 コナラ(6)、クリ(1)。判断の難しい物あり。
福島県 116	日向南遺跡 (相馬郡飯館村)	福島県文化センター『真野ダム関連遺跡発掘調査報告XⅤ』 (1990) P485 福島県文化財調査報告書		炭化材(住居址内)。	N=8 クリ(7)、コナラ(1)。
福島県 117	上の台D遺跡 (相馬郡飯館村)	福島県文化センター『真野ダム関連遺跡発掘調査報告XⅤ』 (1990) P485 福島県文化財調査報告書		炭化材(方合層内)。	N=1 ケヤキ(1)。